

栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-19	建具配置図
A-01	改修工事特記仕様書(1)	A-20	建具表
A-02	改修工事特記仕様書(2)	A-21	遮光ネット(平面)
A-03	改修工事特記仕様書(3)	A-22	遮光ネット(矩計図)
A-04	改修工事特記仕様書(4)	A-23	クラック図
A-05	改修工事特記仕様書(5)	A-24	仮設計画図-1
A-06	改修工事特記仕様書(6)	A-25	仮設計画図-2
A-07	改修工事特記仕様書(7)		
A-08	改修工事特記仕様書(8)		
A-09	配置図・付近見取図	S-01	梁伏図
A-10	仕上表	S-02	軸組図
A-11	平面図		
A-12	立面図-1		
A-13	立面図-2		
A-14	矩計図-1(サザエ棟改修前)		
A-15	矩計図-2(サザエ棟改修後)		
A-16	矩計図-3(キャットウォークタラップ)		
A-17	矩計図-4(排卵・幼生管理室)		
A-18	矩計図-5(親貝養成室)		



	 有限会社 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
		検図	担当	図面名称 (縮尺) 表紙・図面リスト	図面番号 A-00

建築改修工事仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 東伯郡湯浜沢町石脇
2. 敷地面積 25,445.07㎡
3. 地域地区 都市計画地域(内・外) 市街化調整区域(内・外)
用途地域(指定なし) 防火地域(指定なし)
4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(㎡), 延べ面積(㎡). Row 1: い, サザエ生産棟, 改修, S造, 1, 695.50, 695.50

II. 建築改修工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
(2) 請負者は、建築基準法に基づき完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。
2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載[]の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) ⑨印は、「国等による環境物品等の調達に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」(環境省のホームページがダウンロード可能)による。
(5) 関係法令(条例を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。
(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Includes sections for ① 一般共通事項, ② 官公庁その他への手続, ③ 電気保安技術者, ④ 工事安全計画書, ⑤ 発生材の処理等, ⑥ 環境への配慮.

Technical specifications table with columns: 材料の品質等, 材料・機材等の品質及び性能, 調査, 補修方法, 技能士, 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 建築改修工事, 内装改修工事, 撤去部分, 適用区分.

Technical specifications table with columns: 建築改修工事, 耐震改修工事, 環境配慮改修工事, 《技能士名札参考図》, 化学物質の濃度測定, 完成写真, 完成時の提出図書, 設備工事との取り扱い, 撤去部分, 適用区分.

Table with columns: 保安に関する資料, 火災保険等, 環境配慮, 建築リサイクル法, 鳥取県福祉のまちづくり条例, 景観形成条例, 建築物省エネ法, 仮設工事, 騒音・粉じん等の対策, 足場その他, 既存部分の養生, 仮設間仕切り, 監督職員事務所, 表示板, 工事用水, 工事用電力, 工事用仮設物, 工事現場のイメージアップ, 降雨時に対する養生方法, 既存防水層の処理, 防水改修工事.



有限会社 井手添建築設計事務所
TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 井手添 誠
一級建築士登録第196328号
検図 担当

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
図面名称 改修工事特記仕様書(1)
S=1/200
A3縮小図面縮尺: S/1, 41

設計番号 -
製図 一級建築士 第168726号
図面番号 A-01
平林 輝彦

③	防水改修工事	3	既存下地の処理 [3. 2. 6]	既存下地の補修及び処置 補修面の形状、長さ、数量等 ※図示 POS工法及びPOS工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6.(9) (イ) (g) ①～③による ※改修標準仕様書3.2.6.(9) (イ) (g) ①～③による 設備機器架台、配管受部、パラベツト、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。																																																																																	
		4	アスファルト防水 [3. 3. 2～5] [表3. 3. 3～10]	屋根保護防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>G</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m²程度</td> <td>・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td>※フラットヤーンクロス (70g/m²程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1BI</td> <td>・B1-1 ※B1-2</td> <td></td> <td>断熱材3種A (スキン等付) 厚さ ※25mm・50mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.5及び表3.3.6による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.4による 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床土張り ※水上 60mm以上 ・乾式保護材 高業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したものの 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th>業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th>金属複合板</th> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>幅(mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td>厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td>550以上</td> <td>450以下</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモジュール(N・cm)</td> <td>凍結融解完了時 400以上</td> <td>320以上</td> <td>250以上</td> </tr> <tr> <td>おける単位幅1cmあたりの曲げ(曲げモジュール)</td> <td>(300)</td> <td>(200)</td> <td>(300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率(%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率(%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td> <td>曲げ強さ、モジュール凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500g(高業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。</td> <td>質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。</td> <td>残留変形量1/100以下かつ圧縮の最大変形量4/100以下 80,000N/cm²以上</td> </tr> <tr> <td>剛性(E×I)</td> <td>スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>試験方法 1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルーラー又は、JIS B 7516「金属製直置尺」に規定する目量が1mmの1級直置尺を用いて測定する。 2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(高業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える前の平均速度は1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の繊維間隔が140mmになるように繊維を割む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて繊維間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼ立し、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3				※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250	・P1B	・B-1 ※B-2						・P2AI	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム		※フラットヤーンクロス (70g/m ² 程度)		・P1BI	・B1-1 ※B1-2		断熱材3種A (スキン等付) 厚さ ※25mm・50mm				分類・規格	業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板	寸法(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)		寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	550以上	450以下	300以上	曲げ強さ・曲げモジュール(N・cm)	凍結融解完了時 400以上	320以上	250以上	おける単位幅1cmあたりの曲げ(曲げモジュール)	(300)	(200)	(300)	吸水率(%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	曲げ強さ、モジュール凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと			耐衝撃性能	質量500g(高業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	残留変形量1/100以下かつ圧縮の最大変形量4/100以下 80,000N/cm ² 以上	剛性(E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																															
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3				※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え ※JIS R 1250																																																																															
・P1B	・B-1 ※B-2																																																																																				
・P2AI	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質) ※JIS A 9521による押出 法ポリスチレンフォーム		※フラットヤーンクロス (70g/m ² 程度)																																																																																
・P1BI	・B1-1 ※B1-2		断熱材3種A (スキン等付) 厚さ ※25mm・50mm																																																																																		
分類・規格	業系 パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系 パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板																																																																																		
寸法(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																																																			
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																																																				
出荷時の含水率	550以上	450以下	300以上																																																																																		
曲げ強さ・曲げモジュール(N・cm)	凍結融解完了時 400以上	320以上	250以上																																																																																		
おける単位幅1cmあたりの曲げ(曲げモジュール)	(300)	(200)	(300)																																																																																		
吸水率(%)	20以下	20以下	1以下																																																																																		
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																																																		
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																																																		
耐凍結融解性能	曲げ強さ、モジュール凍結融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																																																				
耐衝撃性能	質量500g(高業系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	質量500gのおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。	残留変形量1/100以下かつ圧縮の最大変形量4/100以下 80,000N/cm ² 以上																																																																																		
剛性(E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性																																																																																				
屋根露出防水 防水層の種類 [表3. 3. 7～9]		<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>G</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率 射水の防 水の適用</th> <th>G</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3D</td> <td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※製造所の仕様</td> <td></td> <td></td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>		工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4				※製造所の仕様			脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4				※製造所の仕様			脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																							
工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考																																																																													
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4				※製造所の仕様			脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																													
・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4				※製造所の仕様			脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																													

5	改質アスファルトシート 防水 [3. 4. 2, 3] [表3. 4. 1～3]	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2	JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡75%以上断熱材の種類 ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号 厚さ ※ 25mm・50mm	※製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない				
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.7による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による 脱気装置の種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 屋根露出防水 [表3. 3. 10]								
6	合成高分子ルーフィングシート防水 [3. 5. 2～4] [表3. 5. 1～3]	工法	種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POS ・S4S	・S-F1					※製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
7	塗膜防水 [3. 6. 2, 3] [表3. 6. 1～3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考		
		・M4S ・M3AS ・POAS ・M3ASI ・M4SI ・POASI	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J1 ・AS-J2 ・AS-J3	JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材の種類 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ ※25mm・50mm	※製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない				
8	シーリング [3. 7. 2～8] [表3. 7. 1]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考		
		・POS ・S4S	・S-F1					※製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
9	アルミニウム製装束 [3. 9. 2, 3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考		
		・M4S ・S4S	・S-F1					※製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	

10	とい [3. 8. 2, 3] [表3. 8. 4]	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・MAS1	・S1-F1	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(a) (3) (ii) による (厚さ)・25mm	※製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない		
		・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(a) (3) (ii) による (厚さ)・25mm	※製造所の仕様				
11	アルミニウム製装束 [3. 9. 2, 3]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	
12	シーリング改修工法の種類 ○シーリング充てん工法 ・シーリング充てん工法 ・拡張シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法 ポンドブレイカー張り エッジング材張り 適用する 適用しない	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	
13	ポリマーセメントモルタル [4. 2. 4]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	
14	パテ状エポキシ樹脂 [4. 2. 4]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	

15	防水改修フロー及び数量 ・既存保護層の補修及び処置	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	
16	ポリマーセメントモルタル [4. 2. 4]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	
17	パテ状エポキシ樹脂 [4. 2. 4]	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 射水の防 水の適用	G	備考
		・POX ・L4X ・P1Y ・P2Y	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ※Y-2			※主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない	

管理建築士 一級建築士登録第196328号	井手添 誠
検図	担当

有限会社 井手添建築設計事務所	TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850
-----------------	-----------------------------------

管理建築士 一級建築士登録第196328号	井手添 誠
検図	担当

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
図面名称 改修工事特記仕様書(2)	図面番号 A-02	平林 輝彦
S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1, 4/1		



4-1 外壁改修工事(共通事項)

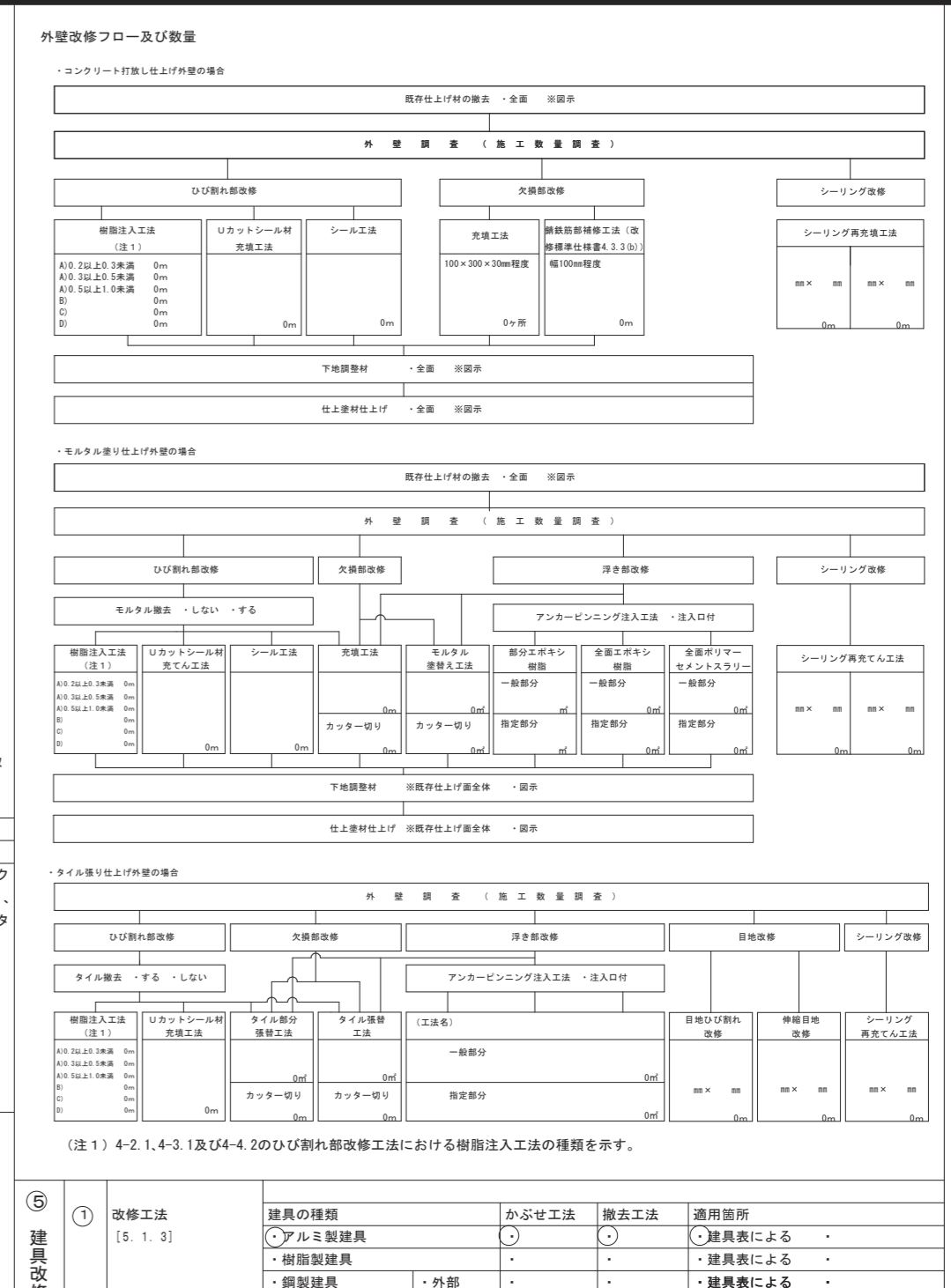
Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 4: エポキシ樹脂モルタル [4. 2. 4] 品質性能等. Item 5: ポリマーセメントスラリー [4. 2. 4] 品質性能等. Item 6: 吸水調整材 [4. 3. 5] 改修標準仕様書表4. 3. 2による. Item 7: 既製調合モルタル [4. 3. 5] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして...

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4~7] ※樹脂注入工法. Item 2: 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4, 8] ※充填工法.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 5~8] 「下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁による。」. Item 2: 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 9, 10] ※充填工法. Item 3: 浮き部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 11~16] ※モルタルを撤去しないで改修. Item 4: 外壁複合改修構工法 [4. 1. 4] [4. 3. 11~16] 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」...

4-1 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 4: 浮き部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5, 9~15] ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法. Item 5: 目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 5, 16] ・目地ひび割れ改修工法. Item 6: 外壁複合改修構工法 [4. 1. 4] [4. 5. 5, 16] 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」...



4-2 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 5~8] 「下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁又は4-3モルタル塗仕上げ外壁による。」. Item 2: 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 2, 5, 6] 「下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁又は4-3モルタル塗仕上げ外壁による。」. Item 3: 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5, 7, 8] ・タイル部分替替工法.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: タイルの形状、寸法等 [4. 4. 5, 8] タイル部分張替工法及びタイル張替工法用接着剤の種類. Item 2: ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 2, 5, 6] 「下記以外は4-2コンクリート打放し仕上げ外壁又は4-3モルタル塗仕上げ外壁による。」. Item 3: 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 5, 7, 8] ・タイルを撤去しないで改修.

4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4. 5. 4] [4. 5. 5, 16] ・サンダー工法. Item 2: 下地調整材 [4. 5. 2] ※下地調整材 ・ポリマーセメントモルタル. Item 3: 仕上げ塗材仕上げ [4. 1. 5] [4. 5. 1] [表4. 2. 3~4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Item 1: 改修工法 [5. 1. 3] [5. 1. 3] 改修工法. Item 2: 防火戸 [5. 1. 4] [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置. Item 3: 建具見本の製作 [5. 1. 5] [5. 1. 5] ※製作しない. Item 4: 防犯建物部品 [5. 1. 7] [5. 1. 7] ・適用する 適用箇所. Item 5: アルミニウム製建具 [5. 2. 2~5] [表5. 2. 2] 性能等級 (ハンガー戸を除く).

井手添建築設計事務所 井手添 誠 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠 工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築) 図面名称 改修工事特記仕様書(3) S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1, 41

設計番号 - 製図 一級建築士 第168726号 図面番号 A-03 平林 輝彦



⑤ 建具 改修 工事	7 樹脂製建具 [5. 2. 2] [5. 3. 2~5]	性能値等 ・耐風圧の等級()、気密性の等級()、水密性の等級() ※改修標準仕様書5. 3. 11による種別 外部に面する建具の種別(コンクリート下地及び鉄骨下地) ・A種(建具符号: 、全て、建具表による) ・B種(建具符号: 、全て、建具表による) ・C種(建具符号: 、全て、建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級()、T-1、T-2、 (建具符号:、建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級()、H-4、H-5、H-6、H-7、H-8 (建具符号:、建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※ 標準色 ※ 特注色 水切り板、ぜんば ※ 図示 ガラス ※ 複層ガラス	・錠前類(レバーハンドル) (性能) ねじり強度 レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除操作に支障がないこと。 引張り強度 ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1-2006及びJIS A 1541-1(建築物錠-錠第一部:試験方法)による。 垂直荷重強度 ハンドルの垂直荷重強度試験(2 KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1(建築物錠-錠第一部:試験方法)による。	14 自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3]	性能等 ※改修標準仕様書5. 10. 3による (試験方法) (1) 耐久性(開閉繰り返し)試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの動作を確認できる試験を行う。 同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10分以上の特定点での1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認すること、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ17mにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与え、耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。		強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類による名称 材料板ガラス 破片の状態及びショットバック 衝撃特性による種類 ・フロート強化ガラス ・フロート板ガラス ・I類 ・III類	熱線吸収板ガラスの材料板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 性能による種類 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・I種 ・2種 ・グリーン ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	複層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ及び複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 乾燥気体の種類 ・T1、T2、T3、T4、T5、T6 ・空気 ・アルゴン	熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 日射熱遮蔽性による区分 耐久性による区分 色調(・ブルー、・グレー、) ・1種 ・A類 ・2種 ・A類 ・B類 ・3種 ・B類	反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う	ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラスの留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ※シーリング材、ガスケットの形状、グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ※シーリング材、ガスケットの形状、グレイジングチャンネル形	表面呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 クリア 乳白 目地幅(mm) 平積み 曲面積み 位置(mm) 伸縮調整目地 防火性能 ・正方形・125×125 ・90 ・※8~15 外側 ※6以下 ことに幅10~15 ・有り ・無し ・図示 ・内側 ※6以上 ・図示	壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 形状 ※図示 化粧目地モルタルの色() シーリングの種類() 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(1、1.15、1.3)倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示	種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム ⑥ ・S-C-1 ・S-C-2 目射へい性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E ・低放射フィルム ・L-E 熱貫流率による区分 ・A ・B ・C ・D ・衝撃破壊対応ガラス ・G-I-1 ・G-I-2 飛散防止フィルム ・層間変位破壊対応ガラス ・G-D-1 ・G-D-2 飛散防止フィルム ガラス貫通防止フィルム ・S-F ガラスの貫通防止性能による区分 ・A ・B 品質 JIS A 5759による	⑥ 内装 改修 工事 ① 他の部位との取り 合い等 [6. 1. 3] 既存仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕切に準じた仕上げとする ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より周囲600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ・図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示 ② 既存床の撤去及び 下地補修 [6. 2. 2] ビニル床シートの撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤共) ・下地モルタル共(・図示の範囲 撤去範囲全て) 合成樹脂建床材の除去工法・機械的除去工法・目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外装改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修部の端部より1m程度 ③ 既存壁の撤去及び 下地補修 [6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う当該壁の補修 ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全厚25mmを超える場合の措置 ※図示)	鳥取県 令和5年度 J2301353 中部環境建築 局									
	8 鋼製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [5. 6. 4. 2]	性能等級(建具符号:、建具表による) 簡易気密型ドアセット 気密性の等級()、A-3 水密性の等級()、W-1 外部に面する建具の耐風圧性の等級()、S-4、S-5、S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級() ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※HL以上 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書5. 4. 2による	・クローザー類 (品質・性能) 区分 性能試験項目 ①ドアクローザ ②ヒンジクローザ ③フロアヒンジ 初期値 番号 閉じモーメント(N・m) 効率(%) 1 5以上 30以上 5以上 30以上 5以上 30以上 2 10以上 30以上 10以上 30以上 10以上 30以上 3 15以上 35以上 15以上 35以上 15以上 35以上 4 25以上 40以上 25以上 40以上 25以上 40以上 5 35以上 45以上 35以上 45以上 35以上 45以上 6 45以上 45以上 45以上 45以上 45以上 45以上 閉じ速度(秒) 常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。 温度依存性(℃) 緩衝油の流動点は、JIS K 2259(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。 ストップ入力 60N・m以下 100N・m以下 100N・m以下 ストップ解除力 8N・m以上 3N・m以上 10N・m以上 バックチェック性能(秒) ドア開閉方向に荷重60N/m ² を閉扉50°から負荷する。 (バックチェック機構を有する機種は0.8秒以上としていること。) デイルードアクション性能(秒) 開扉90°の位置からデイルードアクション解除後までの時間が10秒以上確保でき、また、角度(60~75°)その時間の調整が可能であること。 (デイルードアクション機構を有する機種のみ適用) 戸の開閉位置(中心吊り込み間自由のみに適用) -	16 軽量シャッター [5. 11. 2~4]	開閉形式の種類 ※手動式、電動式(手動併用) 耐風圧強度()N/m ² 安全装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの スラットの種類 ※インターロック型 シャッターケース ※図示 ガイドレール(中柱共)の材質 ※ステンレス鋼板(SUS304)厚さ1.0mm 座板の材質(屋外の場合) ※ステンレス製既製品														20 ガラスブロック積み [5. 14. 5]								
	9 鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2~4]	性能等級(建具符号:、建具表による) 簡易気密型ドアセット 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級() 鋼板の材料 ※ 垂鉛めっき鋼板、ビニル被覆鋼板、カラー鋼板、ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書5. 5. 1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板			17 オーバヘッドドア [5. 13. 2, 3]														セクション材料 による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスチックタイプ 風圧力による強さの区分 ・175(1750) ・125(1250) ・100(1000) ・75(750) ・50(500) 開閉方式による区分 ※パラソク式 ・チェーン式 ・電動式 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 収納方式による区分 ・スタンダー型 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ガイドレールの材料 ※図示 座板の材質(屋外の場合) ※ステンレス製既製品	21 ガラス用フィルム							
④ 建具用金物 [5. 8. 2, 3]	金物の種類、見え掛りの材質等 金物の種類及び見え掛りの材質等 ※改修標準仕様書 表5. 8. 1及び適用建具による 金物製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 2による 樹脂製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレストの取付け位置 ・建具表による 錠前類(シリンドラ錠錠及びシリンドラ本縛り錠) (品質) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 錠付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。 (性能) 使用頻度による性能 1) (シリンドラ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの施錠解除繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除操作に支障がない。(シリンドラ本縛り錠のみ) シリンドラ単体の施錠解除繰り返し試験は、シリンドラだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる施錠機構の施錠解除繰り返し試験(10万回)を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除操作に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合錠でシリンドラが回 転でき、かつ、1箇所1段差深い削みを一つも異なるキーでは、シリンドラが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする) 外力に対する性能 1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行った際、加圧板がデッドボルトを通さない。 3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58. 8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が9mm未満)にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58. 5J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通した状態)にならないこと。 5) (シリンドラ本縛り錠はグレード3以上の形造錠の場合) ストライクプレートの厚さ1. 5mm以上のステンレス鋼製とし、トリョクは厚さ1. 6mm以上の鋼板の一体成形とする。又はストライクの強度と同程度以上の強度を持つものとする。	18 木製建具 [5. 7. 2~4]	連続し開閉後の閉じ速度(秒) 連続し開閉後のバックチェック性能(秒) 連続し開閉後のデイルードアクション性能(秒) 連続し開閉後の戸閉鎖位置(mm) 耐久性の試験回数(連続し開閉回数) 注1 ナラリ取り付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2 コンパスト型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 Grade 1を選定する場合は、図示による。(試験方法) 1) 性能試験は、JIS A 1510-3(建築物用金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。 2) 試験F7の質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。	19 ガラス [5. 14. 2~4]	表面板の厚さ ※改修標準仕様書5. 7. 6による ・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別(Ⅰ型、Ⅱ型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(無地) ・生地縁(ウレタンクッキー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による ※取付け調整は、1名以上の技術士が自ら作業するとともに、他の技術者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類、組合せ 衝撃特性による種類 ・フロート板、フロート板合わせガラス ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類																						

有限会社 井手添建築設計事務所	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠
	校図 担当
TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
	図面名称 改修工事特記仕様書(4)
	S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1, 4/1
	設計番号 - 製図 -
	図面番号 A-04 製図 平林 輝彦
	一級建築士 第168726号

4	製材 [G] [6.5.2]	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ※木材のうち、杉、桧及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。
		・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
		・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
		・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
5	造作用集成材 [G] [6.5.2]	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・「集成材の日本森林規格」による造作用集成材
		・「集成材の日本森林規格」による化粧ばり造作用集成材
		・「集成材の日本森林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
		・「集成材の日本森林規格」以外の化粧ばり以外の造作用集成材
6	造作用単板積層材 [G] [6.5.2]	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材
		・JAS 0701以外の造作用単板積層材
		・JAS 3079に基づく直交集成材 (CLT)
		・「合板の日本森林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]
7	床張り用合板等 [6.5.2]	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○普通合板 [G]
		○構造用合板 [G]
		・「合板の日本森林規格」による天然木化粧合板 [G]
		・「合板の日本森林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

8	防霉・防蟻処理 [6.5.5]	・パーティクルボード [G]
		・構造用パネル
		・ミディアムデンシティーファイバーボード (MDF) [G]
		・防霉・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位: ()
9	軽量鉄骨天井下 [6.6.2~4]	野縁等の種類 屋外 (※ 25形 ・ 19形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 図示 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合 当該階において3箇所 () (確認強度 ※ 改修標準仕様書6.6.4(1) (9)による)) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(8)による ・ 図示 ・ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井、それ以外は図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年 国土交通省告示第771号)第3項第2号に適合させる。 ・ 図示
		スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による
		・ 天然木化粧複合フロアリング
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.1.3.5による
10	軽量鉄骨床下地 [6.7.3,4] [6.7.7]	スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による
		・ 天然木化粧複合フロアリング
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.2.4.6による
		・ フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の表面樹脂材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない
11	ビニル床シート [6.8.2,3]	種類
		※F S
		※接合部の処理 (工法 ※ 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^{10} \sim 1 \times 10^{12}$ 程度
		・ 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^{10} \sim 1 \times 10^{12}$ 程度
12	ビニル床タイル [G] [6.8.2]	種類
		※K T
		※K T
		特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^{10} \sim 1 \times 10^{12}$ 程度
13	接着剤 [6.5.3,4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4,5]	接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示
		・ ロックウール化粧吸音板
		・ グラスウール吸音ボード32K
		○せっこうボード
14	ビニル幅木 [6.8.2]	材質の種類 ※数質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ※1.5以上
		・ シーディングせっこうボード
		・ 強化せっこうボード
		・ せっこうラスボード
15	ゴム床タイル [6.8.2]	材質の種類 ※単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ()
		・ シーディングせっこうボード
		・ 強化せっこうボード
		・ せっこうラスボード

16	カーペット敷き [6.9.2,3] [6.9.9,1]	・ 織じゅうたん [表6.9.1]
		・ タフテッドカーペット
		・ タイルカーペット
		・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ・ 薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
17	合成樹脂塗床 [6.10.2,3]	種類
		・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ・ 薄膜型塗床材 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.1.3.5による
		・ フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の表面樹脂材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない
18	防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする。 工法 製造所の指定する工法とする。 なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² とする。 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ※標準色 JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.2.4.6による
		・ フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の表面樹脂材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.2.4.6による
19	フローリング張り [G] [6.11.2~6]	種類
		・ フロアリング1号 ボード1等
		・ フロアリング ブロック1等
		・ フロアリングボードの大きさ ※改修標準仕様書6.11.2.4.6による
20	畳敷き [6.12.2]	種類
		・ 硬質木毛セメント板 [G]
		・ 中質木毛セメント板 [G]
		・ 普通木毛セメント板 [G]
21	せっこうボードその他 のボード及び合板張り [6.13.2,3]	種類
		・ 硬質木毛セメント板 [G]
		・ 中質木毛セメント板 [G]
		・ 普通木毛セメント板 [G]

22	壁紙張り [6.14.2,3]	・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)
		・ 普通合板 [G]
		・ 天然木化粧合板 [G]
		・ 特殊加工化粧合板 [G]
23	モルタル塗り [6.15.3,6]	モルタル ※現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料) 既製目地材 ・ 敷ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・ 敷けない 床の目地 ・ 敷ける (目地割り ※ 2mm程度 (最大目地間隔3mm程度) (種類 ※押し目地)) ・ 敷けない 外装タイル張り等下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 図示による 建具廻りの等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A 1404「建築用セメント防水剤試験方法」による。 項目 品質・性能 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 セメント重量の5%以下 凝結及び安定性 (凝結時間) 始発: 10時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。 曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上 吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下 透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、 3.0×10^5 Paと1時間行う。
		・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
		・ 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既成調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予工場において所定の割合に配合した材料とする。 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練 りばらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜる。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び焼き板ガラス」に規定するみが板ガラス (厚15mm、幅150mm、 厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5種Aろ紙 (直径110mm) の中心部に 中心部に真ちゅう製リング型枠 (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ろ紙を張り、 ろ紙を平滑に貼込む。
		・ 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既成調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予工場において所定の割合に配合した材料とする。 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練 りばらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜる。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び焼き板ガラス」に規定するみが板ガラス (厚15mm、幅150mm、 厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5種Aろ紙 (直径110mm) の中心部に 中心部に真ちゅう製リング型枠 (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ろ紙を張り、 ろ紙を平滑に貼込む。
24	タイル張り [6.16.2~4]	伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・ 図示) 床タイル以外 (・ 図示) ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
		・ 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既成調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予工場において所定の割合に配合した材料とする。 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練 りばらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜる。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び焼き板ガラス」に規定するみが板ガラス (厚15mm、幅150mm、 厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5種Aろ紙 (直径110mm) の中心部に 中心部に真ちゅう製リング型枠 (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ろ紙を張り、 ろ紙を平滑に貼込む。
		・ 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既成調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予工場において所定の割合に配合した材料とする。 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練 りばらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜる。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び焼き板ガラス」に規定するみが板ガラス (厚15mm、幅150mm、 厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5種Aろ紙 (直径110mm) の中心部に 中心部に真ちゅう製リング型枠 (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ろ紙を張り、 ろ紙を平滑に貼込む。
		・ 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良接着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既成調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を 予工場において所定の割合に配合した材料とする。 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練 りばらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜる。 ロ) 保水率 JIS R 3202「フロート板ガラス及び焼き板ガラス」に規定するみが板ガラス (厚15mm、幅150mm、 厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5種Aろ紙 (直径110mm) の中心部に 中心部に真ちゅう製リング型枠 (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ろ紙を張り、 ろ紙を平滑に貼込む。

その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求めます。

保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの内径 mm

ハ) 単位容積質量
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

ニ) 接着強さ (標準時)
1 適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B (規定) 及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちにイ) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類 (施ゆう) 「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.9接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上)

2 適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合
(試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B (規定) 及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちにイ) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付けする。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類 (施ゆう) 「小口タイル (108mm×60mm×12mm)」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

ホ) 接着強さ (温冷繰返し)
(試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々ニ) 標準時の接着強さの試験方法の「試験体」と同様とする。
(温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目標によって調べる。
(温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛けタイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態に2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上)

ヘ) 長さ変化率
JIS A 6203「セメント混和ポリマーディスページョン及び再乳化粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。

ト) 曲げ強さ
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」7.11曲げ強さ試験に準ずる。

既製調合目地材
品質性能等
保水率: 3.0%以上
長さ変化率: 0.2%以下 (収縮)
吸水量: 50g以下
単位容積質量: 1.8kg/L以上

試験方法
イ) 試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。

ロ) 試料の調製
正味質量と標準練り上り量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10.11に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。

ハ) 保水性 (ろ紙法)
JIS R 3202「フロント板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、横200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5#Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真鍮リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、ロ) で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求めます。

保水率 (%) = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの内径 (mm)

ニ) 単位容積質量
ロ) で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.3に規定する方法で求める。

ホ) 長さ変化率
ロ) で調製した試料を用いてJIS A 1171の7.6長さ変化率試験に従って行う。

ヘ) 吸水量
ロ) で調製した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10.1に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。

有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状、寸法等

8 耐震改修工事 (共通事項)

③ 錆止め塗料塗り [7. 4. 2. 3]

④ 仕上り塗料塗り [7. 5. 2-7, 12. 2]

8 耐震改修工事

1 適用範囲

※改修標準仕様書第8章耐震改修工事
・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨プレースの設置工事
・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・()

2 既存部分の撤去等 [8. 21. 2] [8. 22. 2] [8. 23. 2] [8. 24. 4] [8. 26. 5] [8. 27. 3] [8. 27. 2]

既存構造体の撤去範囲 ※構造図による
既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 ※図示
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置
※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う

3 既存部分の処理 [8. 21. 3] [8. 22. 3] [8. 23. 3] [8. 26. 6] [8. 27. 3] [8. 28. 2]

既存構造体コンクリートの目荒らしの程度
・既存柱、梁面 打撃面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
・構造図による
・既存壁 打撃面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
・構造図による

既存杭の撤去等
撤去範囲及び方法 ※構造図による ()
・杭頭部の処理 ※構造図による ()
・既存杭の補強 ※構造図による ()
・既存杭の健全性を確認する試験 ※構造図による ()

8 1 耐震改修工事 (共通事項)

1 鉄筋の種類 [8. 2. 1]

種類の記号 ※SD295 ※D16以下 呼び名 備考 表8. 2. 1
※SD345 ※D19以上

2 溶接金網 [8. 2. 2]

形状等 種類の記号 網目寸法、鉄線の径 (mm) 使用箇所
・溶接金網
・鉄筋格子

3 鉄筋の継手 [8. 3. 4]

継手の方法等 継手の方法 呼び名
部位
柱、梁の主筋 ※ガス圧接 (D19以上) ・機械式継手 ・溶接継手
耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 (D16以下) ・
その他の鉄筋 ・重ね継手 (D16以下)

鉄筋の継手位置 ※構造図による
・柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ ※構造図による
耐力壁の重ね継手長さ ※改修標準仕様書8. 3. 4(3) (7) による
・改修標準仕様書8. 3. 2による

4 鉄筋の定着長さ [8. 3. 4]

※改修標準仕様書8. 3. 4(5)、(6)による ・構造図による
機械式定着工法
・適用する 適用箇所: ・図示による ()
種類: ・摩擦圧接合部 ・鋼合グラウト固定 ・鋼合グラウト固定
工法: ※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ: ※評定等の評価内容による
補強筋形状法: ※評定等の評価内容による
かぶり厚さ: ※評定等の評価内容による
品質確認: ※評定等の評価内容による
検査: ※評定等の評価内容による

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8. 3. 5]

最小かぶり厚さ (目地底よりかぶりを確保する)
※改修標準仕様書 表8. 3. 6による
・軽量コンクリートを採用する場合 適用箇所 ()
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
・耐久性上不利な場所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所 ()
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm

6 圧搾完了後の試験 [8. 3. 8]

外観試験 ※行う (全数)
抜取試験 ※超音波探傷試験

7 特殊な鉄筋継手 [8. 4. 2~3] [5. 5. 5] [5. 6. 5]

・機械式継手 適用箇所 ※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能 A級 ()
種類
・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト式 ・有機グラウト式
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による
品質の確認 ※評定等の評価内容による
検査 ※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目 ・評定等の評価内容による
試験方法 ・評定等の評価内容による
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、サイズ200箇所程度とする
・全数 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所
試験項目 ※挿入長さ
試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置 ・

・溶接継手 適用箇所 ※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能 ※ A級 ()
溶接継手の工法 ・図示による ()
鉄筋相互のあき ・標準仕様書5. 3. 5(4) による
・評定等の評価内容による
・図示による ()

施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目 ・評定等の評価内容による
試験方法 ・評定等の評価内容による
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、サイズ200箇所程度とする
・全数 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所
試験項目 ※挿入長さ
試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置 ・

既製補強筋 種類 材質 径 本数ピッチ等 適用箇所
※スライラル筋 ※鉄筋コンクリート ※SR235 ※φ6 スライラル筋の径 (mm) ※構造図による
用棒鋼 ()
・φ9 ()
・φ10 ()
・φ11 ()
・φ12 ()
・φ13 ()
・φ14 ()
・φ15 ()
・φ16 ()
・φ17 ()
・φ18 ()
・φ19 ()
・φ20 ()
・φ22 ()
・φ25 ()
・φ28 ()
・φ32 ()
・φ36 ()
・φ40 ()
・φ45 ()
・φ50 ()
・φ56 ()
・φ63 ()
・φ70 ()
・φ78 ()
・φ86 ()
・φ95 ()
・φ106 ()
・φ118 ()
・φ132 ()
・φ148 ()
・φ166 ()
・φ186 ()
・φ208 ()
・φ232 ()
・φ258 ()
・φ286 ()
・φ316 ()
・φ348 ()
・φ384 ()
・φ422 ()
・φ462 ()
・φ504 ()
・φ550 ()
・φ600 ()
・φ654 ()
・φ710 ()
・φ768 ()
・φ828 ()
・φ894 ()
・φ960 ()
・φ1030 ()
・φ1100 ()
・φ1170 ()
・φ1240 ()
・φ1310 ()
・φ1380 ()
・φ1450 ()
・φ1530 ()
・φ1600 ()
・φ1680 ()
・φ1760 ()
・φ1840 ()
・φ1920 ()
・φ2000 ()
・φ2080 ()
・φ2160 ()
・φ2250 ()
・φ2340 ()
・φ2430 ()
・φ2520 ()
・φ2610 ()
・φ2700 ()
・φ2800 ()
・φ2900 ()
・φ3000 ()

・はしご筋 ※鉄筋コンクリート ・SD295A ・D10 ()
用棒鋼 ()
・ () (異形鉄筋) ()
・ () ()

8 2 耐震改修工事 (コンクリート工事)

1 コンクリートの種類 [8. 1. 3, 4] [8. 2. 1~4]

※普通コンクリート 表8. 1. 1
設計基準強度 Fc (N/mm²) 気乾単位容積質量 (t/m³) スランプ (cm) 適用場所
・21 2. 3程度 ※15
・24 ※18
・ () ※18
・18 2. 3程度 ※15
・ ()
・ ()

2 レディーミクストコンクリート [8. 1. 3]

※1類 (JIS A 5308「レディーミクストコンクリートへの適合を認証されたコンクリート」)
・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

3 セメントの種類 [8. 2. 5]

セメントの種類 使用部位 表8. 2. 3
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く
水熱熟 7日目 352J/g以下
28日目 402J/g以下

4 骨材の種類 [8. 2. 5]

アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3. 0kg/m³ 以下)

5 混和材料 [8. 2. 5]

・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4) (a) による ()
・混和材 混和材の種類 ※改修標準仕様書8. 2. 5(4) (b) による ()

6 構造体用モルタル [8. 2. 6]

圧縮強度 ()
フロー値 ()

7 無筋コンクリート [8. 2. 5] [8. 11. 1] [8. 14. 1]

コンクリートの種類 ※普通コンクリート ()
適用箇所 ※構造図による
設計基準強度Fc (N/mm²) ※18 ()
スランプ (cm) ※15又は18 ()
セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメント、フライアッシュセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G

8 ひび割れ誘発目地 [8. 6. 4] [8. 6. 1] [8. 9. 3]

目地寸法 ※標準仕様書9. 7. 3による ()
断面 ※断面図による
位置 ※断面図による
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さで処理する

9 コンクリートの仕上り [8. 1. 4] [8. 2. 7]

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの種類
A種 適用箇所
B種
C種

10 打増し厚さ [8. 7. 8]

・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)
・20mm ()
・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ()
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm ()
・床型持用鋼製デッキプレート の梁側面部の打増し処理
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
・10mm ・20mm ()

11 型枠 [8. 2. 7] [8. 6. 3]

せき板の材料及び厚さ
※合板 (※12mm) G (但し、グリーン購入基本方針における「合板型枠」の備考3の表示のある合板型枠を用いる場合に限る)
コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること
・メッシュ型枠 (使用部位、※構造図による)
・床型持用鋼製デッキプレート (施工範囲、※構造図による)
スリーブ材の種類・規格等 ※構造図による
断熱材兼用型枠 使用箇所 ※構造図による

12 型枠の加工及び部位 [8. 7. 8]

・シアパネタをセパレータとして使用
適用箇所 ※構造図による

13 コンクリートの打込み工法等 [8. 21. 8] [8. 23. 5]

部位毎のコンクリート打設工法の指定
補強工法
現場打ちコンクリート壁の増設工事
・流込み工法 (・全て ・構造図による)
・圧入工法 (・全て ・構造図による)
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法
・流込み工法 (・全て ・構造図による)
・圧入工法 (・全て ・構造図による)

8 3 耐震改修工事 (鉄骨工事)

1 鉄骨の製作工場 [8. 1. 5] [7. 1. 3]

製作工場の加工能力
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び (株) 全国鉄骨評価機関 (旧 (社) 全国鋼構工業協会) の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「 () グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する製作工場 (標準仕様書7. 1. 1以外の適用範囲に限る)

2 施工管理技師等 [8. 1. 6]

※配置する ・配置しない

3 鋼材 [8. 2. 8]

種類等 規格の記号 使用箇所 表8. 2. 8
規格等 ※JIS規格による
規格等 ※JIS規格による

4 高力ボルト区分 [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 14. 2]

高力ボルト区分
※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ()
高力ボルトの径 ※構造図による
ボルトの種間距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1種間距離及びボルト間隔による ・構造図による
摩耗面の処理方法等
※プラスト処理 (表面粗度50 µmRz以上) 又はりん酸塩処理 ・構造図による
すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験
試験方法等 ※構造図による
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (7) 又は(4) による摩耗面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと

7 塗装改修工事

1 材料 [7. 1. 3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする ()

2 下地調整 [7. 2. 1~7]

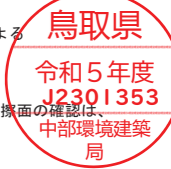
塗替え種別がR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す

有限会社 井手添建築設計事務所
TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

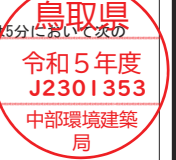
管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠
検査 担当

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事 (建築)
図面名称 改修工事特記仕様書 (6)
S=1/200
A3縮小図面縮尺: S/1, 41

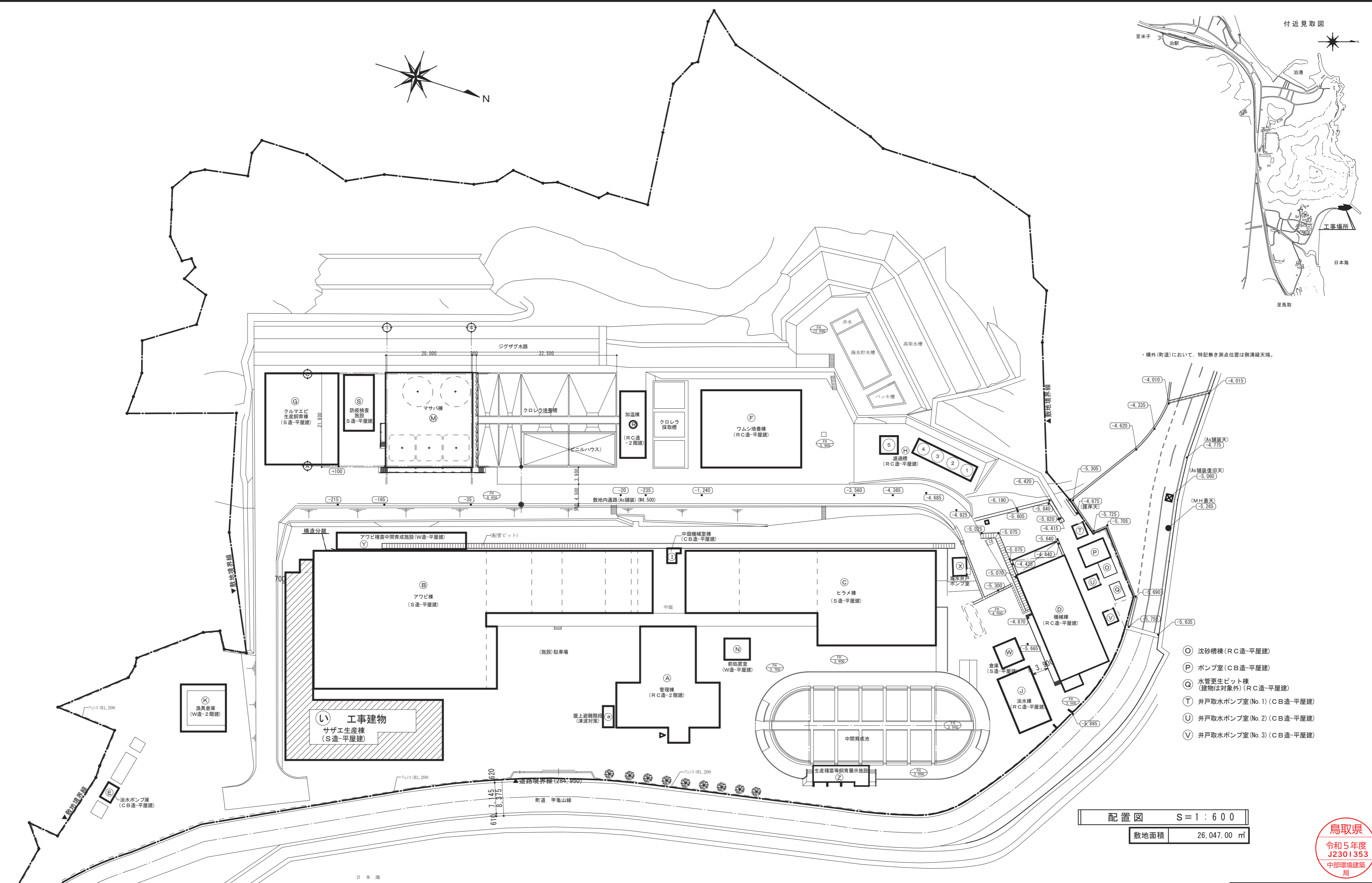
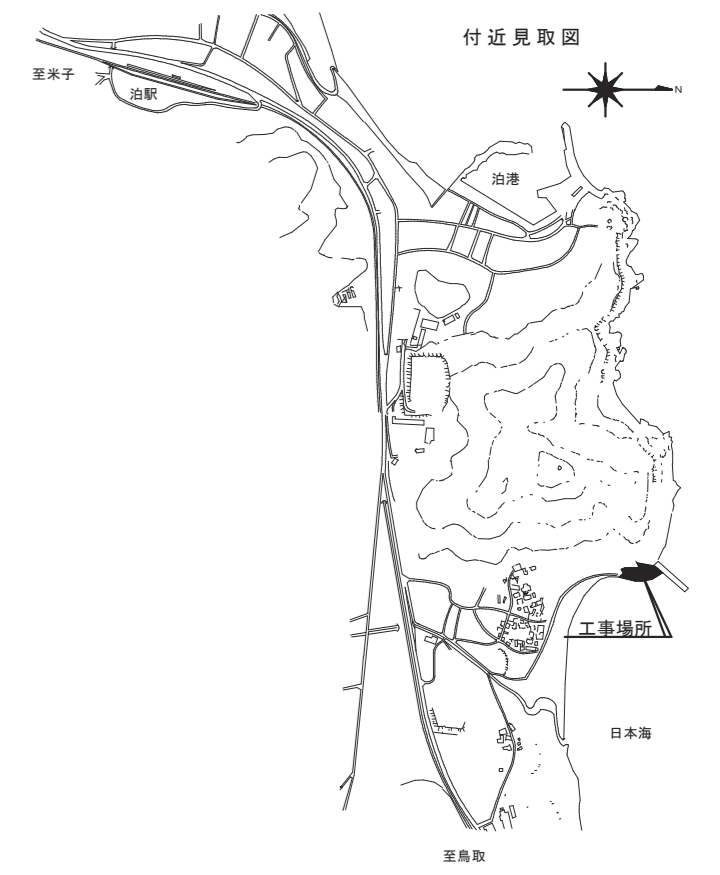
設計番号 -
製図 一級建築士 第168726号
図面番号 A-06
平林 輝彦



<p>5 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8. 2. 9] [8. 13. 2] [8. 13. 8] [8. 20. 5]</p> <p>6 普通ボルト [8. 13. 2] [7. 2. 3]</p> <p>7 アンカーボルト [7. 2. 4] [7. 3. 2] [7. 10. 3]</p> <p>8 溶接材料 [8. 2. 10]</p> <p>9 スタッド [8. 2. 11]</p> <p>10 製作精度 [8. 13. 3]</p> <p>11 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 [8. 15. 3]</p> <p>12 仮組 [8. 13. 10]</p> <p>13 高力ボルト接合</p> <p>14 溶接接合 [8. 15. 4. 7]</p> <p>15 入熱、バス間温度の溶接条件</p> <p>16 溶接部の試験 [8. 15. 12]</p> <p>17 耐火被覆 [8. 19. 2~7]</p> <p>18 建方精度 [7. 10. 2]</p>	<p>セットの種類 ※1種 (F8相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・大臣認定を受けた内容による ボルトの端部距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・構造図による 摩擦面の処理 ※プラスト処理 (表面粗度50 μmRz以上) 又はりん酸塩処理 ・構造図による すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書9.14.2(1) (7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと</p> <p>ボルト及びナットの材料等 ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS付属書) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又はねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナットーとし、材料は鋼とする。 座金 ※JIS B 1256による ・構造図による ボルトの端部距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1~1端部距離及びボルト間隔による ・構造図による</p> <p>適用 ・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ ABR400 ・ ABR490 ・形状、寸法 ※構造図による ・建方用アンカーボルト 種類 ・ S400 ・ () ・標準仕様書7.4.2以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による () ・標準仕様書7.2.3による アンカーボルト及びナットのねじの交差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの端部距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による</p> <p>・改修標準仕様書8.2.10 (1) (2)による ・構造図による</p> <p>種類等 径 (呼び名) 長さ (呼び長さ) mm 使用箇所 ・ 16φ 80 100 120 ・ 19φ 80 100 130 150 ・ 22φ 80 100 130 150</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による。 通しダイヤグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・ H12建告第1464号第二号(2)による ・構造図による ・構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による</p> <p>試験の要領 ※構造図による</p> <p>仮組を行う範囲 ・構造図による</p> <p>スプライスプレート材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレート材質 ※S400とする</p> <p>開先の形状 ※構造関係共通事項 (5) 3. 溶接継手の種類別先権率による ・構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項 (6) 5. 鉄骨溶接施工 (3) による ・構造図による エンドタブ・裏あて金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする 鋼製エンドタブの切断部分 ※全て () 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (社) 日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」 付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表3 [溶接] による</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・構造図による 適用箇所 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・構造図による</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・ 抜き取り検査1 ※ 抜き取り検査2 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3 [溶接] に関する試験方法等 ・ JASS 6 付則 6 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 表7.6.2~4 ・工場溶接の場合 ※ 全数 ・工事現場溶接の場合 ※ 全数</p> <p>種類及び性能 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ () ・ () ・耐火材張り ・繊維混入入り鉄カルシウム板 ・ () ・耐火材巻付け ・高耐火ロックウール ・ () ・ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>※ (社) 日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付則6 [鉄骨精度検査基準] 付表5 [工事現場] による</p>	<p>19 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7. 2. 4) (7. 10. 3) 表7. 10. 3</p> <p>20 錆止め塗装 [7. 4. 3] [8. 17. 2~4]</p> <p>21 溶融亜鉛めっき工法 (主要構造及び造作耐力上主要部分に限る) [8. 20. 4] 表8. 20. 1 適用箇所 ※構造図による</p> <p>1 あと施工アンカー [8. 2. 4]</p> <p>2 穿孔部の端部配管等の探査 [8. 12. 4]</p> <p>3 あと施工アンカーの試験 [8. 12. 7]</p> <p>4 シアネクタ [8. 7. 8]</p> <p>5 施工管理技術者 [8. 12. 2]</p> <p>1 グラウト材 [8. 2. 11]</p> <p>2 柱底等の均しモルタル [8. 2. 12]</p> <p>1 連続繊維シート [8. 2. 13] [8. 24. 6]</p> <p>連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ () 連続繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm² ・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm² ・ () 繊維目質量 ・ () g/m² ・ () シート厚さ ・ () mm ・ () シート貼り方向 ※構造図による 定着方法 ※構造図による 含浸接着樹脂 ・低臭型 ・ () プライマー ・低臭型 ・ () 下地処理 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※構造図による 下地処理の程度 ※構造図による 柱及び梁の隅角部の面取り [8. 24. 4] 大きさ ※構造図による 下地調整 ※行う ひび割れ部改修 ・行う ・行わない 種類及び部位 ※構造図による 引張強度試験 ・行う ・行わない ※ JIS A 1191 (コンクリート補強用連続繊維シートの引張試験方法) による 試験数量 ※構造図による 付着強度試験 ・行う ・行わない ※ JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による 試験数量 ※構造図による</p> <p>1 耐震スリットの方式、幅及び深さ [8. 25. 2]</p> <p>2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 [8. 12. 4]</p> <p>3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 [8. 25. 2]</p> <p>1 埋戻し及び盛土 [8. 28. 3]</p> <p>2 杭地業 [8. 2. 14] [8. 28. 4] (4. 3. 7)</p> <p>3 砂利地業 [8. 2. 14]</p> <p>4 捨コンクリート地業 [8. 28. 4] [8. 11. 1]</p> <p>1 石綿含有建材の除去工事 [9. 1. 1] [9. 1. 3~6]</p>	<p>・完全 ・部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による</p> <p>既存除去部の配管等の探査 ※鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる</p> <p>・耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による ・遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による ・撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による</p> <p>埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用箇所 () ・B種 適用箇所 () ・C種 適用箇所 () 土質 () 受盛場所 () ・D種 (細粒分 (75 μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) 適用箇所 () ・ ()</p> <p>支持地盤の位置及び種類 (基礎くい下の先峰位置含む) ・構造図による ・ () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・構造図による ・ () ・試験杭の位置、本数及び打込並びに施工方法 ・構造図による ・ () ・杭の構手の箇所数、材料、工法等 ・構造図による ・ () ・杭の溶接継手 技術関係特約の技量 ・構造図による ・ () 溶接部の確認 ・構造図による ・ () ・杭の処置 ・処理しない ・処理する 処置方法 (切断にともなう補強方法を含む) ・構造図による ・ () ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・ ()</p> <p>杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・ () 杭の鉛直度 ・1/100以内 ・構造図による</p> <p>記録する施工状況等 ・構造図による ・ ()</p> <p>材料 ・再生クラッシュラン G ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60 ・ ()</p> <p>捨コンクリートの厚さ ※90 ・ () 設計基準強度 ※18N/mm² ・ () スラブ ※15mm又は18cm ・ ()</p> <p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。 施工調査 ○石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 ○改修部分 ・ 図示 () 貸与資料 () ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリノライト、アモサイト、アンソフライト、クリソタイト、クロソドライト、トモライト 分析方法 <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-2/JIS A 1481-2</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-3/JIS A 1481-4</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 分析結果については、監督職員に報告すること</p> <p>石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">-</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーンの入口</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">※</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>(シート撤去後 1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・自動測定機による測定 <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>測定5</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>・ JIS K 3850-IIに基づいた測定</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>測定5</td> <td>測定 ()</td> <td>25 5 30</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td></td> <td></td> <td>47 10 120</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td></td> <td></td> <td>47 10 240</td> </tr> <tr> <td>測定 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </p> </p></p>	材料名	定性分析	定量分析	JIS A 1481-2/JIS A 1481-2	・ 箇所	・ 箇所	JIS A 1481-3/JIS A 1481-4	・ 箇所	・ 箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	-	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点	測定2		調査対象室外部の付近	・計点	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計点	測定4		セキュリティゾーンの入口	・計点	※	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	測定6		処理作業室外	・計点	※	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計点	測定8	処理作業後	処理作業室内	・計点	測定9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計点	測定名称	測定方法	測定4	測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定 ()			・ JIS K 3850-IIに基づいた測定	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4	測定5	測定 ()	25 5 30	測定 ()			47 10 120	測定 ()			47 10 240	測定 ()				<p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2) (7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・セメント固化) 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※原形のまま、手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有保温材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成形板等の除去 除去対象範囲 ※図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有石こうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ・ ※石綿障害予防規制 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6による措置と同時に以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度) ・集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) ・剥離剤併用工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度) ・剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ※行わない ・行う 試験施工 ※行わない ・行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(8)、(9)及び(10)による</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 石綿作業主任者 特別管理産業廃棄物管理責任者 保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。</p> <p>2 外断熱改修工事 [9. 2. 1~4]</p> <table border="1"> <tr> <th>断熱材</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキニングなし)</td> <td>・保温板 (2種b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保温板 (3種b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・ロックウール ・グラスウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>既存外壁の設置 既存外壁仕上げ材の撤去 下地面の清掃 欠損部の改修工法</td> <td>・あり ・なし ・行う ・行わない</td> <td>・ ・ ・ ※改修標準仕様書4.1.4による</td> </tr> </table> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 通気層の有無 ・有 (mm) ・無 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※断熱材及び外装材製造時の仕様による</p> <p>3 断熱・防露改修工事材 [9. 3. 2~4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 25 ・ 25</td> <td>・ 外壁 ・ スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ 3種 b A</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(スキニングなし) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・ビーズ法 ・ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキニングなし) ・保温板 (2種b) ・保温板 (3種b) ・ 25 ・ 25 ・ 土間 ・</p> <p>・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・</p> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ (mm) ・25 ・36 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示 ・現場発泡断熱材 品質性能等 難燃性 下記のいずれかによっていること 1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コロンカラー試験) に適合していること。 発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分であり、次の1) ~ 3) に適合していること。 1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 2) 防火上有害な表面まで貫通する電線及び穴がないこと。 3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</p>	断熱材	種類	厚さ (mm)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキニングなし)	・保温板 (2種b)		・保温板 (3種b)		・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・ロックウール ・グラスウール					種類	防火性能	備考	既存外壁の設置 既存外壁仕上げ材の撤去 下地面の清掃 欠損部の改修工法	・あり ・なし ・行う ・行わない	・ ・ ・ ※改修標準仕様書4.1.4による	種類	厚さ (mm)	施工箇所	※ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25 ・ 25	・ 外壁 ・ スラブ	・ 3種 b A	・ 25	・
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																															
JIS A 1481-2/JIS A 1481-2	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																															
JIS A 1481-3/JIS A 1481-4	・ 箇所	・ 箇所																																																																																																															
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																													
-	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計点																																																																																																													
	測定2		調査対象室外部の付近	・計点																																																																																																													
	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計点																																																																																																													
	測定4		セキュリティゾーンの入口	・計点																																																																																																													
※	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置																																																																																																													
	測定6		処理作業室外	・計点																																																																																																													
※	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計点																																																																																																													
	測定8	処理作業後	処理作業室内	・計点																																																																																																													
	測定9	(シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計点																																																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																																																
測定4	測定5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																															
測定 ()																																																																																																																	
・ JIS K 3850-IIに基づいた測定	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																														
測定4	測定5	測定 ()	25 5 30																																																																																																														
測定 ()			47 10 120																																																																																																														
測定 ()			47 10 240																																																																																																														
測定 ()																																																																																																																	
断熱材	種類	厚さ (mm)																																																																																																															
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキニングなし)	・保温板 (2種b)																																																																																																																
	・保温板 (3種b)																																																																																																																
・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・ロックウール ・グラスウール																																																																																																																	
種類	防火性能	備考																																																																																																															
既存外壁の設置 既存外壁仕上げ材の撤去 下地面の清掃 欠損部の改修工法	・あり ・なし ・行う ・行わない	・ ・ ・ ※改修標準仕様書4.1.4による																																																																																																															
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																															
※ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25 ・ 25	・ 外壁 ・ スラブ																																																																																																															
・ 3種 b A	・ 25	・																																																																																																															



<p>4 屋上緑化改修工事 [9. 4. 2~4]</p> <p>10 その他</p> <p>1 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]</p>	<p>試験方法</p> <p>イ. 原液試験 (原液粘土試験) JIS K 7117-1 「フタツケ」液状、乳濁状又は分散状の樹脂-アクリル樹脂粘結剤 JIS K 7117-1 「フタツケ」液状、乳濁状又は分散状の樹脂-アクリル樹脂粘結剤 による見掛け粘度の測定方法」による。</p> <p>ロ. 発粘品試験 1) 試料の作成は、JIS A 9526 「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6. 2. 1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6. 2. 2による。また、試験片の作成はJIS A 9526の6. 2. 3による。 3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6. 2. 4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6. 2. 5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6. 2. 6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6. 2. 7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6. 2. 8による。</p> <p>ハ. 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>・断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</p> <p>・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>補装基盤及び材料</p> <p>・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>品質性能等 透水、排水層等構成材の主要材質は、合成樹脂等耐腐蝕性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共) 透水層は、目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、構え込み土を流出させない構造であること。 排水層は、植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び構え込み土を壊さず、流出しない構造をもつこと。 排水層の配置方向の排水性能: 240 L/m²/h以上 耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度) は、3×10⁴ N/m²以上の載荷重で破壊・有害なひずみなど発生しないこと。(保水層を有する場合は保水層共) また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 耐根腐は、重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐蝕性及び耐久性のあるものであること。 耐根腐保護層の材質は、合成樹脂等とし、耐腐蝕性及び耐久性を有し、かつ、施工及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 (試験方法) イ. 排水基盤の耐荷重性能 1) 3×10⁴ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変形、破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) 2) 試験体は耐根腐から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm/min以下とする。 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する (種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない</p>	<p>(5) 耐燃性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒</p> <p>(6) 帯電防止性能評価値 (U) 0.6以上</p> <p>(7) 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥ 1×10⁶ Ω</p> <p>(8) 歩行感 通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない</p> <p>(9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるように設計されている。 (試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高さ ≤ 300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N: 200kg 5000N: 350kg 加振 0.6G: 所定加速度600cm/S² 1.0G: 所定加速度1000cm/S² 2) 300mm<設計床高さ ≤ 600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 イ. 支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 ロ. 原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。 ②試験方法-1 イ. 試験は、コクリート(JIS A 53717) 4×4×4無筋コクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ. 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 イ. 試験は、コクリート(JIS A 53717) 4×4×4無筋コクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット相当の、適用地震時 水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ. 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板3,200 N (5,000 N/1㎡相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④零点補正及び測定記録試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して「0」にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーペット 繊維素材: ナイロン100% パイル構造: ループパイル パイル長: 3.0mm~4.0mm バックリング素材: 塩化ビニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/㎡~64.0kg/㎡ 人体耐電圧: 2KV以下</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 重名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス レールの材質</th> <th>幅・高さ 取付け箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製 [G]</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>※アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </table> <p>アルミスラット 係付け蓋装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエスチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ガラス繊維製 ・合成、天然繊維製 ・木製</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>巻取りパイプ、ウエイパー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>カーテン</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td> <td>・図示</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ポリエスチル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <table border="1"> <tr> <th>カーテンレール</th> <th>材質</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 ・シングル ・片引き</td> <td>・ダブル ・引分け</td> </tr> <tr> <td>強さによる区分</td> <td>※10-90</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td>※アルマイト</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>※角形</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>薄型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集材材 (仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品) ・表面処理 ・BC-1 ・BC-2 (・標準色 () ・特注色 ()) ・鋼製 (仕上げ:)</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅・高さ 取付け箇所	・横型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製	・図示 ・	・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	※アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示 ・	材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ガラス繊維製 ・合成、天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	・	カーテン	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・図示	・	・	カーテンレール	材質	性能	形式	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 ・シングル ・片引き	・ダブル ・引分け	強さによる区分	※10-90	・	仕上げ	※アルマイト	・	形状	※角形	・	<p>7 点検口</p> <p>・天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・460×460 ・600×600</td> <td>・一脱形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ</td> <td>・隠線タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜(JIS H 8601 AA6) 又は同等の性能を有するもの (外側に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材取付け金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、垂れめつき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能 (繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、片見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下取付け用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様にて使い付ける。なお、野縁の種類は、19形と仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901 「せっこうボード製品」) のB-Rの種級2級又は発熱性2級以上) 2重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。 ・床点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・460×460 ・600×600</td> <td>・一脱形 ・密閉形 ・屋内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉部とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能) 以下のもの又は同等のものとする</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td>受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス鋼製</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td>JIS G 4305のSUS304 SUS430J1L SUS443J1 (表面処理) HL又は2B</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>黄銅 ステンレス</td> <td>JIS H 3100 C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 C3602、C3604</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> </tr> <tr> <td>底板材 コーナーピース 産板補強材</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430 J1L SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305 SUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td></td> <td></td> <td>鋼製又はJIS G 3313の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td></td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td>取手</td> <td>鋼製に電気亜鉛めつき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>扉</td> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開設は、鍵又は開閉用ハンドル式とする 蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、片見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体は破壊する (終局荷重) まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>表面仕上げ</td> <td>直径 (mm)</td> <td>取付箇所</td> </tr> <tr> <td>※集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製</td> <td>・リブ ・HL ・SDP ・EP-G</td> <td>・35 ・45</td> <td>・</td> </tr> </table>	材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	・アルミニウム製	・460×460 ・600×600	・一脱形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ	・隠線タイプ ・目地タイプ	材質	寸法 (mm)	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・460×460 ・600×600	・一脱形 ・密閉形 ・屋内用	・鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス鋼製	JIS H 4100のA6063S-T (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS304 SUS430J1L SUS443J1 (表面処理) HL又は2B	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		目地材	黄銅 ステンレス	JIS H 3100 C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 C3602、C3604	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304	底板材 コーナーピース 産板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430 J1L SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305 SUS430	アルミニウム板	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)		鋼材			鋼製又はJIS G 3313の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの		アンカー材	取手	鋼製に電気亜鉛めつき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		扉	蓋の耐荷重性能	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開設は、鍵又は開閉用ハンドル式とする 蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、片見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体は破壊する (終局荷重) まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	※集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製	・リブ ・HL ・SDP ・EP-G	・35 ・45	・	<p>9 天井見切り縁等</p> <p>10 視覚障がい者誘導用ブロック (視覚障がい者用ブロック) (11. 2. 2) (19. 2. 2)</p> <p>11 鉄筋 (5. 2. 1) (8. 5. 2. 1)</p> <p>12 溶接金網 (5. 2. 2)</p> <p>13 鉄筋の継手及び定着 (5. 3. 4)</p> <p>14 コンクリートの気乾単位容積重量による種類及び強度等 (6. 2. 1~4)</p> <p>15 セメント (6. 3. 1)</p> <p>16 型枠 (6. 8. 2)</p> <p>17 無筋コンクリート (6. 14. 1)</p> <p>18 床コンクリート直均し仕上げ (8. 1. 4) [表8. 1. 5]</p> <p>19 あと施工アンカー [14. 1. 3]</p> <p>20 可動間仕切 (20. 2. 3)</p> <p>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁 (天井見切り縁、下がり壁見切り縁) の材質 ※アルミニウム既製品 ○ビニル既製品</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>・300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル製 [G]</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・セラミックタイル製 [G]</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法はJIS T 9251による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※S D 2 9 5</td> <td>D 1 0、D 1 3、D 1 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※溶接金網 ・鉄筋椅子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>図示による</th> <th>摩擦係数接合</th> <th>整合グラウト固定</th> <th>嵌合グラウト固定</th> </tr> </table> <p>8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※2.4</td> <td>※標準仕様書6. 2. 21による</td> <td>※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※1.8</td> <td>※1.6</td> <td>※標準仕様書6. 14. 1 (4) (7) ~ (8) による</td> </tr> </table> <p>セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>仕上げの平たんさは、図示によるほか、下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>改修標準仕様書表8. 1. 51による</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>a 種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()</td> </tr> <tr> <td>b 種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()</td> </tr> <tr> <td>c 種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()</td> </tr> </table> <p>6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記によるあと施工アンカーあと施工アンカーの確認試験 ※行う ・行わない 確認強度 ・</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成材の種類</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>遮音性</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>材質 厚さ (mm) ・パネル表面仕上げ</td> <td>遮音性 (dB/500Hz)</td> <td>防火性能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※0.6 ・0.8 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取り付ける建具・あり (※図示) ・なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書 19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	・セラミックタイル製 [G]	・300×300	・	・レジンコンクリート製	・300×300	・	屋外	・セラミックタイル製 [G]	・300×300	・	・レジンコンクリート製	・300×300	・	・コンクリート製	・	・	種類	呼び名	備考	※S D 2 9 5	D 1 0、D 1 3、D 1 6		※S D 3 4 5	D 1 9 以上		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※溶接金網 ・鉄筋椅子			種類	適用箇所	図示による	摩擦係数接合	整合グラウト固定	嵌合グラウト固定	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (cm)	適用箇所	※2.4	※標準仕様書6. 2. 21による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (cm)	施工箇所	※普通コンクリート	※1.8	※1.6	※標準仕様書6. 14. 1 (4) (7) ~ (8) による	改修標準仕様書表8. 1. 51による	施工箇所	a 種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()	b 種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()	c 種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()	構造形式	構成材の種類	表面仕上げ材	遮音性	防火性能	※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	材質 厚さ (mm) ・パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能			※0.6 ・0.8 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	<p>管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠</p> <p>有限会社 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p> <p>施工名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事 (建築)</p> <p>図面名称 改修工事特設仕様書 (8)</p> <p>設計番号 -</p> <p>製図 一級建築士 第168726号</p> <p>図面番号 A-08</p> <p>S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1. 41</p> <p>平林 輝彦</p> <p>令和5年度 J2301353 中部環境建築局</p>
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅・高さ 取付け箇所																																																																																																																																																																																																																			
・横型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製	・図示 ・																																																																																																																																																																																																																			
・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	※アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示 ・																																																																																																																																																																																																																			
材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																				
・ガラス繊維製 ・合成、天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	・																																																																																																																																																																																																																				
カーテン	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																			
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・図示	・	・																																																																																																																																																																																																																			
カーテンレール	材質	性能																																																																																																																																																																																																																							
形式	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 ・シングル ・片引き	・ダブル ・引分け																																																																																																																																																																																																																							
強さによる区分	※10-90	・																																																																																																																																																																																																																							
仕上げ	※アルマイト	・																																																																																																																																																																																																																							
形状	※角形	・																																																																																																																																																																																																																							
材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																																																																																					
・アルミニウム製	・460×460 ・600×600	・一脱形	・屋内外用 ・屋内用 ・目地タイプ	・隠線タイプ ・目地タイプ																																																																																																																																																																																																																					
材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																						
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・460×460 ・600×600	・一脱形 ・密閉形 ・屋内用	・鍵付き																																																																																																																																																																																																																						
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																						
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス鋼製	JIS H 4100のA6063S-T (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS304 SUS430J1L SUS443J1 (表面処理) HL又は2B																																																																																																																																																																																																																						
二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																																							
目地材	黄銅 ステンレス	JIS H 3100 C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 C3602、C3604	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																																																																						
底板材 コーナーピース 産板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430 J1L SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305 SUS430																																																																																																																																																																																																																						
アルミニウム板	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)																																																																																																																																																																																																																							
鋼材			鋼製又はJIS G 3313の類にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、鉛酸カルシウム及び止めペイント (JIS K 5629) の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																						
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																																																																																																																																																																																							
アンカー材	取手	鋼製に電気亜鉛めつき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																							
扉	蓋の耐荷重性能	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開設は、鍵又は開閉用ハンドル式とする 蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること																																																																																																																																																																																																																							
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、片見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体は破壊する (終局荷重) まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																																																																																																																																									
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																						
※集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製	・リブ ・HL ・SDP ・EP-G	・35 ・45	・																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																						
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0																																																																																																																																																																																																																						
	・セラミックタイル製 [G]	・300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
	・レジンコンクリート製	・300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
屋外	・セラミックタイル製 [G]	・300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
	・レジンコンクリート製	・300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
	・コンクリート製	・	・																																																																																																																																																																																																																						
種類	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																							
※S D 2 9 5	D 1 0、D 1 3、D 1 6																																																																																																																																																																																																																								
※S D 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																								
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																							
※溶接金網 ・鉄筋椅子																																																																																																																																																																																																																									
種類	適用箇所	図示による	摩擦係数接合	整合グラウト固定	嵌合グラウト固定																																																																																																																																																																																																																				
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																							
※2.4	※標準仕様書6. 2. 21による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																							
種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スラブ (cm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																						
※普通コンクリート	※1.8	※1.6	※標準仕様書6. 14. 1 (4) (7) ~ (8) による																																																																																																																																																																																																																						
改修標準仕様書表8. 1. 51による	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
a 種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()																																																																																																																																																																																																																								
b 種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()																																																																																																																																																																																																																								
c 種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()																																																																																																																																																																																																																								
構造形式	構成材の種類	表面仕上げ材	遮音性	防火性能																																																																																																																																																																																																																					
※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	材質 厚さ (mm) ・パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																																																					
		※0.6 ・0.8 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																																					



- ・構外(町道)において、特記無き測点位置は側溝縁天線。
- 沈砂槽棟 (RC造-平屋建)
 - P ポンプ室 (CB造-平屋建)
 - ◎ 水管更生ピット棟 (建物対象外) (RC造-平屋建)
 - T 井戸取水ポンプ室 (No. 1) (CB造-平屋建)
 - U 井戸取水ポンプ室 (No. 2) (CB造-平屋建)
 - V 井戸取水ポンプ室 (No. 3) (CB造-平屋建)

配置図 S=1:600
敷地面積 26,047.00 m²

	既設部分																										既存合計	工事建物		合計
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	M	N	O	P	◎	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	a		計		
建築面積	439.92	1,900.17	1,382.87	371.25	8.75	417.60	360.40	97.90	7.93	135.00	49.99	444.70	30.00	18.56	28.59	7.76	95.80	91.00	7.78	7.78	7.78	30.69	11.65	120.00	57.97	12.74	6,144.58	695.50	695.50	6,840.08
延床面積	691.92	1,900.17	1,382.87	386.70	8.75	417.60	360.40	97.90	7.93	135.00	99.89	436.00	30.00	18.56	28.59	7.76	125.00	91.00	7.78	7.78	7.78	30.69	11.65	120.00	49.37	0.00	6,461.09	695.50	695.50	7,156.59



井手添建築設計事務所
TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

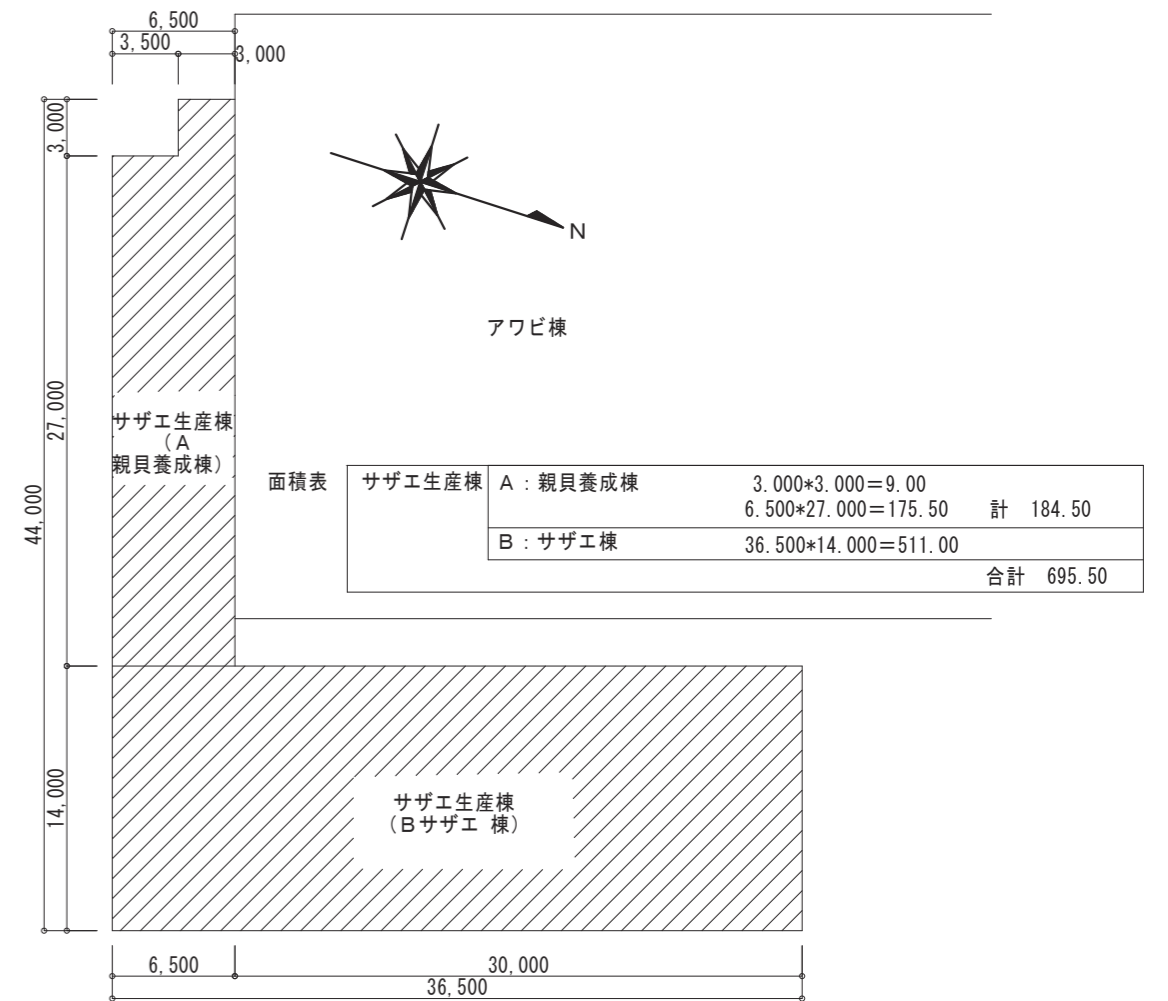
管理建築士 井手添 誠
一級建築士登録第196328号
検図 担当

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
図面名称 配置図・付近見取図
S=1/600
A3縮小図面縮尺: S/1.41

設計番号 -
製図 一級建築士 第168726号
図面番号 A-09
平林 輝彦

外部仕上表

	改修前	改修後
A:親貝養成棟		
屋根	ハゼ式折板H=90ガルバリウム鋼板0.8t 裏面ポリフォーム6t 防火区画部分はスーパーフェルトン5t貼り	既存折板撤去処分後新設ハゼ式折板H=90ガルバリウム鋼板0.8t 裏面ポリフォーム6t 鉄骨梁等(垂鉛メッキ)R種下地調整後DP塗り 防火区画部分はスーパーフェルトン5t貼り(屋根30分耐火FP030RF-0050) 雪止めアングル、ステンレスチェーンは撤去再取付
接続アワビ棟南面外壁	PC板(ポリカーボネート樹脂板)1.0tスレート小波タイプ 小波スレート貼り	PC板及び小波スレートは折板更新で水上水切り板設置のため取り外し再取付 当該部の鉄骨(柱、梁、胴縁等)は既存のまま
外壁	小波スレート(アスベスト含有)貼り ステンレフック仕様	既存スレート撤去処分後小波スレート貼り ステンレフック仕様 鉄骨柱・胴縁等(垂鉛メッキ)R種下地調整後DP塗り 最下段胴縁は取り替えC-120*60*20*3.2垂鉛メッキ(B種HD245)品
外部幅木部分	一部CB120t化粧積み コンクリート打ち放し	一部CB120t化粧積み部分は水洗い(デッキブラシ程度) 既存の水洗い(デッキブラシ程度) 破損部モルタル補修
外部階段	モルタル塗り	既存の水洗い(デッキブラシ程度) 破損部モルタル補修
種	軒種: . . . 滅失 タテ種: VP75	軒種: タテ種無し . . . 既存タテ種撤去処分
B:サザエ棟		
屋根	PC板(ポリカーボネート樹脂板)1.5tスレート大波タイプ 水上飾棟・水下軒先曲り・ケラバ(アスベスト含有)はスレート 一部大波スレート(アスベスト含有)貼り	既存撤去処分後新設PC板(ポリカーボネート樹脂板)1.5tスレート大波タイプ、一部大波スレート張り、ステンレスフックボルト 水上飾棟: 水下軒先曲り・ケラバはスレート PC板、スレート取り合い部はコンプリバンド仕様 PC板1.5t 葺きは「サザエ」併用とする
外壁	PC板(ポリカーボネート樹脂板)1.0tスレート小波タイプ 一部小波スレート(アスベスト含有)貼り	既存撤去処分後新設PC板(ポリカーボネート樹脂板)1.0tスレート小波タイプ、一部小波スレート貼り
外部幅木部分	一部CB120t化粧積み コンクリート打ち放し	一部CB120t化粧積み部分は水洗い(デッキブラシ程度) 既存の水洗い(デッキブラシ程度) 破損部モルタル補修
外部階段	モルタル塗り	モルタル塗り浮き及び破損部はモルタル塗り替え 手すりは既存のまま



共通事項

1. 屋根スレート、PC板、折板の撤去に際しては降雨等が既存設備等に支障ないよう養生を考慮して施工すること
2. スレート、PC板の取付は全てステンレスフックとする
3. スレート、PC板の重ね部は、全てコンプリバンド仕様とする
4. 更新ステンレス製品は全てSUS304とする

内部仕上表

	部屋名	床 改修前	床 改修後	幅木 改修前	幅木 改修後	腰 改修前	腰 改修後	壁 改修前	壁 改修後	天井 改修前	天井 改修後	備考
B サザエ棟	サザエ棟	コンクリート金コテ	既存のまま クラック部のみモルタル補修	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	A・B・C面外壁裏張り D面及びA面1部 ケイカル板8t(アスベスト含有)VE塗り	既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修 既存撤去処分後新設ケイカル板8tEP塗り	屋根張り	既存撤去処分後鉄骨母屋DP塗り補修	床ビットFRPグレーチング 破損部撤去処分更新 窓・天井透光ネット 既存撤去処分 ワイヤー共 新規更新 キャットウォーク新設
	ボイラー室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	C・D面外壁裏張り A・B面PB9t(H型ジョイナ仕様)	既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修 既存撤去処分後新設PB9.5t(H型ジョイナ仕様)	化粧PB9t 塩ビ回り縁 天井裏GW50t	既存撤去処分後新設化粧PB9.5t 塩ビ回り縁 既存撤去処分後新設GW50t(24kg/m2)	天井点検口撤去処分更新
	飼料培養室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	4面ケイカル板8t(アスベスト含有)VE塗り	既存のまま	化粧PB9t 塩ビ回り縁 天井裏GW50t	既存のまま	小屋裏床 既存ラワン合板T1 9t撤去処分後 鉄骨根太DP塗り補修のうえ 新設ラワン合板12t敷
	飼料管理室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	4面ケイカル板8t(アスベスト含有)VE塗り	既存のまま	化粧PB9t 塩ビ回り縁 天井裏GW50t	既存のまま	
A 親貝養成棟	採卵・幼生管理室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	A・C面ケイカル板8t(アスベスト含有)VE塗り B面アワビ棟南妻面外壁小波スレート D面外壁裏張り	既存撤去処分後新設ケイカル板8tEP塗り 既存のまま 既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修	ケイカル板5t(アスベスト含有)VE塗り 塩ビ回り縁	既存撤去処分後新設ケイカル板5tEP塗り 塩ビ回り縁新設	既存透光カーテン撤去処分 新設透光カーテン設置
	ポンプ室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	D面外壁裏張り A・B・C面PB9t(H型ジョイナ仕様)	既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修 既存撤去処分後新設PB9.5t(H型ジョイナ仕様)	化粧PB9t 塩ビ回り縁 天井裏GW50t	既存撤去処分後新設化粧PB9.5t 塩ビ回り縁 既存撤去処分後新設GW50t(24kg/m2)	
	親貝養成室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	A・C面ケイカル板8t(アスベスト含有)VE塗り B面アワビ棟南妻面外壁小波スレート D面外壁裏張り	既存撤去処分後新設ケイカル板8tEP塗り 既存のまま 既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修	ケイカル板5t(アスベスト含有)VE塗り 塩ビ回り縁	既存撤去処分後新設ケイカル板5tEP塗り 塩ビ回り縁新設	
	ブロー室	コンクリート金コテ	既存のまま	コンクリート打ち放し	既存のまま	CB120t化粧積み 間仕切り部: CB100t化粧積み	既存のまま	C面PB9t(H型ジョイナ仕様) B面アワビ棟南妻面外壁小波スレート A・D面外壁裏張り	既存撤去処分後新設PB9.5t(H型ジョイナ仕様) 既存のまま 既存撤去処分後鉄骨胴縁DP塗り補修	屋根張り	既存撤去処分後鉄骨母屋DP塗り補修	

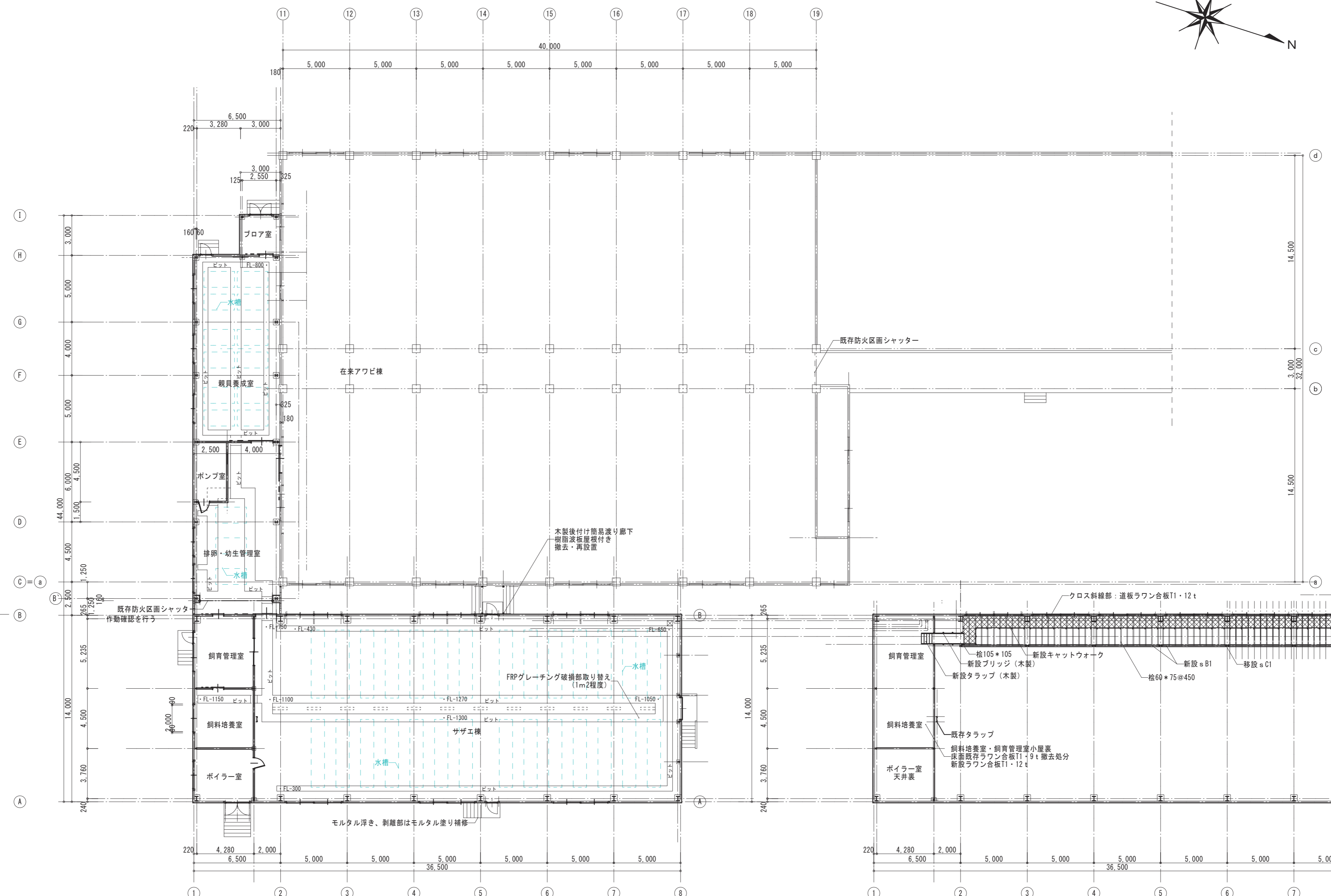
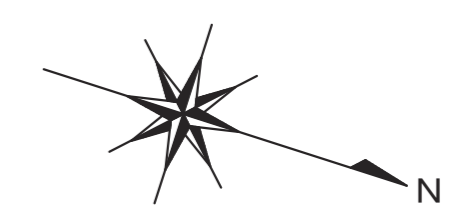
共通事項

1. 着工前に現地調査を充分に行い、施工図(施工計画)を作成すること
2. 天井下地は全て既存撤去処分更新とする
3. 床ビット内のクラックは、別途設備工事にて配管及び支持金物撤去後調査すること。設計では参考数量とし10mを計上し、エポキシ樹脂低圧注入とする。
4. 鉄骨部分のDP塗り(1級)A種、鎖止めB種、下地調整R種

井手添建築設計事務所
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
検図 担当	図面名称 仕上げ表 S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-10	平林 輝彦





サザエ生産棟平面図

サザエ工棟小屋裏平面図

井手添建築設計事務所
TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 井手添 誠
一級建築士登録第196328号
検図 担当

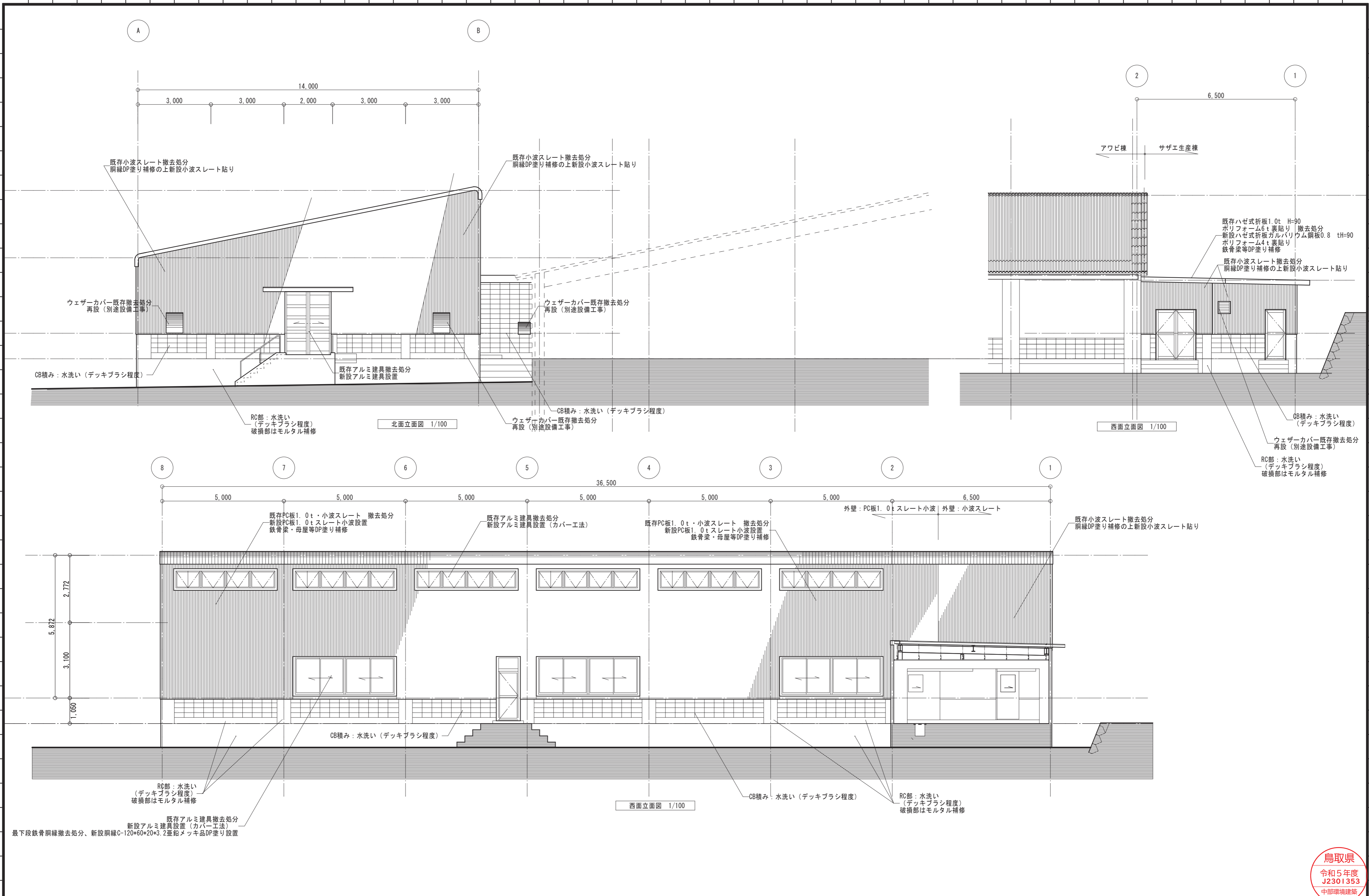
工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
図面名称 平面図 (縮尺)

S=1/200
A3縮小図面縮尺: S/1.41

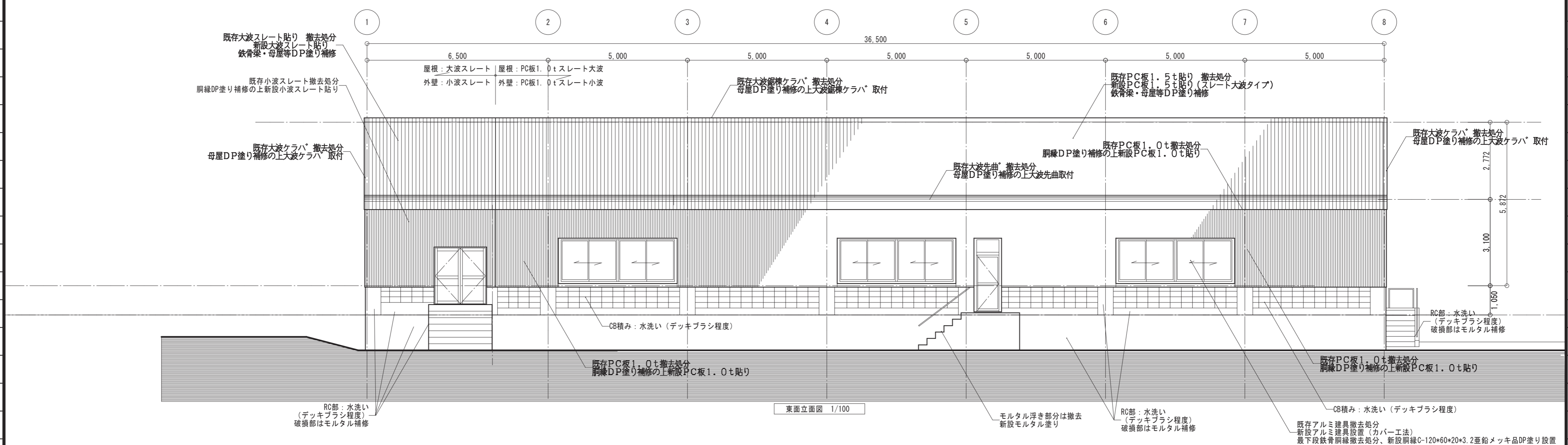
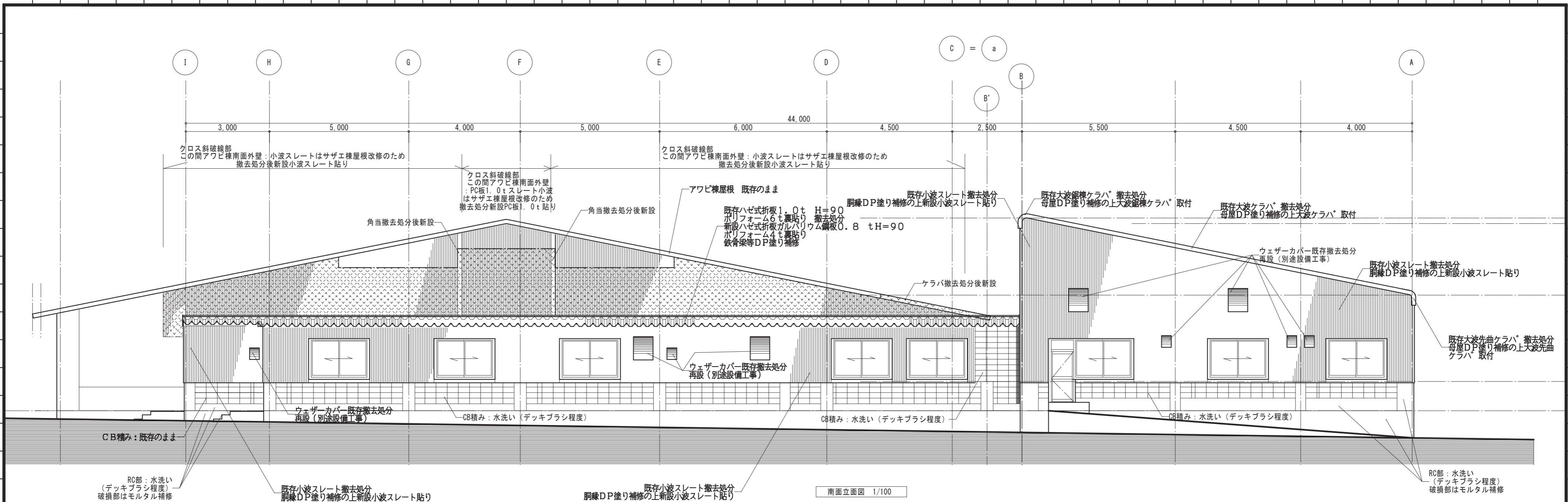
設計番号 -
図面番号 A-11

製図 平林 輝彦
一級建築士 第168726号

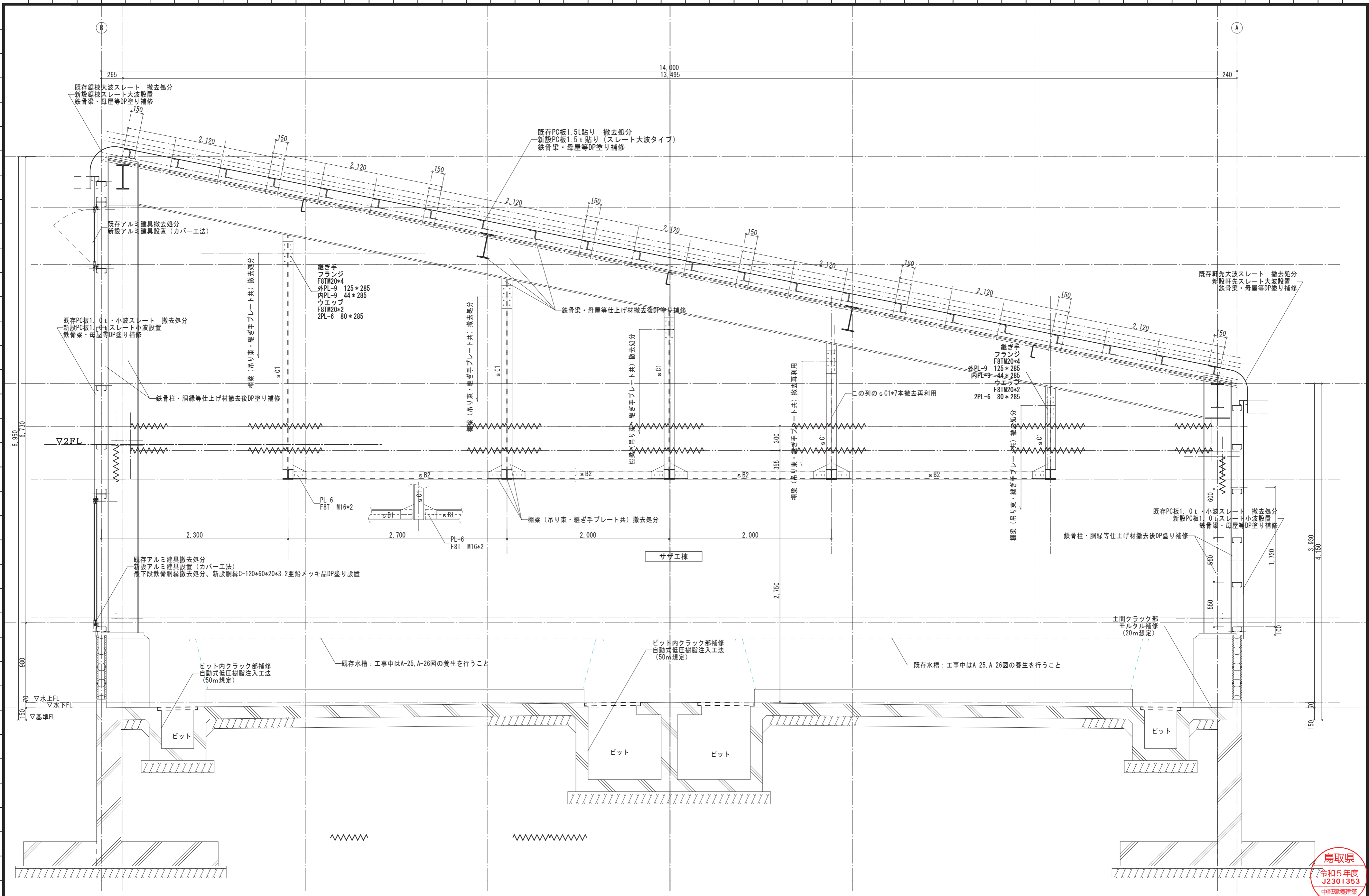




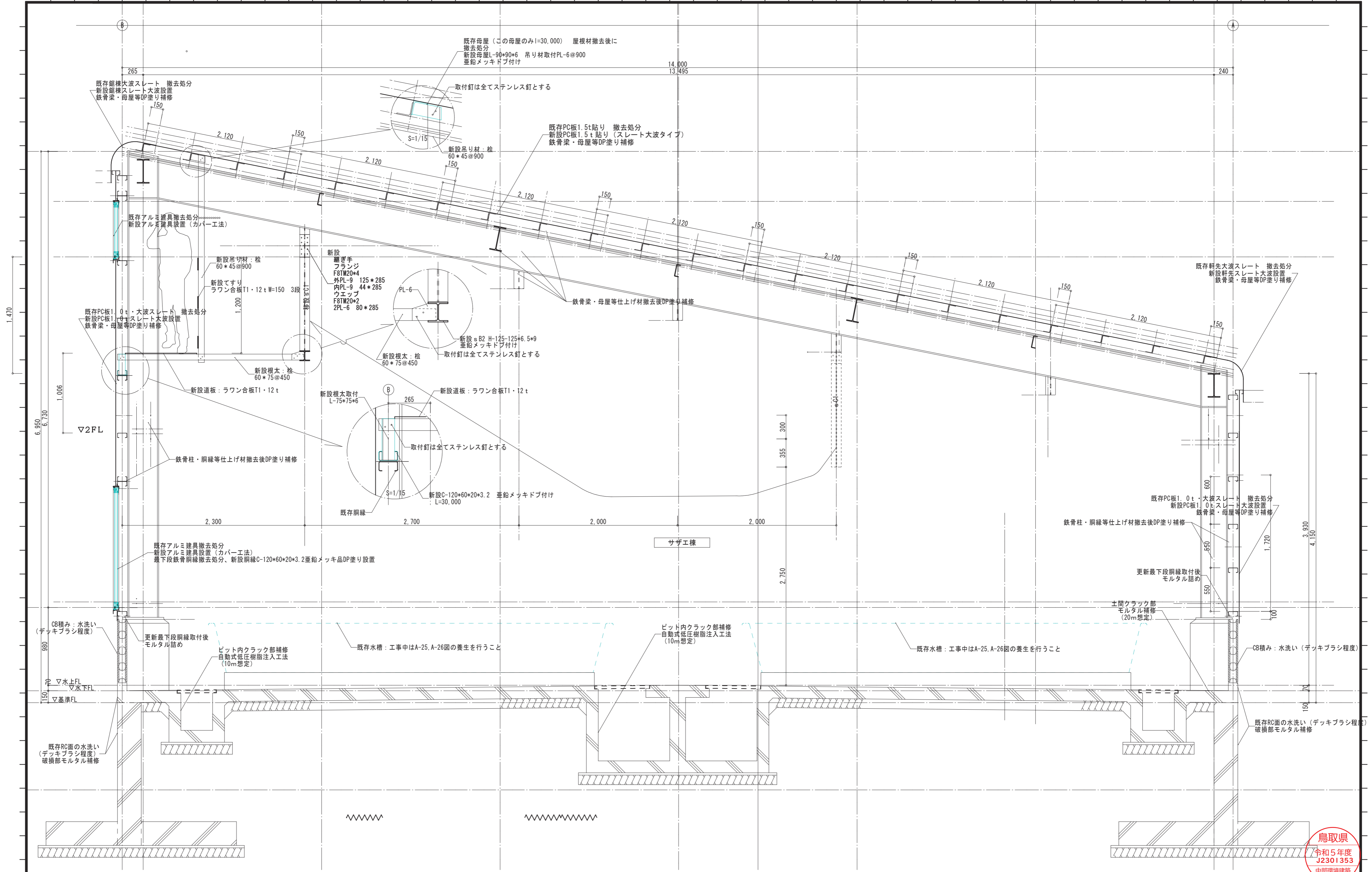
 <p>井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	<p>管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠</p> <p>検図 担当</p>	<p>工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)</p> <p>図面名称 立面図-1 (縮尺)</p>	<p>設計番号 -</p> <p>図面番号 A-12</p> <p>S=1/100 A3縮小図面縮尺: S/1.41</p>	<p>製図 一級建築士 第168726号</p> <p>平林 輝彦</p>
---	--	---	--	---



<p>井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
	検図 担当	図面名称 立面図-2 S=1/100 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-13	製図 平林 輝彦



 <p>井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	<p>管理建築士 井手添 誠 一級建築士登録第196328号</p> <p>検図 担当</p>	<p>工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)</p> <p>図面名称 矩計図-1(サザエ棟改修前)</p> <p>S=1/30 A3縮小図面縮尺: S/1.41</p>	<p>設計番号 -</p> <p>図面番号 A-14</p>	<p>製図 一級建築士 第168726号</p> <p>平林 輝彦</p>
--	---	--	--------------------------------	---------------------------------------

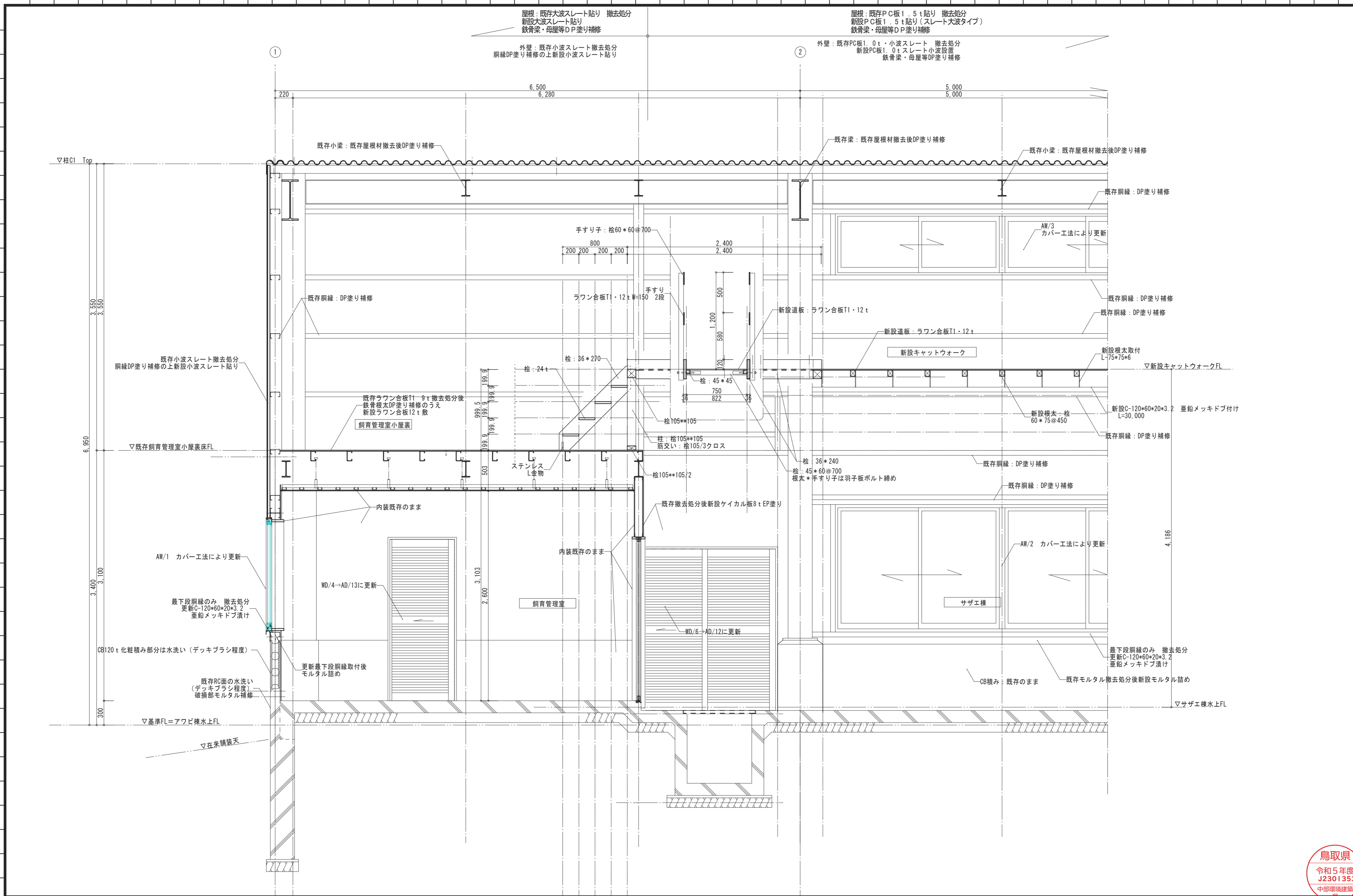




有限会社 井手添建築設計事務所
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

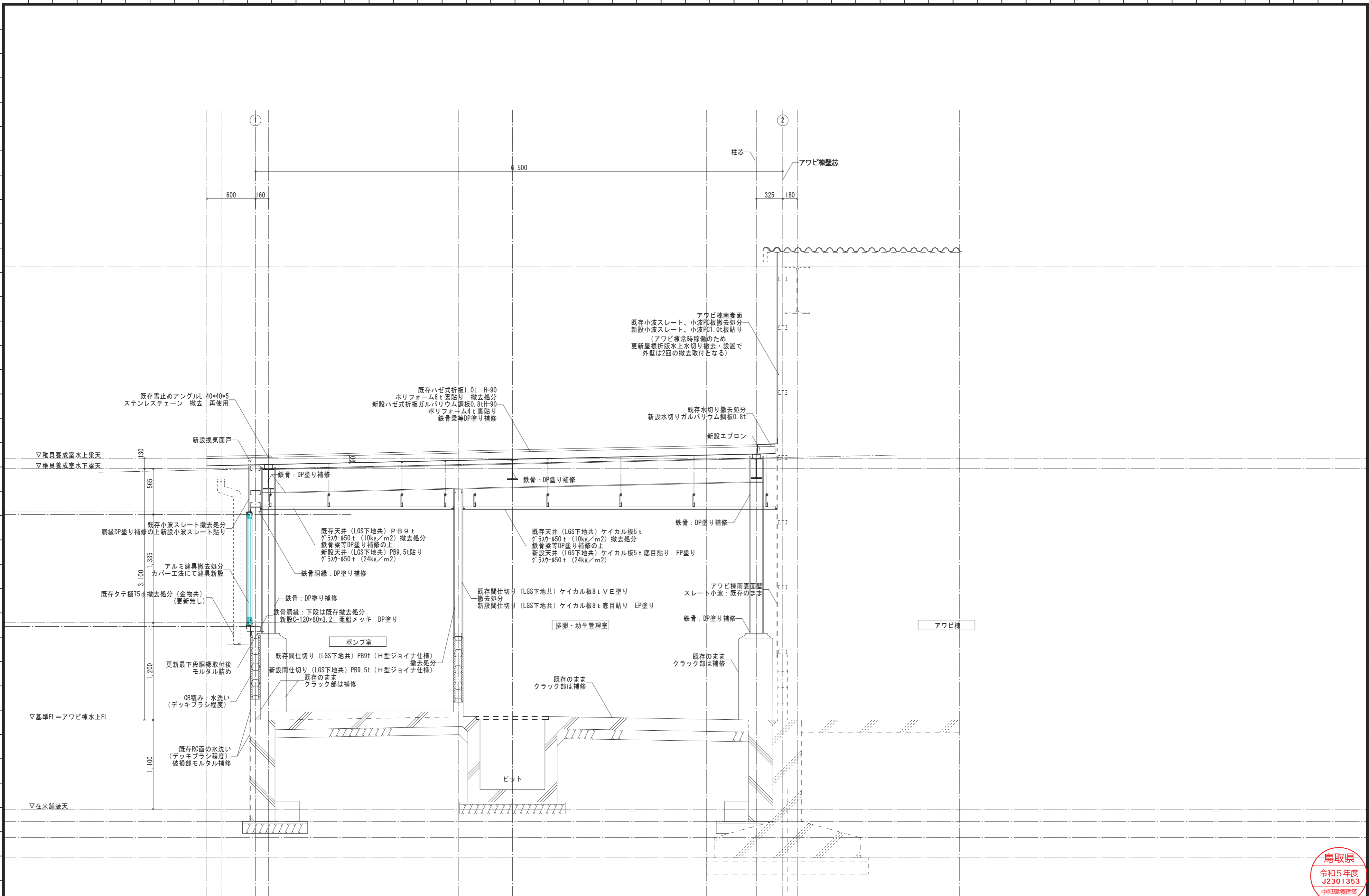
管理建築士
 一級建築士登録第196328号 **井手添 誠**
 検図 担当

工事名称
 栽培漁業センターサザ工生産棟改修工事(建築)
 図面名称
 矩計図-2(サザ工棟改修後)
 S=1/30 1/15
 A3縮小図面縮尺: S/1.41

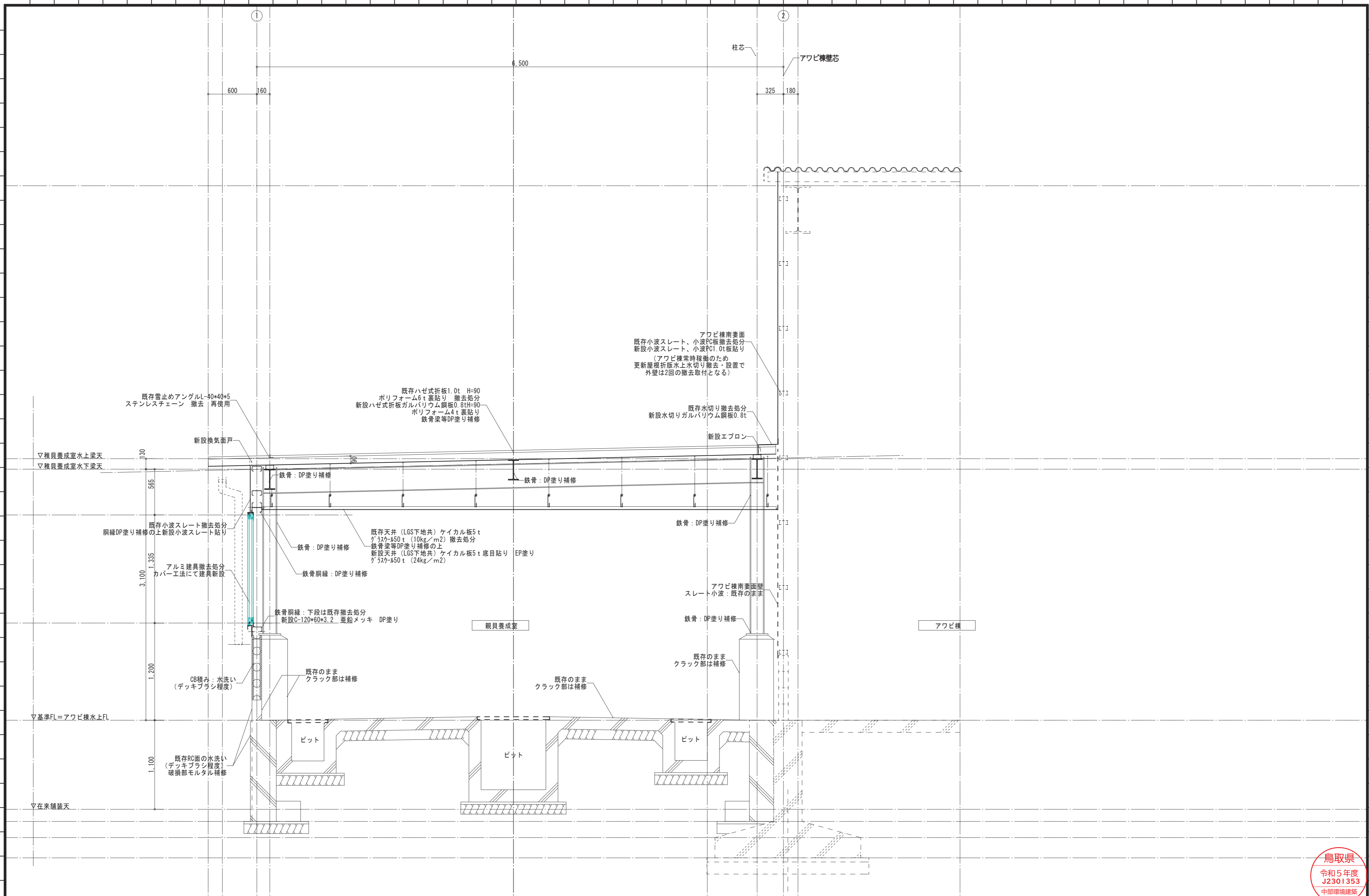
設計番号
 -
 製図
 一級建築士 第168726号
 図面番号
 A-15
 平林 輝彦



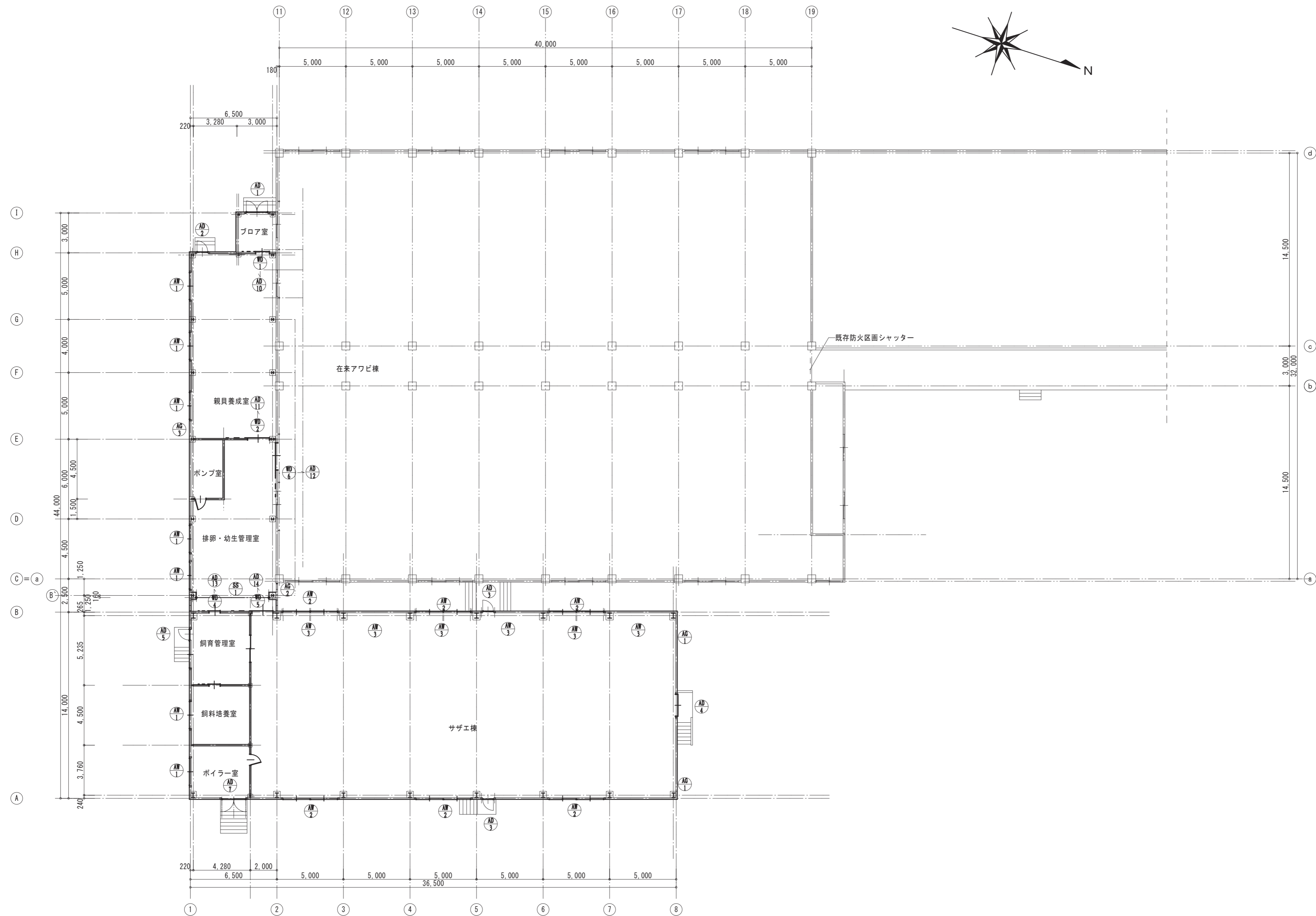
 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
	検図 担当	図面名称 (縮尺) 矩計図-3(キャットウォークタラップ)	S=1/30 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-16



 有限会社 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
	検図 担当	図面名称 矩計図-4(排卵・幼生管理室)	S=1/30 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-17



 <p>井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	<p>管理建築士 井手添 誠 一級建築士登録第196328号</p> <p>検図 担当</p>	<p>工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)</p> <p>図面名称 矩計図-5(親貝養成室)</p> <p>縮尺 S=1/30 A3縮小図面縮尺：S/1.41</p>	<p>設計番号 -</p> <p>図面番号 A-18</p>	<p>製図 一級建築士 第168726号</p> <p>平林 輝彦</p>
--	---	--	--------------------------------	---------------------------------------



	 <p>井手添建築設計事務所 有限会社 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	<p>管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠 検図</p>	<p>担當</p>	<p>工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)</p> <p>図面名称 (縮尺) 建具配置図</p> <p>S=1/200 A3縮小図面縮尺: S/1.41</p>	<p>設計番号 -</p> <p>図面番号 A-19</p>	<p>製図 一級建築士 第168726号 平林 輝彦</p>
--	---	---	-----------	--	--	--

符 号	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4	AD 5	AD 6 欠番 AD 7
形状・寸法	腰ガラリ両開きドア 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新 	片開きドア 既存アルミ建具撤去処分後カバー工法で更新 	ランマ付片開きドア 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新 	引分けハンガー戸 既存アルミ建具撤去処分後カバー工法で更新 ハンガーレール 既存のまま 	片袖引違い窓付き片開きドア 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新 	腰ガラリ両開きドア 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新
見込 (数量)	70 (1)	70 (1)	70 (2)	70 (1)	70 (1)	70 (1)
材 種	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー)
金 物	付属金物一式 シリンダー錠 番摺: ステンレス、フランス落し	標準金物一式 シリンダー錠 番摺: ステンレス	標準金物一式 シリンダー錠 番摺: ステンレス	標準金物一式 締付打掛	標準金物一式 シリンダー錠 番摺: ステンレス	付属金物一式 シリンダー錠 番摺: ステンレス、フランス落し
硝子・備考	腰: アルミガラリ (防虫網付き) FL-3	腰: アルミパネル5t 上部FL-3をアルミパネル5t	腰: アルミパネル5t FL-3	アルミパネル5t	腰: アルミパネル5t FL-3	腰: アルミガラリ (防虫網付き) FL-3

符 号	WD 1 → AD 10	WD 2 → AD 11	WD 6 → AD 12	WD 4 → AD 13	WD 5 → AD 14
形状・寸法	片引きハンガードア 既存木製ハンガー戸撤去処分後アルミ仕様で更新 	片引きハンガードア 既存木製ハンガー戸撤去処分後アルミ仕様で更新 	片引きハンガードア 既存木製ハンガー戸撤去処分後アルミ仕様で更新 	片引きハンガードア 既存木製ハンガー戸撤去処分後アルミ仕様で更新 	片引きハンガードア 既存木製ハンガー戸撤去処分後アルミ仕様で更新
見込 (数量)	36 (1)	36 (1)	36 (1)	36 (1)	36 (1)
材 種	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立	アルミ (SLCシルバー) フロント材組立
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
硝子・備考	腰・上部: アルミパネル5t	腰・上部: アルミパネル5t	腰・上部: アルミパネル5t	腰・上部: アルミパネル5t	腰・上部: アルミパネル5t

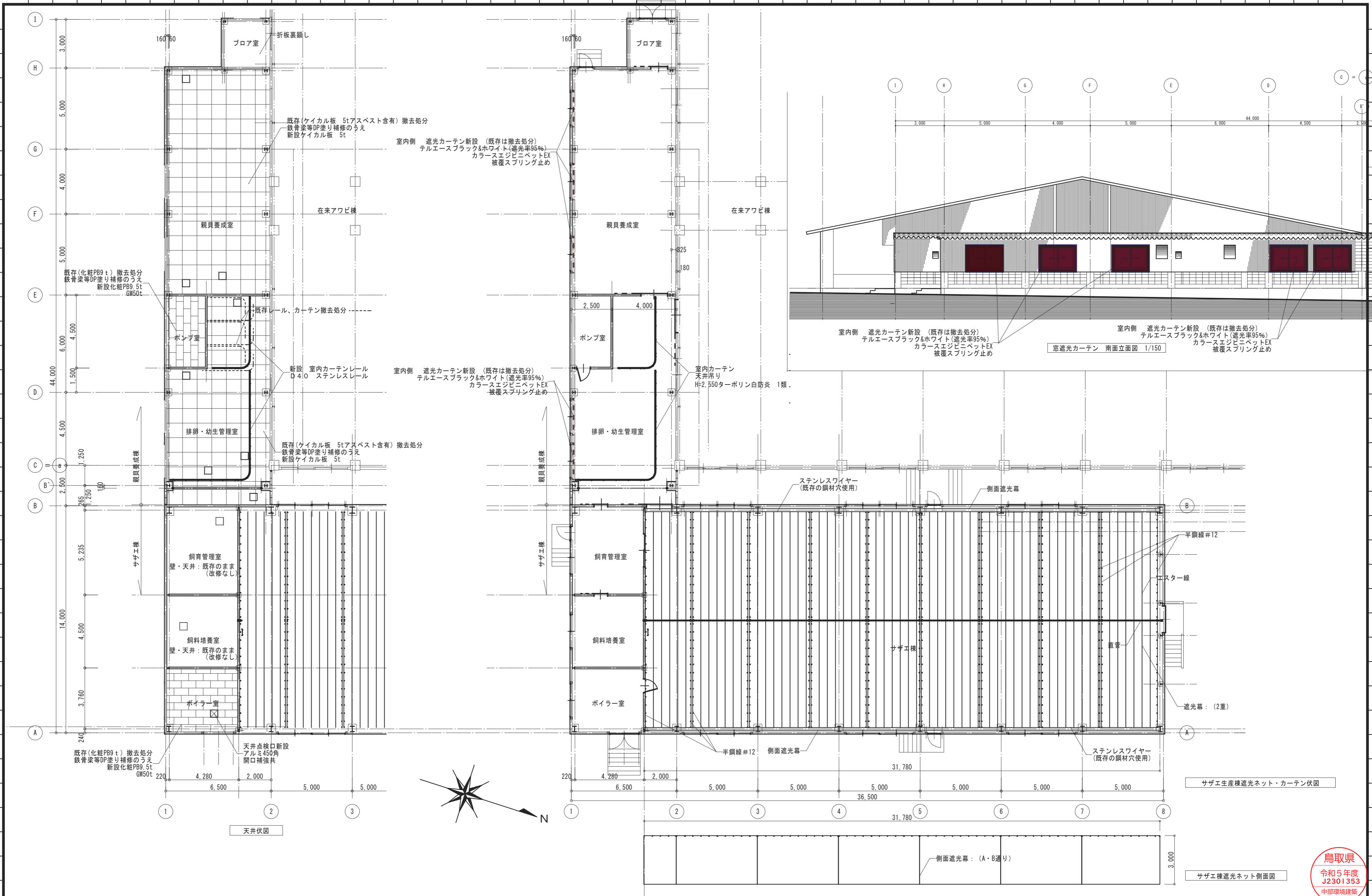
符 号	AW 1	AW 2	AW 3
形状・寸法	引違い窓 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新 	2連引違い窓 既存アルミ建具撤去処分後同仕様カバー工法で更新 	4連外倒し窓→2連引違い窓 既存アルミ建具撤去処分後カバー工法で更新 オペレーター撤去処分 FL+5,300
見込 (数量)	70 (7)	70 (6)	70 (6)
材 種	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー)	アルミ (SLCシルバー)
金 物	付属金物一式 クレセント 窓下木切り	付属金物一式 クレセント 窓下木切り	付属金物一式 クレセント
硝子・備考	FL-3	FL-3	FL-3


符 号	AG 1	AG 2	AG 3	SS 1
形状・寸法	アルミガラリ 既存撤去処分、及びウエザカバー更新は 別途機械設備工事 	アルミガラリ 既存撤去処分、及びウエザカバー更新は 別途機械設備工事 	アルミガラリ 既存撤去処分、及びウエザカバー更新は 別途機械設備工事 	防火区画シャッター: 作動確認 防火区画シャッター W=5,425 H=2,150 作動確認を行う
見込 (数量)	40 (2)	40 (1)	40 (1)	
材 種	アルミ (SI色)	アルミ (SI色)	アルミ (SI色)	
金 物	付属金物一式 ステンレス防虫網	付属金物一式 ステンレス防虫網	付属金物一式 ステンレス防虫網	
硝子・備考				

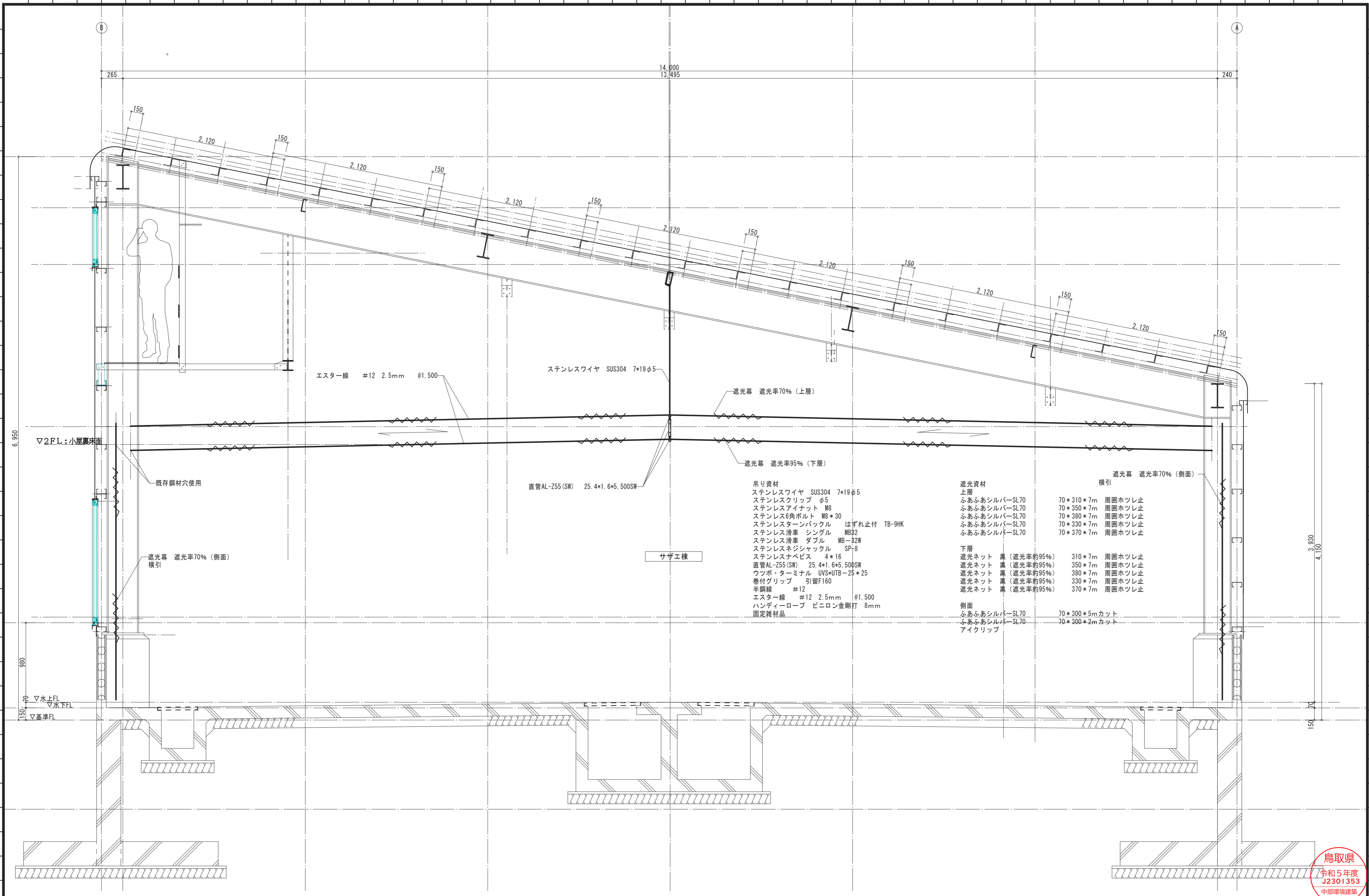
- 特 記 事 項
- 木製建具のフラッシュには、空気穴を取り付けること
 - 建具金物は、特記なき限りステンレス製とする
 - 木製建具のフラッシュには、4方枠を取り付けること
 - 建具寸法は、現場施工図によりチェックすること
 - Fixガラス止は、ポリサルファイド系シーリングを使用する
 - サッシカラーは、見本品により決定する
 - シリンダー錠は、マスターキーを作成すること



井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
	校図 担当	図面名称 建具表	S=1/100 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-20



 井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
	検図 担当	図面名称 遮光ネット(平面)	S=1/150 A3縮小図面縮尺: S/1.41	図面番号 A-21



エスター線 #12 2.5mm @1,500

ステンレスワイヤ SUS304 7*19φ5

遮光幕 遮光率70% (上層)

遮光幕 遮光率95% (下層)

遮光幕 遮光率70% (側面)

直管AL-Z55 (SW) 25.4*1.6*5.500SW

サザエ棟

- 吊り資材
- ステンレスワイヤ SUS304 7*19φ5
 - ステンレスクリップ φ5
 - ステンレスアイナット M8
 - ステンレス六角ボルト M8 * 30
 - ステンレスターンバックル はずれ止付 TB-9HK
 - ステンレス滑車 シングル MB32
 - ステンレス滑車 ダブル MB-32W
 - ステンレスネジシャックル SP-8
 - ステンレスナベビス 4*16
 - 直管AL-Z55 (SW) 25.4*1.6*5.500SW
 - ワッポ・ターミナル UVS*UTB-25 * 25
 - 巻付グリップ 引留F160
 - 半鋼線 #12
 - エスター線 #12 2.5mm @1,500
 - ハンディロープ ピニロン金剛打 8mm
 - 固定雑材品

遮光資材

- 上層
- ふあふあシルバー-SL70 70 * 310 * 7m 周囲ホツレ止
 - ふあふあシルバー-SL70 70 * 350 * 7m 周囲ホツレ止
 - ふあふあシルバー-SL70 70 * 380 * 7m 周囲ホツレ止
 - ふあふあシルバー-SL70 70 * 330 * 7m 周囲ホツレ止
 - ふあふあシルバー-SL70 70 * 370 * 7m 周囲ホツレ止
- 下層
- 遮光ネット 黒 (遮光率約95%) 310 * 7m 周囲ホツレ止
 - 遮光ネット 黒 (遮光率約95%) 350 * 7m 周囲ホツレ止
 - 遮光ネット 黒 (遮光率約95%) 380 * 7m 周囲ホツレ止
 - 遮光ネット 黒 (遮光率約95%) 330 * 7m 周囲ホツレ止
 - 遮光ネット 黒 (遮光率約95%) 370 * 7m 周囲ホツレ止

側面

- ふあふあシルバー-SL70 70 * 300 * 5mカット
- ふあふあシルバー-SL70 70 * 300 * 2mカット
- アイクリップ



井手添建築設計事務所
 有限会社 井手添建築設計事務所
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 井手添 誠
 一級建築士登録第196328号
 検図 担当

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
 図面名称 遮光ネット(矩計図)
 S=1/30 1/15
 A3縮小図面縮尺: S/1.41

設計番号
 図面番号 A-22

製図 平林 輝彦
 一級建築士 第168726号

No-1 IMG4864 ビット内
壁、底クラック無し



No-2 IMG4867 ビット内
壁、底クラック無し



No-3 IMG4868 ビット内
壁、底クラック無し



No-8 IMG4876 ビット内
壁、底クラック無し



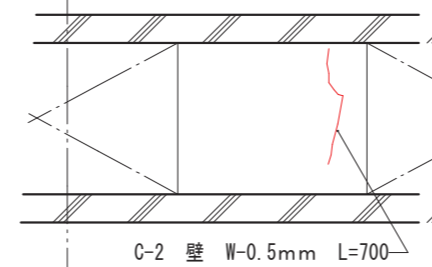
No-4 IMG4870 ビット内
壁、底クラック無し



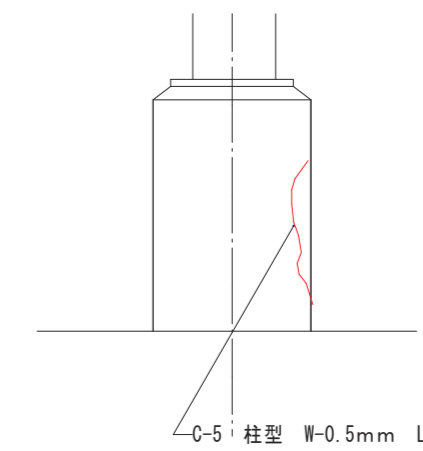
No-9 IMG4879 ビット内
壁、底クラック無し



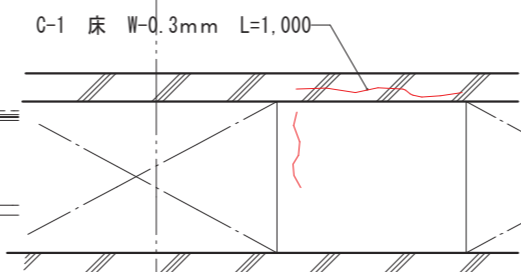
No-5 IMG4871 並行ビット内
床支持壁にクラック



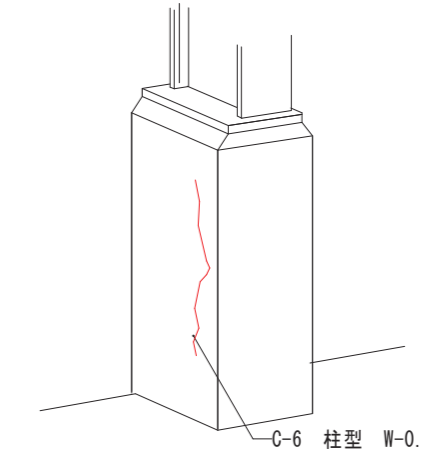
No-10 IMG4862 RC柱型クラック
A*7柱



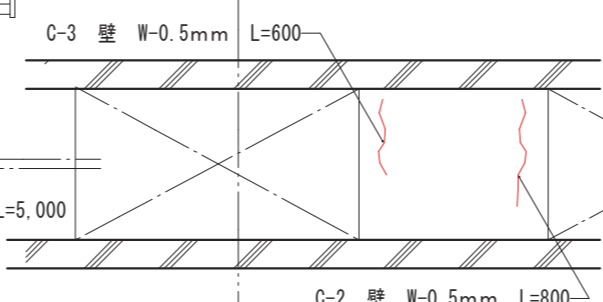
No-6 IMG4872 並行ビット
床断面にクラック



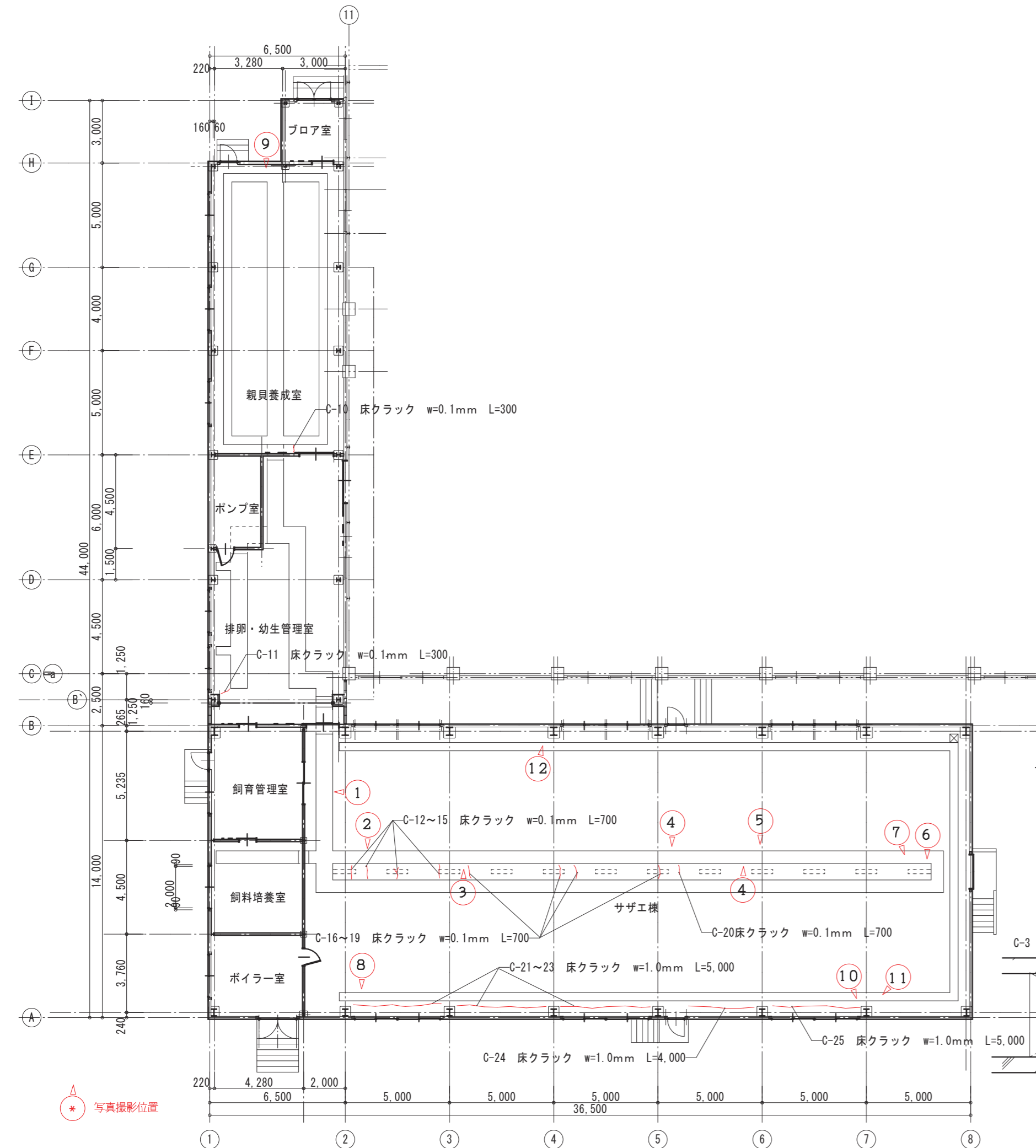
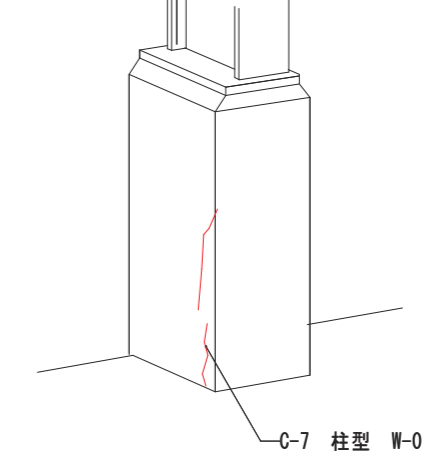
No-11 IMG4863 RC柱型クラック
A*7柱



No-7 IMG4873 並行ビット
床支持壁両端にクラック



No-12 IMG4877 RC柱型クラック
B*4柱



床クラック：モルタル補修 設計想定W=0.2~1.0mm 30m
ビットクラック：自動式低圧樹脂注入工法 設計想定W=0.1~0.5mm 10m 別途機械設備工事で配管及び支持金物撤去後クラック調査を行うこと
柱型クラック：自動式低圧樹脂注入工法 設計想定W=0.1~0.5mm 5m

井手添建築設計事務所
 管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠
 図面 担当
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
図面名称 クラック図	図面番号 A-23	平林 輝彦
S=1/200 A3縮小図面縮尺：S/1.41		

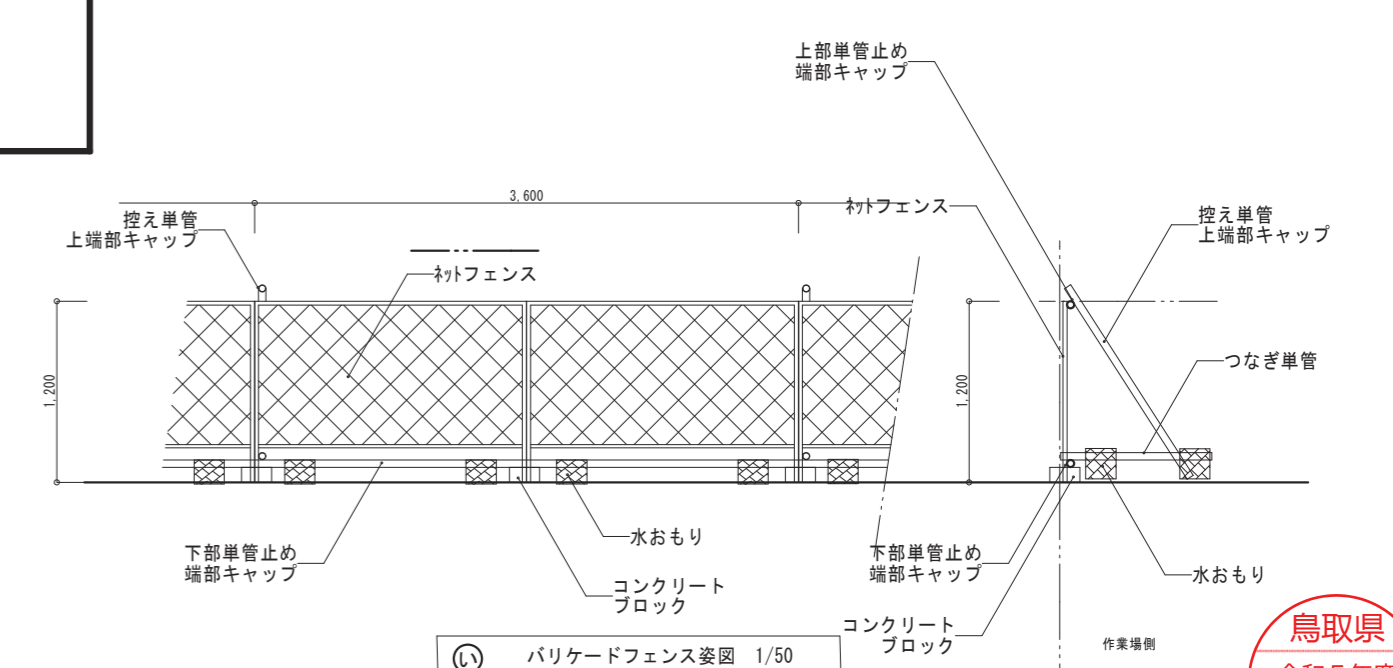
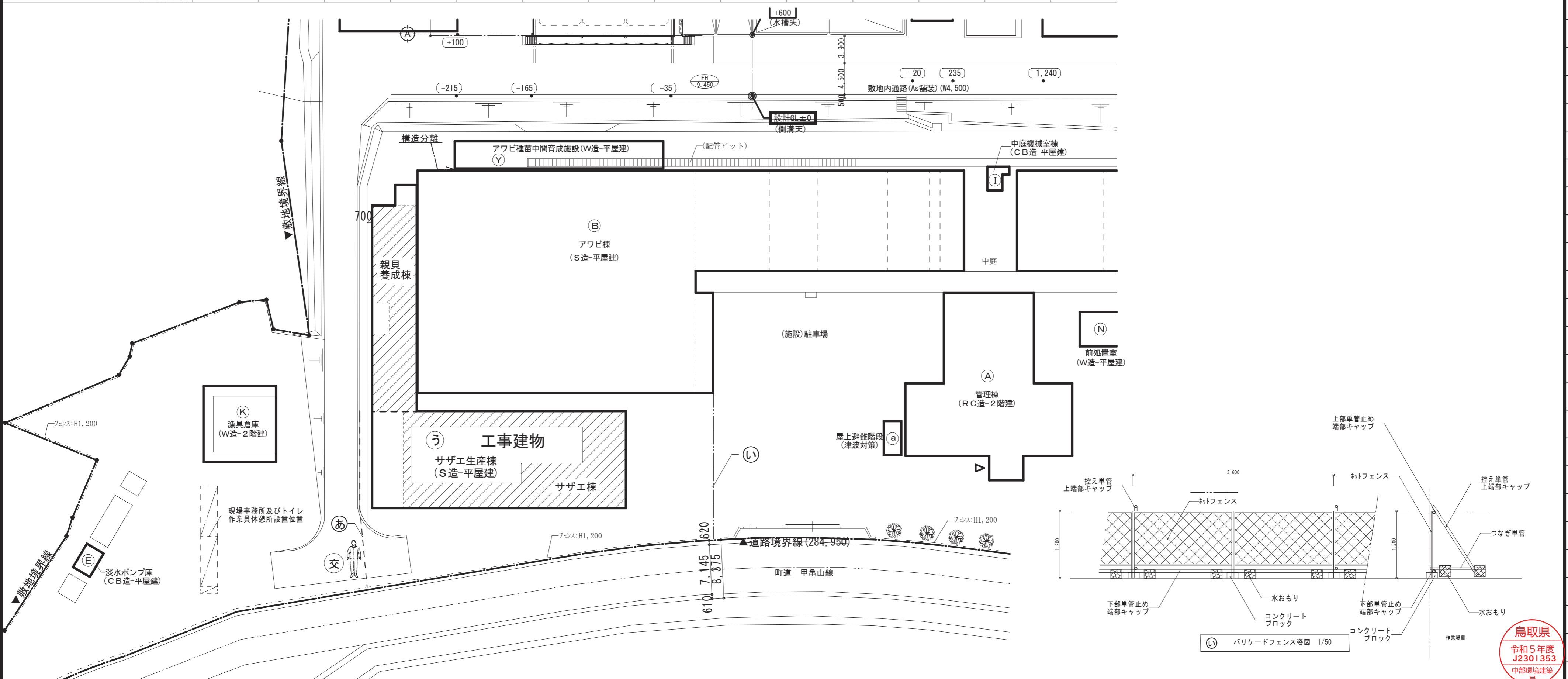
令和5年度
J2301353
中部環境建築
局 監取

想定概略工程表

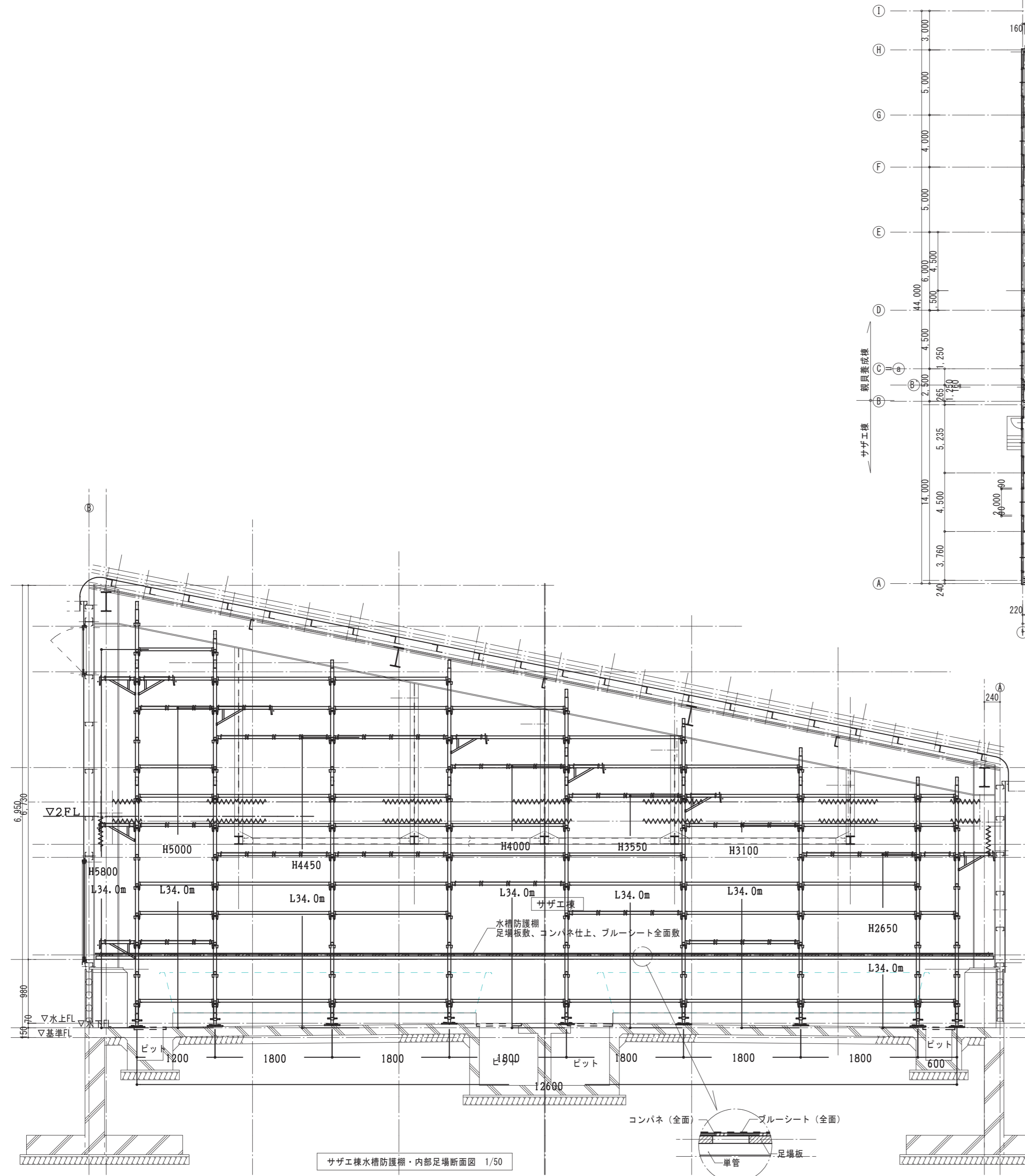
	6月								6月					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
サザエ棟稼働期間														
ボイラー室稼働期間														
親貝養成棟稼働期間														
フロア庫稼働期間														
仮設工事	指定仮設 直接仮設	工事 契約												・工事 完了、検査
屋根工事	サザエ棟 親貝養成棟		撤去			復旧	撤去	復旧						
外壁工事	サザエ棟 親貝養成棟		撤去				撤去	復旧	復旧					
鉄骨・塗装工事	サザエ棟 親貝養成棟		撤去	キャットウォーク・塗装			撤去	塗装						
建具工事	サザエ棟 親貝養成棟		撤去			撤去		復旧	復旧					
内装・雑工事	サザエ棟 親貝養成棟		内装・遮光ネット撤去		内装・遮光カーテン撤去			内装・遮光カーテン復旧		ピットクラック補修	クラック補修・遮光ネット復旧			
電気設備工事：別途工事	サザエ棟 親貝養成棟													
機械設備工事：別途工事	サザエ棟 親貝養成棟													

指定仮設

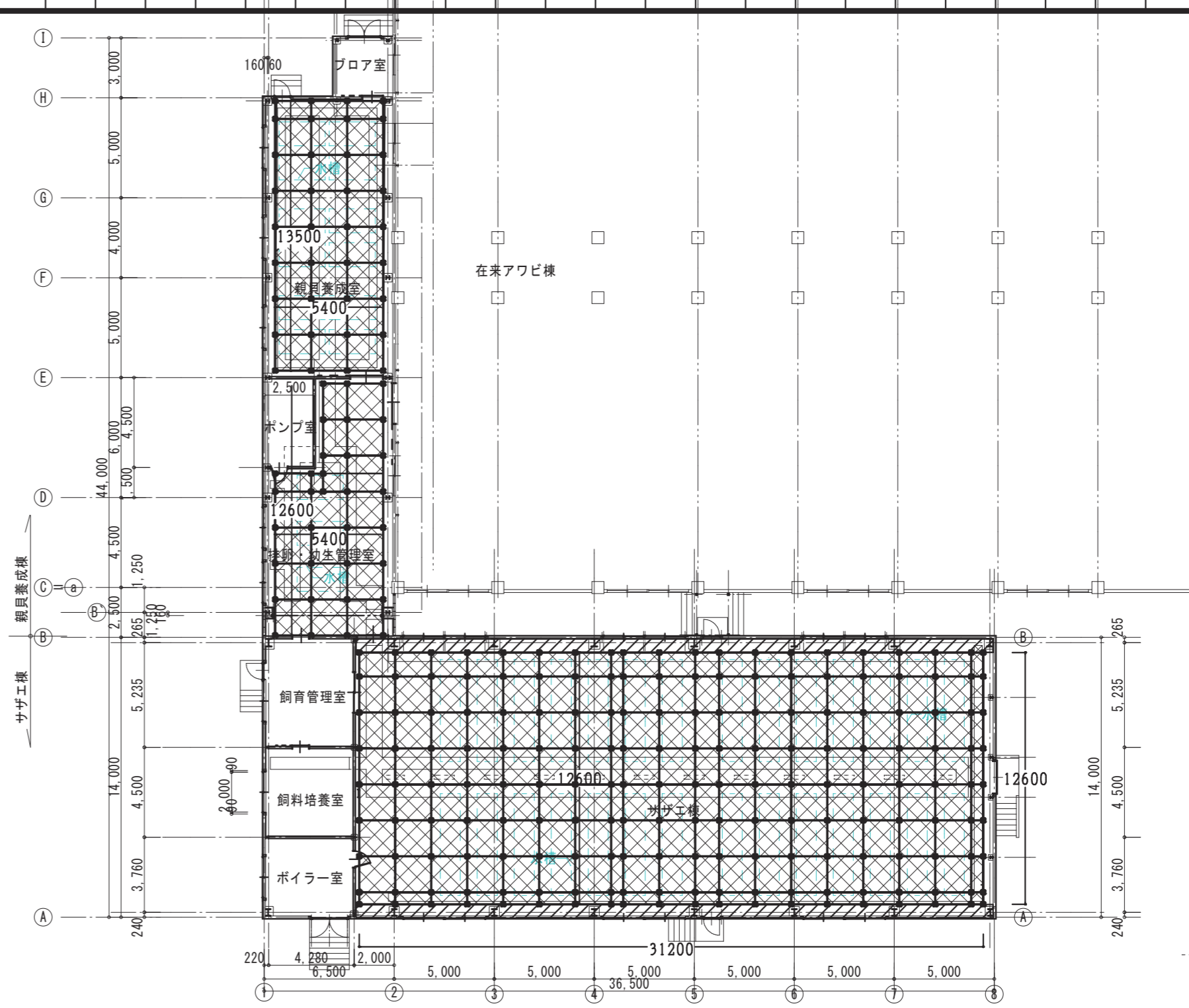
番号	凡例	項目		備考
㉞	---	仮囲い：コーンバリケード カラーコーン@2,000 ウエイト付き コーンバー	11ヶ月	26m
㉟	---	仮囲い：バリケードフェンス	11ヶ月	21m
㊦	▨	水槽防護柵 仕様はA-25図参照	親貝養成棟 サザエ棟	5ヶ月 5ヶ月 130m ² 393m ²
㊧	人	交通誘導員B		延べ80人



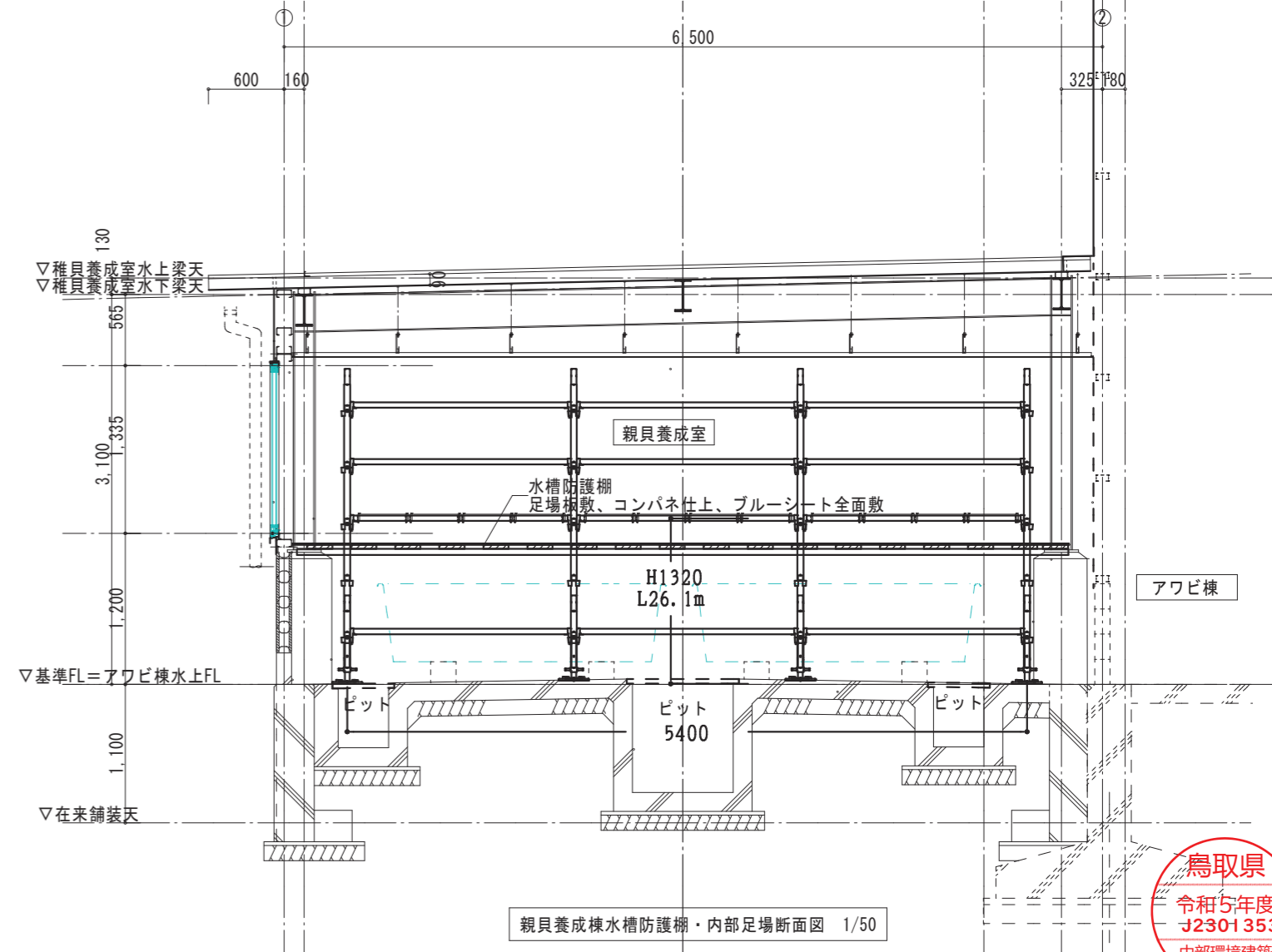
<p>井手添建築設計事務所 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850</p>	管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠 校図 担当	工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築) 図面名称 仮設計画図-1 S=1/400 A3縮小図面縮尺：S/1.41	設計番号 - 図面番号 A-24	製図 一級建築士 第168726号 平林 輝彦



サザエ棟水槽防護棚・内部足場断面図 1/50



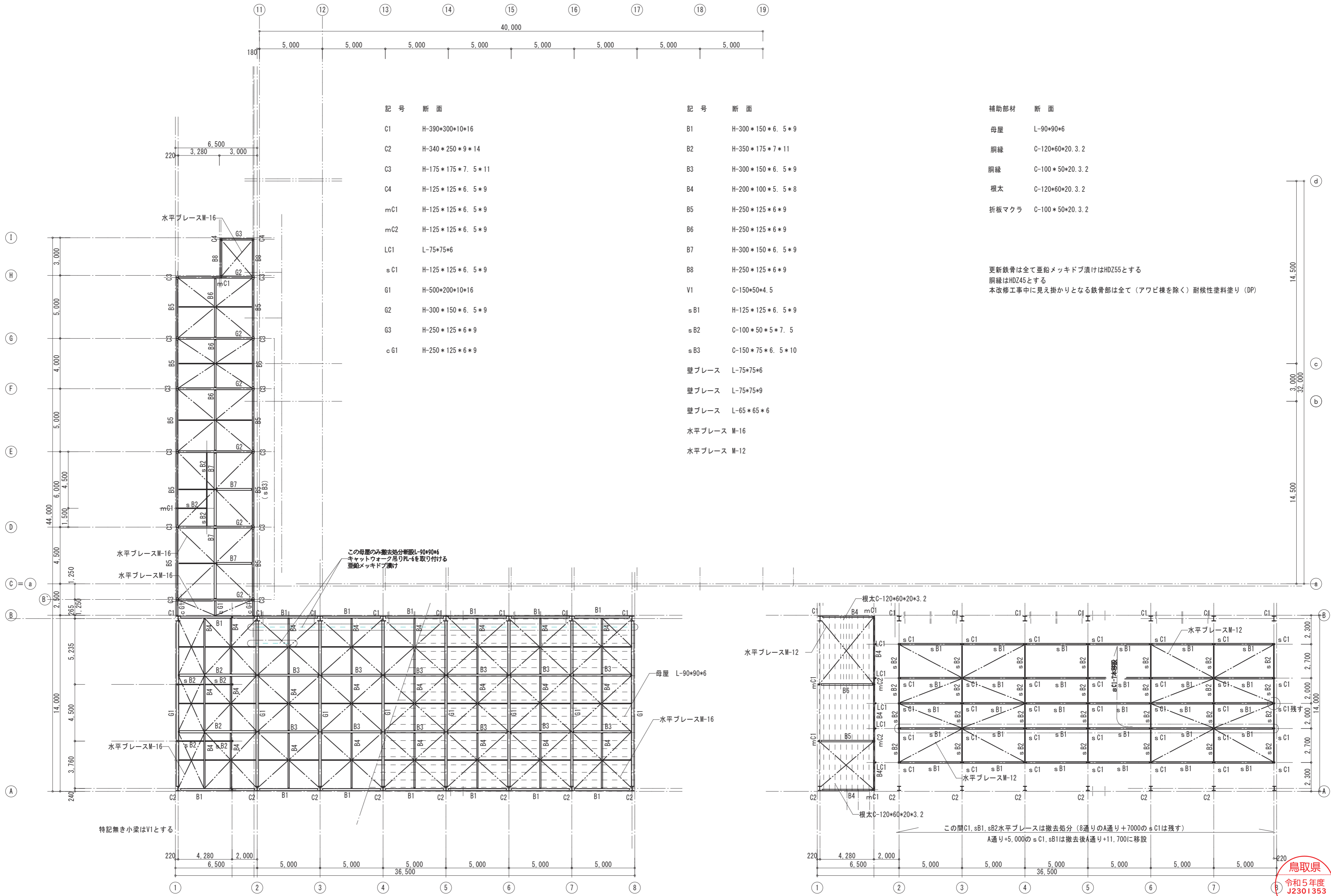
水槽防護棚伏せ図 1/250



親貝養成棟水槽防護棚・内部足場断面図 1/50

井手添建築設計事務所
 管理建築士 一級建築士登録第196328号 井手添 誠
 検図 担当
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)	設計番号 -	製図 一級建築士 第168726号
図面名称 仮設計画図-2(水槽防護棚図)	図面番号 A-25	製図 平林 輝彦
縮尺 S=1/50 1/250 A3縮小図面縮尺: S/1.41		



記号	断面	記号	断面
C1	H-390*300*10*16	B1	H-300*150*6.5*9
C2	H-340*250*9*14	B2	H-350*175*7*11
C3	H-175*175*7.5*11	B3	H-300*150*6.5*9
C4	H-125*125*6.5*9	B4	H-200*100*5.5*8
mC1	H-125*125*6.5*9	B5	H-250*125*6*9
mC2	H-125*125*6.5*9	B6	H-250*125*6*9
LC1	L-75*75*6	B7	H-300*150*6.5*9
sC1	H-125*125*6.5*9	B8	H-250*125*6*9
G1	H-500*200*10*16	V1	C-150*50*4.5
G2	H-300*150*6.5*9	sB1	H-125*125*6.5*9
G3	H-250*125*6*9	sB2	C-100*50*5*7.5
cG1	H-250*125*6*9	sB3	C-150*75*6.5*10
		壁ブレース	L-75*75*6
		壁ブレース	L-75*75*9
		壁ブレース	L-65*65*6
		水平ブレース	M-16
		水平ブレース	M-12

更新鉄骨は全て亜鉛メッキドブ漬けはHDZ55とする
 胴縁はHDZ45とする
 本改修工事に見え掛かりとなる鉄骨部は全て（アワビ棟を除く）耐候性塗料塗り（DP）

この母屋のみ撤去処分用L-90*90*6
 キャットウォーク吊りPL-6を取り付ける
 亜鉛メッキドブ漬け

特記無き小梁はV1とする

この間C1, sB1, sB2水平ブレースは撤去処分（8通りのA通り+7000のsC1は残す）
 A通り+5,000のsC1, sB1は撤去後A通り+11,700に移設

鉄骨仕上げ材撤去後に全ての鉄骨部分のDP塗り（3級）A種、錆止めB種、下地調整B種を行う

井手添建築設計事務所
 管理建築士 井手添 誠
 一級建築士登録第196328号
 TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士 井手添 誠
 一級建築士登録第196328号
 検図 担当

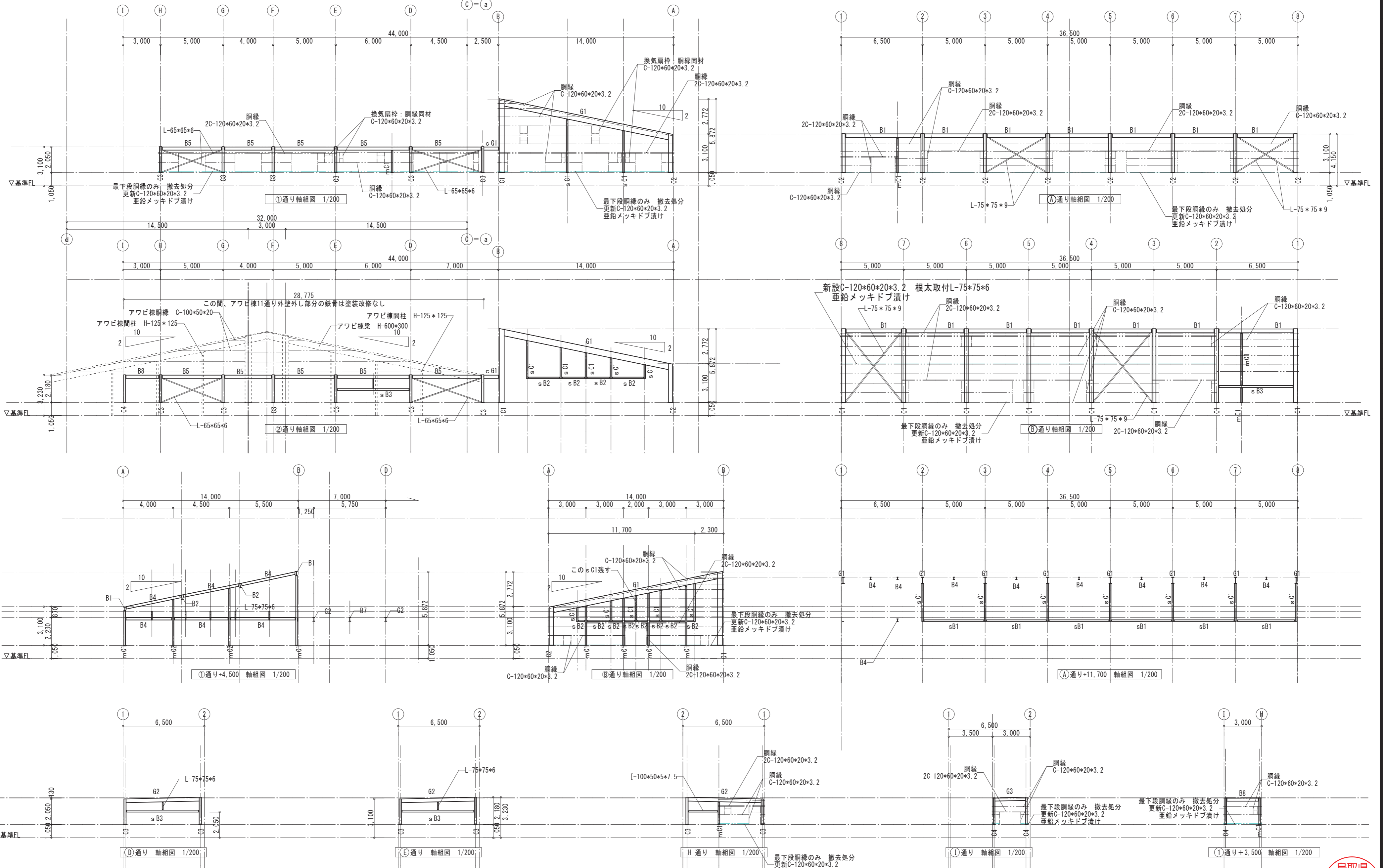
工事名称 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事（建築）
 図面名称 梁伏せ図
 S=1/200
 A3縮小図面縮尺：S/1.41

設計番号 -
 図面番号 S-01

製図 平林 輝彦
 一級建築士 第168726号



梁伏せ図 1/200



更新鉄骨は全て垂鉛メッキドブ漬けはHDZ55とする
 鋼縁はHDZ45とする
 本改修工事に見え掛かりとなる鉄骨部は全て（アワビ棟を除く）耐候性塗料塗り（DP）



有限会社 井手添建築設計事務所

TEL 0858-26-5321 FAX 0858-26-6850

管理建築士
 一級建築士登録第196328号 井手添 誠
 校図 担当

工事名称
 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(建築)
 図面名称
 軸組図 (縮尺)

S=1/200
 A3縮小図面縮尺: S/1.41

設計番号
 -
 図面番号
 S-02

製図
 一級建築士 第168726号
 平林 輝彦



栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事

No.	図面名称	縮尺	No.	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	A-08	プレハブ倉庫棟 仕上表・建具表・【現況】平面図	1:50 1:100
A-02	建築改修工事特記仕様書(3)	-	A-09	プレハブ倉庫棟 【現況】立面図	1:50
A-03	建築改修工事特記仕様書(4)	-	A-10	プレハブ倉庫棟 【改修後】立面図	1:50
A-04	建築改修工事特記仕様書(6)	-	A-11	プレハブ倉庫棟 【現況】展開図	1:50
A-05	配置図 付近見取図	1:600	A-12	プレハブ倉庫棟 【改修後】展開図	1:50
A-06	ヒラメ棟 【改修前・後】平面図	1:100	A-13	プレハブ倉庫棟 【現況・改修後】柱脚部 平面・断面詳細図	1:10
A-07	ヒラメ棟 【改修前・後】建具表 改修平面図・展開図	1:50	A-14	プレハブ倉庫棟 【現況・改修後】木製棚平面図・姿図・断面図	1:50

(有)NICEUX設計工房

建築改修工事仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 鳥取県東伯郡湯浜浜町石庭
2. 敷地面積 25,445.07 m²
3. 地域地区 都市計画地域(内・外) 市街化調整区域(内・外)
用途地域(指定なし) 防火地域(指定なし)
4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(m²), 延べ面積(m²). Rows include 1. ヒラメ棟 and 2. プレハブ倉庫棟.

II. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁業務部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
(2) 請負者は、建築基準法に基づく完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政(建築基準法等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。

2. 特記仕様

- (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載 [] の内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) [①]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。
(5) 関係法令(条例を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応について、監督職員と協議を行うものとする。
(6) 材料及び製造等の特記は順不同である。

Main specification table with columns: 章, 項目, 特記事項. Includes sections for ① 一般共通事項, ② 官公庁その他への手続, ③ 電気保安技術者, ④ 工事安全計画書, ⑤ 発生材の処理等, ⑥ 環境への配慮.

① 材料の品質等

- 3) ホルムアルデヒド放散量の区分において、第三種とは次の①又は②に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
4) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。

Table with columns: 床底用鋼製デッキプレート, 鉄骨柱下無収縮モルタル, 無収縮グラウト材, etc.

8 石綿含有建材の調査

- 調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う旨と資料()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソサイト、クリソチル、クロシロイド、トシモライト
分析方法

9 施工数量調査

- 調査範囲 ※外壁(庇、笠木共) ・屋根 ・図示
調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 ・図示
外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う
屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。
また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じて写真等を添付する。)

10 調査のための破壊部分の補修

- 補修方法 ※ 図示

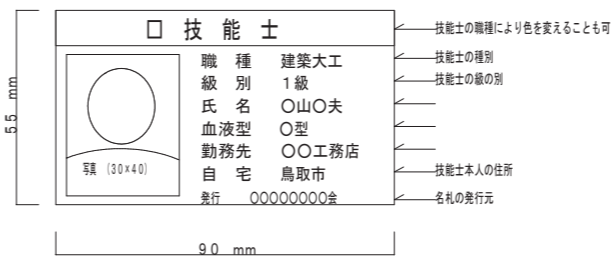
① 技能士

- 下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う(技能士：職業能力開発促進法による一般技能士又は第一等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下図参照)を常時着用する

Table with columns: 工事種目, 技能検定職種, 技能検定作業. Includes sections for 仮設工事, 外壁改修工事, 建築改修工事, 内装改修工事, 撤去部分, 適用区分.

Table with columns: 建築改修工事, 耐震改修工事, 環境配慮改修工事. Lists tasks like 塗装, 鉄筋施工, 配管, etc.

《技能士名札参考図》



12 化学物質の濃度測定

- 1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
2) バックアップ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
①30分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。
②5時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
③測定
イ ②の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
④分析
測定対象化学物質を採取したバックアップ型採取機器を分析機に送付し、濃度を分析する。
⑤その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

① 完成写真

Table with columns: 区分, 分類・規格, 撮影箇所, 部数, 備考. Lists photo requirements for construction details.

① 完成時の提出図書

- 下記のものを監督職員に提出する
※ 図面A1版又はA2版(設計図の第2図面訂正不可) 1部
※ CADデータ 1式
※ 図面の大型コピー(白版)の2つ折製本 2部
※ 縮小版2つ折製本(A4版) 2部
・ 写真 縮小版A3白版 2部
完成図の種類及び内容(改修前後の状態が分かるように整備する)
○ 案内図・配置図 ・ 配置図には外構整備、屋外給排水系統図を含む
○ 改修概要図 ・ 改修概要、部位等を表示する
○ 平面図 ・ 署名、新設壁(防火型)、避難施設等を表示する
○ 立面図 ・ 外壁仕上、補修範囲等を表示する
○ 断面図 ・ 階高、天井高等を表示する
○ 仕上表 ・ 屋外、屋内(各階)の仕上表を表示する
○ 構造図 ・ 杭、構造躯体等を表示する
○ その他 ()
・ 原因ケース・製本図面の背後紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける

15 設備工事との取り扱い

- 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

Table with columns: 設備工事との取り扱い, 種別, 建築, 電気, 機械. Lists equipment and material specifications.

16 撤去部分

- コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。ダイヤモンドカッター切り深さ(※30mm程度)

17 適用区分

- 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
基準風速 V=0 m/s
地表粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表()

① 安全に関する資料

- 1. 9. 3) 下記のものをA4版ファイルに装本して監督職員に提出する。
○ 主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
○ 機器性能試験成績書及び取扱説明書
○ 保証書
○ 官公署届出書類(保守に必要とするもの)
○ 建築物の保守に関する説明書、指導案内書

① 火災保険等

- 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。(保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+21日)とする。)

② 環境配慮

- 鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ○ 非対象工事

② 建設リサイクル法

- ※ 対象工事 ○ 非対象工事

② 鳥取県福祉のまちづくり条例

- ※ 対象工事 ○ 非対象工事

② 景観形成条例

- ※ 対象工事 ○ 非対象工事

② 建築物省エネ法

- ※ 対象工事 ○ 非対象工事

② 仮設工事

- 1 騒音・粉じん等の対策 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲

② 足場その他

- 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づき足場の設置に当たっては、間ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。
外部足場 ○設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ 設置しない
防護シート ・ 設置する(範囲 ※工事に必要な範囲) ・ 設置しない
内部足場 ○設置する(※開立・足場板等) ・ 設置しない
材料、搬出材等の運搬方法 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
C種：利用可能なエベーター()
D種：利用可能な階段()

② 既存部分の養生

- 養生方法等
○既存部分の養生方法 ※ビニルシート、合板等による
・ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ビニルシート等
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ビニルシート等(取外し再取付けを行う)
・ 養生場所 ※構内既存施設内
○固定された家具等(鏡品、机、ロッカー等)の移動 ※行う(図示)
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

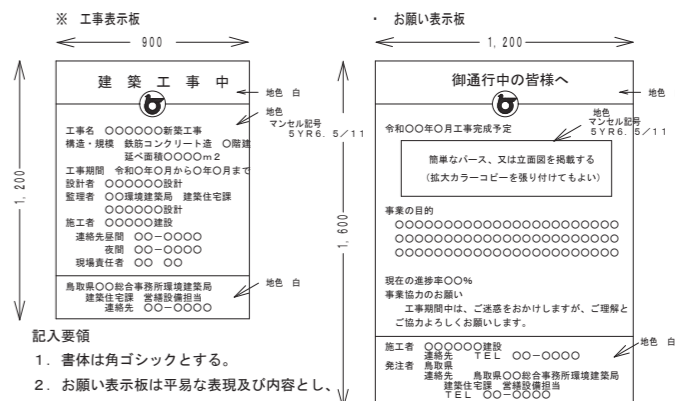
4 仮設間仕切り

- 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示
仮設間仕切りの種別と材質等
・ A種 ※ 白種 ・ C種 ・ 図示
A、B種の仕上材材 ※石膏ボード(90・厚さ9.5mm) ・ 合板(普通合板 厚さ9mm)
A、B種の片面への塗装等 ・ 行う ※行わない
A種のグラスウール等の充填材
※ 行う (JIS A 6301グラスウール吸音材2号32K 厚50mm)
・ 行わない
仮設扉の種別 ※木製(合板張り程度)

5 監督職員事務所

- ※ 設ける m程度 ・ 設けない
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。
・ 既存建物内の一部を使用する(場所)
・ 構内に新設する 規模(m)

⑥ 表示板



⑦ 工事用水

- 構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

⑧ 工事用電力

- 構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)

⑧ 工事用仮設物

- 構内既存の施設 ○ 利用できない ・ 利用できる

10 工事現場のイメージアップ

- 記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願表示板は平素な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

3 防水改修工事

- 1 降雨時に対する養生方法 [3. 1. 3) ※改修標準仕様書3.1.3(7)~(9)による。
2 既存防水層の処理 既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲 ・ 図示) ・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ・ 図示) ・ 行わない
露出防水層表面の仕上材塗布の撤去 ・ 行う(・ M4AS ・ M4S1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ・ 行わない
改修用ドレン
・ 設ける(・ POAS ・ POAS1 ・ POD ・ POD1 ・ POS ・ POS1 ・ POX)
・ 設けない

改修特記仕様(2)・(5)・(7)・(8)・(9)は、省略

(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第02-561号
管理建築士
1級建築士 大倉登録第168674号
1級建築士 大倉登録第168674号
讃岐英夫

設計者
1級建築士 大倉登録第168674号
構造設計1級建築士 第2822号
讃岐英夫

NOTE:
SCALE DATE DRAW CHECK CHIEF
240300
TITLE
栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事
DR. NAME
改修工事特記仕様(1)
DR. NO.
A-01

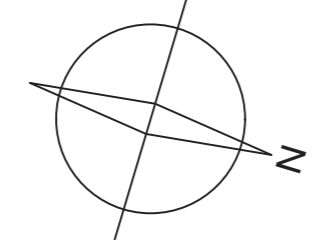
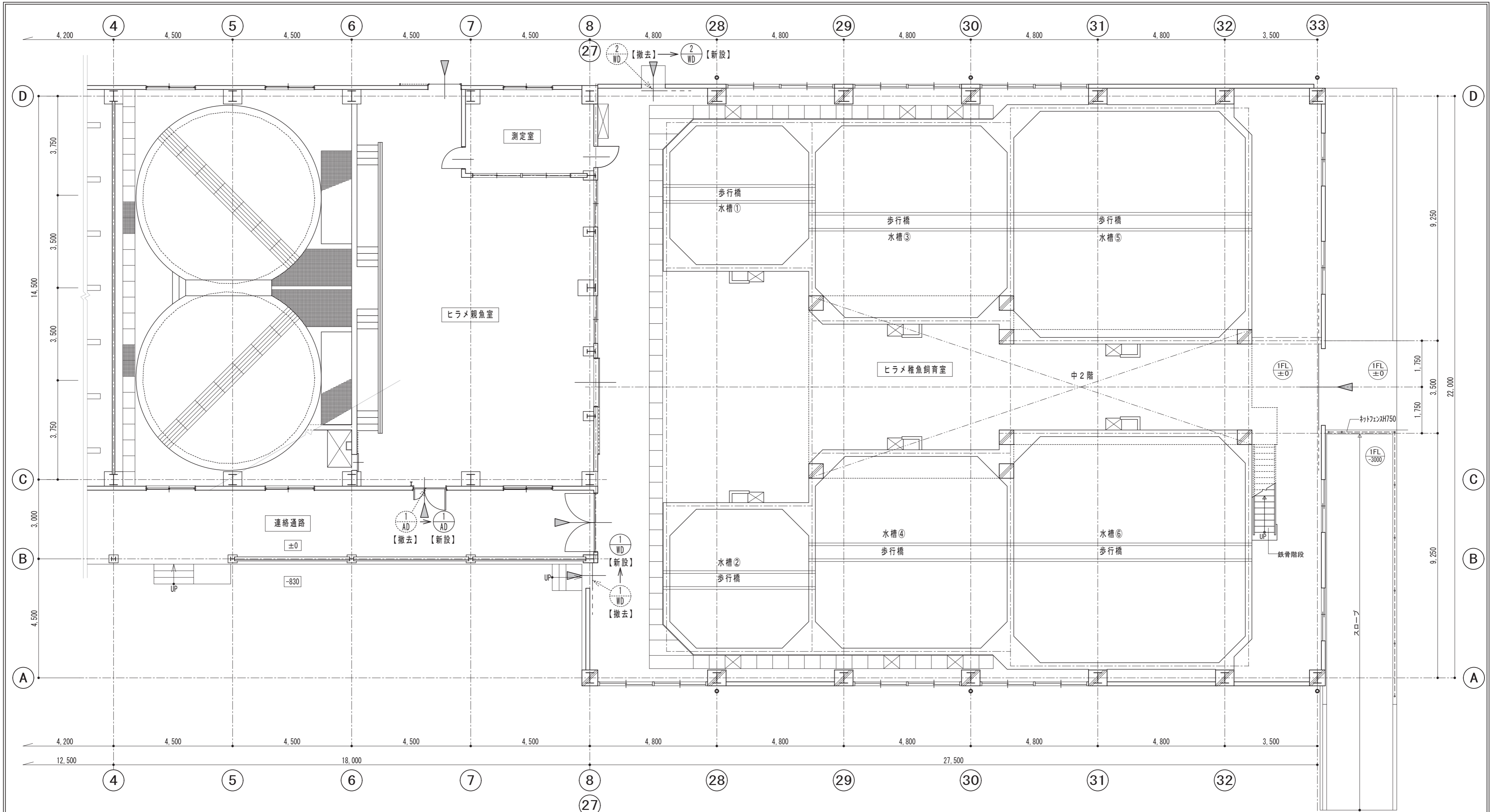


4-1 外壁改修工事(共通事項)	4 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4]	品質性能等 接着強さ: 1.0N/mm ² 以上 圧縮強さ: 20.0N/mm ² 以上 1) 曲げ強さ: 3日後の値 10N/mm ² 以上 2) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良いこと。 3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 5) 常温・常温(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も、上記品質性能等の規定に適合していること。 試験方法 ハ) 試験室の状態: 温度23±2℃、湿度50±5%を標準状態とする。 ロ) 試験体個数: 3個 ハ) 試験の調整: 標準状態で試験室に保管した主剤及び硬化剤を製造所定める割合で採取し、十分に攪拌する。 ニ) 外観: ハ) の試験体を清潔なガラス板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察。 ホ) 圧縮強さ: JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4により試験体を作成し、10.1(4)に規定する試験機で10.5により測定し、10.6により求める。 ヘ) 曲げ強さ: JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.4に準じて試験体を作成する。 10.1(5)に規定する試験機により、支点数間100mmとし、供試体を成形したときの側面の中央に毎秒50Nの割合で載荷し最大荷重 P (N) を求め、P × 0.00234 = σ b の式で求める。 ト) 比重: 曲げ試験体の寸法と重量を測定して求める。 チ) 接着強さ: JIS A 5371「F14H4無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を洗浄し、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて接合し張り強さを加える。最大荷重(P)、断面面積(A)で除して求める。 チ) だれ強さ: JIS A 5371の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を洗浄して、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にエポキシ樹脂モルタルを塗り付け、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直角に立てて、そのままの状態で静置する。24時間後のエポキシ樹脂モルタルの形状変化を観測し、その形状の異常の有無とだれ強さを測定する。	4-1 2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)	1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.4~7]	※樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/㎡) 0.2以上の3未満 ※40 0.3以上の5未満 200~300 ※40 0.5以上の10未満 ※70 ※A 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ※B 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上の3未満 50~100 ※40 ※C 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上の5未満 100~200 ※70 ※D 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上の10未満 150~250 ※130 注入状況の確認方法 ※注入量により確認 ・ コアの換取を行う コア換取の回数 ※長さ300mmごと及びその端につき1個 コア換取の順序の確認方法 ※ポリマーセメントモルタル充填 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ※可とう工エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※パツクエポキシ樹脂 ・ 可とう工エポキシ樹脂	4-1 4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	4 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.5.9~15]	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンニング全面(一部部) ※部材 本/㎡ ・ 幅部材 本/㎡ () アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸鋼で全ネジ切加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mmの丸鋼で全ネジ切加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mmの丸鋼で全ネジ切加工をしたもの 注: 1) 100mm以上 3未満 0mm 2) 100mm以上 5未満 0mm 3) 100mm以上 10未満 0mm 4) 100mm以上 15未満 0mm 5) 100mm以上 20未満 0mm 6) 100mm以上 25未満 0mm 7) 100mm以上 30未満 0mm 8) 100mm以上 35未満 0mm 9) 100mm以上 40未満 0mm 10) 100mm以上 45未満 0mm 11) 100mm以上 50未満 0mm 12) 100mm以上 55未満 0mm 13) 100mm以上 60未満 0mm 14) 100mm以上 65未満 0mm 15) 100mm以上 70未満 0mm 16) 100mm以上 75未満 0mm 17) 100mm以上 80未満 0mm 18) 100mm以上 85未満 0mm 19) 100mm以上 90未満 0mm 20) 100mm以上 95未満 0mm 21) 100mm以上 100未満 0mm 22) 100mm以上 105未満 0mm 23) 100mm以上 110未満 0mm 24) 100mm以上 115未満 0mm 25) 100mm以上 120未満 0mm 26) 100mm以上 125未満 0mm 27) 100mm以上 130未満 0mm 28) 100mm以上 135未満 0mm 29) 100mm以上 140未満 0mm 30) 100mm以上 145未満 0mm 31) 100mm以上 150未満 0mm 32) 100mm以上 155未満 0mm 33) 100mm以上 160未満 0mm 34) 100mm以上 165未満 0mm 35) 100mm以上 170未満 0mm 36) 100mm以上 175未満 0mm 37) 100mm以上 180未満 0mm 38) 100mm以上 185未満 0mm 39) 100mm以上 190未満 0mm 40) 100mm以上 195未満 0mm 41) 100mm以上 200未満 0mm 42) 100mm以上 205未満 0mm 43) 100mm以上 210未満 0mm 44) 100mm以上 215未満 0mm 45) 100mm以上 220未満 0mm 46) 100mm以上 225未満 0mm 47) 100mm以上 230未満 0mm 48) 100mm以上 235未満 0mm 49) 100mm以上 240未満 0mm 50) 100mm以上 245未満 0mm 51) 100mm以上 250未満 0mm 52) 100mm以上 255未満 0mm 53) 100mm以上 260未満 0mm 54) 100mm以上 265未満 0mm 55) 100mm以上 270未満 0mm 56) 100mm以上 275未満 0mm 57) 100mm以上 280未満 0mm 58) 100mm以上 285未満 0mm 59) 100mm以上 290未満 0mm 60) 100mm以上 295未満 0mm 61) 100mm以上 300未満 0mm 62) 100mm以上 305未満 0mm 63) 100mm以上 310未満 0mm 64) 100mm以上 315未満 0mm 65) 100mm以上 320未満 0mm 66) 100mm以上 325未満 0mm 67) 100mm以上 330未満 0mm 68) 100mm以上 335未満 0mm 69) 100mm以上 340未満 0mm 70) 100mm以上 345未満 0mm 71) 100mm以上 350未満 0mm 72) 100mm以上 355未満 0mm 73) 100mm以上 360未満 0mm 74) 100mm以上 365未満 0mm 75) 100mm以上 370未満 0mm 76) 100mm以上 375未満 0mm 77) 100mm以上 380未満 0mm 78) 100mm以上 385未満 0mm 79) 100mm以上 390未満 0mm 80) 100mm以上 395未満 0mm 81) 100mm以上 400未満 0mm 82) 100mm以上 405未満 0mm 83) 100mm以上 410未満 0mm 84) 100mm以上 415未満 0mm 85) 100mm以上 420未満 0mm 86) 100mm以上 425未満 0mm 87) 100mm以上 430未満 0mm 88) 100mm以上 435未満 0mm 89) 100mm以上 440未満 0mm 90) 100mm以上 445未満 0mm 91) 100mm以上 450未満 0mm 92) 100mm以上 455未満 0mm 93) 100mm以上 460未満 0mm 94) 100mm以上 465未満 0mm 95) 100mm以上 470未満 0mm 96) 100mm以上 475未満 0mm 97) 100mm以上 480未満 0mm 98) 100mm以上 485未満 0mm 99) 100mm以上 490未満 0mm 100) 100mm以上 495未満 0mm 101) 100mm以上 500未満 0mm 102) 100mm以上 505未満 0mm 103) 100mm以上 510未満 0mm 104) 100mm以上 515未満 0mm 105) 100mm以上 520未満 0mm 106) 100mm以上 525未満 0mm 107) 100mm以上 530未満 0mm 108) 100mm以上 535未満 0mm 109) 100mm以上 540未満 0mm 110) 100mm以上 545未満 0mm 111) 100mm以上 550未満 0mm 112) 100mm以上 555未満 0mm 113) 100mm以上 560未満 0mm 114) 100mm以上 565未満 0mm 115) 100mm以上 570未満 0mm 116) 100mm以上 575未満 0mm 117) 100mm以上 580未満 0mm 118) 100mm以上 585未満 0mm 119) 100mm以上 590未満 0mm 120) 100mm以上 595未満 0mm 121) 100mm以上 600未満 0mm 122) 100mm以上 605未満 0mm 123) 100mm以上 610未満 0mm 124) 100mm以上 615未満 0mm 125) 100mm以上 620未満 0mm 126) 100mm以上 625未満 0mm 127) 100mm以上 630未満 0mm 128) 100mm以上 635未満 0mm 129) 100mm以上 640未満 0mm 130) 100mm以上 645未満 0mm 131) 100mm以上 650未満 0mm 132) 100mm以上 655未満 0mm 133) 100mm以上 660未満 0mm 134) 100mm以上 665未満 0mm 135) 100mm以上 670未満 0mm 136) 100mm以上 675未満 0mm 137) 100mm以上 680未満 0mm 138) 100mm以上 685未満 0mm 139) 100mm以上 690未満 0mm 140) 100mm以上 695未満 0mm 141) 100mm以上 700未満 0mm 142) 100mm以上 705未満 0mm 143) 100mm以上 710未満 0mm 144) 100mm以上 715未満 0mm 145) 100mm以上 720未満 0mm 146) 100mm以上 725未満 0mm 147) 100mm以上 730未満 0mm 148) 100mm以上 735未満 0mm 149) 100mm以上 740未満 0mm 150) 100mm以上 745未満 0mm 151) 100mm以上 750未満 0mm 152) 100mm以上 755未満 0mm 153) 100mm以上 760未満 0mm 154) 100mm以上 765未満 0mm 155) 100mm以上 770未満 0mm 156) 100mm以上 775未満 0mm 157) 100mm以上 780未満 0mm 158) 100mm以上 785未満 0mm 159) 100mm以上 790未満 0mm 160) 100mm以上 795未満 0mm 161) 100mm以上 800未満 0mm 162) 100mm以上 805未満 0mm 163) 100mm以上 810未満 0mm 164) 100mm以上 815未満 0mm 165) 100mm以上 820未満 0mm 166) 100mm以上 825未満 0mm 167) 100mm以上 830未満 0mm 168) 100mm以上 835未満 0mm 169) 100mm以上 840未満 0mm 170) 100mm以上 845未満 0mm 171) 100mm以上 850未満 0mm 172) 100mm以上 855未満 0mm 173) 100mm以上 860未満 0mm 174) 100mm以上 865未満 0mm 175) 100mm以上 870未満 0mm 176) 100mm以上 875未満 0mm 177) 100mm以上 880未満 0mm 178) 100mm以上 885未満 0mm 179) 100mm以上 890未満 0mm 180) 100mm以上 895未満 0mm 181) 100mm以上 900未満 0mm 182) 100mm以上 905未満 0mm 183) 100mm以上 910未満 0mm 184) 100mm以上 915未満 0mm 185) 100mm以上 920未満 0mm 186) 100mm以上 925未満 0mm 187) 100mm以上 930未満 0mm 188) 100mm以上 935未満 0mm 189) 100mm以上 940未満 0mm 190) 100mm以上 945未満 0mm 191) 100mm以上 950未満 0mm 192) 100mm以上 955未満 0mm 193) 100mm以上 960未満 0mm 194) 100mm以上 965未満 0mm 195) 100mm以上 970未満 0mm 196) 100mm以上 975未満 0mm 197) 100mm以上 980未満 0mm 198) 100mm以上 985未満 0mm 199) 100mm以上 990未満 0mm 200) 100mm以上 995未満 0mm 201) 100mm以上 1000未満 0mm 202) 100mm以上 1005未満 0mm 203) 100mm以上 1010未満 0mm 204) 100mm以上 1015未満 0mm 205) 100mm以上 1020未満 0mm 206) 100mm以上 1025未満 0mm 207) 100mm以上 1030未満 0mm 208) 100mm以上 1035未満 0mm 209) 100mm以上 1040未満 0mm 210) 100mm以上 1045未満 0mm 211) 100mm以上 1050未満 0mm 212) 100mm以上 1055未満 0mm 213) 100mm以上 1060未満 0mm 214) 100mm以上 1065未満 0mm 215) 100mm以上 1070未満 0mm 216) 100mm以上 1075未満 0mm 217) 100mm以上 1080未満 0mm 218) 100mm以上 1085未満 0mm 219) 100mm以上 1090未満 0mm 220) 100mm以上 1095未満 0mm 221) 100mm以上 1100未満 0mm 222) 100mm以上 1105未満 0mm 223) 100mm以上 1110未満 0mm 224) 100mm以上 1115未満 0mm 225) 100mm以上 1120未満 0mm 226) 100mm以上 1125未満 0mm 227) 100mm以上 1130未満 0mm 228) 100mm以上 1135未満 0mm 229) 100mm以上 1140未満 0mm 230) 100mm以上 1145未満 0mm 231) 100mm以上 1150未満 0mm 232) 100mm以上 1155未満 0mm 233) 100mm以上 1160未満 0mm 234) 100mm以上 1165未満 0mm 235) 100mm以上 1170未満 0mm 236) 100mm以上 1175未満 0mm 237) 100mm以上 1180未満 0mm 238) 100mm以上 1185未満 0mm 239) 100mm以上 1190未満 0mm 240) 100mm以上 1195未満 0mm 241) 100mm以上 1200未満 0mm 242) 100mm以上 1205未満 0mm 243) 100mm以上 1210未満 0mm 244) 100mm以上 1215未満 0mm 245) 100mm以上 1220未満 0mm 246) 100mm以上 1225未満 0mm 247) 100mm以上 1230未満 0mm 248) 100mm以上 1235未満 0mm 249) 100mm以上 1240未満 0mm 250) 100mm以上 1245未満 0mm 251) 100mm以上 1250未満 0mm 252) 100mm以上 1255未満 0mm 253) 100mm以上 1260未満 0mm 254) 100mm以上 1265未満 0mm 255) 100mm以上 1270未満 0mm 256) 100mm以上 1275未満 0mm 257) 100mm以上 1280未満 0mm 258) 100mm以上 1285未満 0mm 259) 100mm以上 1290未満 0mm 260) 100mm以上 1295未満 0mm 261) 100mm以上 1300未満 0mm 262) 100mm以上 1305未満 0mm 263) 100mm以上 1310未満 0mm 264) 100mm以上 1315未満 0mm 265) 100mm以上 1320未満 0mm 266) 100mm以上 1325未満 0mm 267) 100mm以上 1330未満 0mm 268) 100mm以上 1335未満 0mm 269) 100mm以上 1340未満 0mm 270) 100mm以上 1345未満 0mm 271) 100mm以上 1350未満 0mm 272) 100mm以上 1355未満 0mm 273) 100mm以上 1360未満 0mm 274) 100mm以上 1365未満 0mm 275) 100mm以上 1370未満 0mm 276) 100mm以上 1375未満 0mm 277) 100mm以上 1380未満 0mm 278) 100mm以上 1385未満 0mm 279) 100mm以上 1390未満 0mm 280) 100mm以上 1395未満 0mm 281) 100mm以上 1400未満 0mm 282) 100mm以上 1405未満 0mm 283) 100mm以上 1410未満 0mm 284) 100mm以上 1415未満 0mm 285) 100mm以上 1420未満 0mm 286) 100mm以上 1425未満 0mm 287) 100mm以上 1430未満 0mm 288) 100mm以上 1435未満 0mm 289) 100mm以上 1440未満 0mm 290) 100mm以上 1445未満 0mm 291) 100mm以上 1450未満 0mm 292) 100mm以上 1455未満 0mm 293) 100mm以上 1460未満 0mm 294) 100mm以上 1465未満 0mm 295) 100mm以上 1470未満 0mm 296) 100mm以上 1475未満 0mm 297) 100mm以上 1480未満 0mm 298) 100mm以上 1485未満 0mm 299) 100mm以上 1490未満 0mm 300) 100mm以上 1495未満 0mm 301) 100mm以上 1500未満 0mm 302) 100mm以上 1505未満 0mm 303) 100mm以上 1510未満 0mm 304) 100mm以上 1515未満 0mm 305) 100mm以上 1520未満 0mm 306) 100mm以上 1525未満 0mm 307) 100mm以上 1530未満 0mm 308) 100mm以上 1535未満 0mm 309) 100mm以上 1540未満 0mm 310) 100mm以上 1545未満 0mm 311) 100mm以上 1550未満 0mm 312) 100mm以上 1555未満 0mm 313) 100mm以上 1560未満 0mm 314) 100mm以上 1565未満 0mm 315) 100mm以上 1570未満 0mm 316) 100mm以上 1575未満 0mm 317) 100mm以上 1580未満 0mm 318) 100mm以上 1585未満 0mm 319) 100mm以上 1590未満 0mm 320) 100mm以上 1595未満 0mm 321) 100mm以上 1600未満 0mm 322) 100mm以上 1605未満 0mm 323) 100mm以上 1610未満 0mm 324) 100mm以上 1615未満 0mm 325) 100mm以上 1620未満 0mm 326) 100mm以上 1625未満 0mm 327) 100mm以上 1630未満 0mm 328) 100mm以上 1635未満 0mm 329) 100mm以上 1640未満 0mm 330) 100mm以上 1645未満 0mm 331) 100mm以上 1650未満 0mm 332) 100mm以上 1655未満 0mm 333) 100mm以上 1660未満 0mm 334) 100mm以上 1665未満 0mm 335) 100mm以上 1670未満 0mm 336) 100mm以上 1675未満 0mm 337) 100mm以上 1680未満 0mm 338) 100mm以上 1685未満 0mm 339) 100mm以上 1690未満 0mm 340) 100mm以上 1695未満 0mm 341) 100mm以上 1700未満 0mm 342) 100mm以上 1705未満 0mm 343) 100mm以上 1710未満 0mm 344) 100mm以上 1715未満 0mm 345) 100mm以上 1720未満 0mm 346) 100mm以上 1725未満 0mm 347) 100mm以上 1730未満 0mm 348) 100mm以上 1735未満 0mm 349) 100mm以上 1740未満 0mm 350) 100mm以上 1745未満 0mm 351) 100mm以上 1750未満 0mm 352) 100mm以上 1755未満 0mm 353) 100mm以上 1760未満 0mm 354) 100mm以上 1765未満 0mm 355) 100mm以上 1770未満 0mm 356) 100mm以上 1775未満 0mm 357) 100mm以上 1780未満 0mm 358) 100mm以上 1785未満 0mm 359) 100mm以上 1790未満 0mm 360) 100mm以上 1795未満 0mm 361) 100mm以上 1800未満 0mm 362) 100mm以上 1805未満 0mm 363) 100mm以上 1810未満 0mm 364) 100mm以上 1815未満 0mm 365) 100mm以上 1820未満 0mm 366) 100mm以上 1825未満 0mm 367) 100mm以上 1830未満 0mm 368) 100mm以上 1835未満 0mm 369) 100mm以上 1840未満 0mm 370) 100mm以上 1845未満 0mm 371) 100mm以上 1850未満 0mm 372) 100mm以上 1855未満 0mm 373) 100mm以上 1860未満 0mm 374) 100mm以上 1865未満 0mm 375) 100mm以上 1870未満 0mm 376) 100mm以上 1875未満 0mm 377) 100mm以上 1880未満 0mm 378) 100mm以上 1885未満 0mm 379) 100mm以上 1890未満 0mm 380) 100mm以上 1895未満 0mm 381) 100mm以上 1900未満 0mm 382) 100mm以上 1905未満 0mm 383) 100mm以上 1910未満 0mm 384) 100mm以上 1915未満 0mm 385) 100mm以上 1920未満 0mm 386) 100mm以上 1925未満 0mm 387) 100mm以上 1930未満 0mm 388) 100mm以上 1935未満 0mm 389) 100mm以上 1940未満 0mm 390) 100mm以上 1945未満 0mm 391) 100mm以上 1950未満 0mm 392) 100mm以上 1955未満 0mm 393) 100mm以上 1960未満 0mm 394) 100mm以上 1965未満 0mm 395) 100mm以上 1970未満 0mm 396) 100mm以上 1975未満 0mm 397) 100mm以上 1980未満 0mm 398) 100mm以上 1985未満 0mm 399) 100mm以上 1990未満 0mm 400) 100mm以上 1995未満 0mm 401) 100mm以上 2000未満 0mm 402) 100mm以上 2005未満 0mm 403) 100mm以上 2010未満 0mm 404) 100mm以上 2015未満 0mm 405) 100mm以上 2020未満 0mm 406) 100mm以上 2025未満 0mm 407) 100mm以上 2030未満 0mm 408) 100mm以上 2035未満 0mm 409) 100mm以上 2040未満 0mm 410) 100mm以上 2045未満 0mm 411) 100mm以上 2050未満 0mm 412) 100mm以上 2055未満 0mm 413) 100mm以上 2060未満 0mm 414) 100mm以上 2065未満 0mm 415) 100mm以上 2070未満 0mm 416) 100mm以上 2075未満 0mm 417) 100mm以上 2080未満 0mm 418) 100mm以上 2085未満 0mm 419) 100mm以上 2090未満 0mm 420) 100mm以上 2095未満 0mm 421) 100mm以上 2100未満 0mm 422) 100mm以上 2105未満 0mm 423) 100mm以上 2110未満 0mm 424) 100mm以上 2115未満 0mm 425) 100mm以上 2120未満 0mm 426) 100mm以上 2125未満 0mm 427) 100mm以上 2130未満 0mm 428) 100mm以上 2135未満 0mm 429) 100mm以上 2140未満 0mm 430) 100mm以上 2145未満 0mm 431) 100mm以上 2150未満 0mm 432) 100mm以上 2155未満 0mm 433) 100mm以上 2160未満 0mm 434) 100mm以上 2165未満 0mm 435) 100mm以上 2170未満 0mm 436) 100mm以上 2175未満 0mm 437) 100mm以上 2180未満 0mm 438) 100mm以上 2185未満 0mm 439) 100mm以上 2190未満 0mm 440) 100mm以上 2195未満 0mm 441) 100mm以上 2200未満 0mm 442) 100mm以上 2205未満 0mm 443) 100mm以上 2210未満 0mm 444) 100mm以上 2215未満 0mm 445) 100mm以上 2220未満 0mm 446) 100mm以上 2225未満 0mm 447) 100mm以上 2230未満 0mm 448) 100mm以上 2235未満 0mm 449) 100mm以上 2240未満 0mm 450) 100mm以上 2245未満 0mm 451) 100mm以上 2250未満 0mm 452) 100mm以上 2255未満 0mm 453) 100mm以上 2260未満 0mm 454) 100mm以上 2265未満 0mm 455) 100mm以上 2270未満 0mm 456) 100mm以上 2275未満 0mm 457) 100mm以上 2280未満 0mm 458) 100mm以上 2285未満 0mm 459) 100mm以上 2290未満 0mm 460) 100mm以上 2295未満 0mm 461) 100mm以上 2300未満 0mm 462) 100mm以上 2305未満 0mm 463) 100mm以上 2310未満 0mm 464) 100mm以上 2315未満 0mm 465) 100mm以上 2320未満 0mm 466) 100mm以上 2325未満 0mm 467) 100mm以上 2330未満 0mm 468) 100mm以上 2335未満 0mm 469) 100mm以上 2340未満 0mm 470) 100mm以上 2345未満 0mm 471) 100mm以上 2350未満 0mm 472) 100mm以上 2355未満 0mm 473) 100mm以上 2360未満 0mm 474) 100mm以上 2365未満 0mm 475) 100mm以上 2370未満 0mm 476) 100mm以上 2375未満 0mm 477) 100mm以上 2380未満 0mm 478) 100mm以上 2385未満 0mm 479) 100mm以上 2390未満 0mm 480) 100mm以上 2395未満 0mm 481) 100mm以上 2400未満 0mm 482) 100mm以上 2405未満 0mm 483) 100mm以上 2410未満 0mm 484) 100mm以上 2415未満 0mm 485) 100mm以上 2420未満 0mm 486) 100mm以上 2425未満 0mm 487) 100mm以上 2430未満 0mm 488) 100mm以上 2435未満 0mm 489) 100mm以上 2440未満 0mm 490) 100mm以上 2445未満 0mm 491) 100mm以上 2450未満 0mm 492) 100mm以上 2455未満 0mm 493) 100mm以上 2460未満 0mm 494) 100mm以上 2465未満 0mm 495) 100mm以上 2470未満 0mm 496) 100mm以上 2475未満 0mm 497) 100mm以上 2480未満 0mm 498) 100mm以上 2485未満 0mm 499) 100mm以上 2490未満 0mm 500) 100mm以上 2495未満 0mm 501) 100mm以上 2500未満 0mm 502) 100mm以上 2505未満 0mm 503) 100mm以上 2510未満 0mm 504) 100mm以上 2515未満 0mm 505) 100mm以上 2520未満 0mm 506) 100mm以上 2525未満 0mm 507) 100mm以上 2530未満 0mm 508) 100mm以上 2535未満 0mm 509) 100mm以上 2540未満 0mm 510) 100mm以上 2545未満 0mm 511) 100mm以上 2550未満 0mm 512) 100mm以上 2555未満 0mm 513) 100mm以上 2560未満 0mm 514) 100mm以上 2565未満 0mm 515) 100mm以上 2570未満 0mm 516) 100mm以上 2575未満 0mm 517) 100mm以上 2580未満 0mm 518) 100mm以上 2585未満 0mm 519) 100mm以上 2590未満 0mm 520) 100mm以上 2595未満 0mm 521) 100mm以上 2600未満 0mm 522) 100mm以上 2605未満 0mm 523) 100mm以上 2610未満 0mm 524) 100mm以上 2615未満 0mm 525) 100mm以上 2620未満 0mm 526) 100mm以上 2625未満 0mm 527) 100mm以上 2630未満 0mm 528) 100mm以上 2635未満 0mm 529) 100mm以上 2640未満 0mm 530) 100mm以上 2645未満 0mm 531) 1
---------------------	-------------------------	---	------------------------------------	----------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------	--

<p>7 樹脂製建具</p> <p>[5. 2. 2]</p> <p>[5. 3. 2~5]</p>	<p>性能値等</p> <p>耐風圧の等級 (), 気密性の等級 (), 水密性の等級 ()</p> <p>※ 改修標準仕様書表5.3.11による種類</p> <p>外部に面する建具の種類 (コンクリート下地及び鉄骨下地)</p> <p>・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ G 断熱性の等級</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</p> <p>特の変込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>表面色 ※ 標準色 ・ 特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ※ 図示 ・</p> <p>ガラス ※ 複層ガラス ・</p>	<p>8 鋼製建具</p> <p>[5. 2. 2]</p> <p>[5. 4. 2~4]</p> <p>[5. 4. 2]</p>	<p>性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3</p> <p>水密性の等級 ・ W-1</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 (・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (・)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>くつずりの仕上げ</p> <p>ステンレス鋼板を用いる場合 ※HL以上</p> <p>鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.4.21による ・</p>	<p>9 鋼製軽量建具</p> <p>[5. 2. 2]</p> <p>[5. 5. 2~4]</p>	<p>性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 (・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (・)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>鋼板の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.5.11による ・</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 ・</p>	<p>10 ステンレス製建具</p> <p>[5. 2. 2]</p> <p>[5. 4. 2]</p> <p>[5. 6. 2~5]</p>	<p>性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・)</p> <p>簡易気密型ドアセット ・ 適用する</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 (・)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 (・)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・)</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ・</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)</p>	<p>11 建具用金物</p> <p>[5. 8. 2. 3]</p>	<p>金物の種類 ・ 見え掛り部の材質等</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による ・</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p> <p>○錠前類 (シリンダー錠錠及びシリンダー本締り錠)</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p>使用頻度による 性能</p> <p>1) (シリンダー錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</p> <p>2) キーによるデッドボルトの解放繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、解放操作に支障がない。(シリンダー本締り錠のみ) シリンダー単体の解放繰り返し試験の評量は、シリンダーだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</p> <p>3) キーによる錠機構の解放繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、解放操作に支障がない。</p> <p>4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダーが回 転でき、かつ、1箇所1段差深い割みをもつ異なるキーでは、シリンダーが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</p> <p>外力に対する性能</p> <p>1) デッドボルトの押込み強度試験(100N)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は3mm以上であること。</p> <p>2) デッドボルトの側圧強度試験 (100N) を行った際、加圧板がデッドボルトを通過しない。</p> <p>3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解放状態 (デッドボルトの突出量が9mm未満) にならないこと。</p> <p>4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解放状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。</p> <p>5) (シリンダー本締り錠はグレード3以上の形込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコウは厚さ1.6mm以上の鋼板の一体錠とする。又はストライクの強度と同等以上の強度を持つものとする。</p> <p>鍵</p> <p>1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一割みは、最大2連続までとしていくこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p>	<p>錠前類 (レバーハンドル)</p> <p>(性能)</p> <p>ねじり強度</p> <p>レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。</p> <p>引張り強度</p> <p>ハンドルの引張り強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1-2006及びJIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p> <p>垂直荷重強度</p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験 (2 KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p> <p>○クローザー類</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>①ドアクローザ</th> <th>②ヒンジクローザ</th> <th>③フロアヒンジ</th> </tr> <tr> <td>初期閉鎖性能</td> <td>閉じモメント(N・m) 効率(%)</td> <td>閉じモメント(N・m) 効率(%)</td> <td>閉じモメント(N・m) 効率(%)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> </tr> </table> <p>閉じ速度(秒)</p> <p>常温(5~35℃)無風状態において、開閉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。</p> <p>温度依存性(℃)</p> <p>縦衝油の流動点は、JIS K 2259(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。</p> <table border="1"> <tr> <td>ストップ入力</td> <td>60N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> </tr> <tr> <td>ストップ解除力</td> <td>8N・m以上</td> <td>3N・m以上</td> <td>10N・m以上</td> </tr> </table> <p>バックチェック性能(秒)</p> <p>ドア開閉方向に荷重60N/㎡を開閉50°から負荷する。(バックチェック機能)が10秒以上確保でき、また、角度(60~75°)その時間の調整が可能であること。</p> <p>「レール」の性能</p> <p>開閉90°の位置から「レール」の解除角度までの時間を10秒以上確保でき、また、角度(60~75°)その時間の調整が可能であること。</p> <p>「レール」の機能</p> <p>を有する機構のみ適用</p> <p>戸の開閉位置(中心寄り込み両自由のみに適用)</p> <p>— — —</p> <p>耐久性</p> <table border="1"> <tr> <td>連続し開閉回数(閉じモメント(N・m))</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>連続し開閉回数(%)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> </tr> <tr> <td>連続し開閉後の閉じ速度(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>連続し開閉後のバックチェック性能(秒)</td> <td>耐久試験後も上記初期値を満足していること。</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>連続し開閉後の戸閉鎖位置(mm)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>耐久試験後±6mm以内</td> </tr> </table> <p>耐久性の試験回数(連続し開閉回数)</p> <p>注1 N 5/4取付けは、右記の閉じモメントの70%程度までとする。</p> <p>注2 コード「4」型は右記の閉じモメントの90%程度までとする。</p> <p>Grade 1 を選択する場合は、図示による。</p> <p>(試験方法)</p> <p>1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法-第3部: フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ) に規定する試験方法による。</p> <p>2) 試験1)7の質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p> <p>マスターキー ・ 製作する (組) ・ 製作しない ○既存に組込む</p> <p>錠の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>錠箱 ・ 設ける (組用 組) ・ 設けない</p> <p>引き戸用駆動装置</p> <p>性能</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.11による</p> <p>種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2</p> <p>車椅子使用者用便所出入口 引き戸用駆動装置</p> <p>性能</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.21による</p> <p>引き戸用換気装置</p> <p>性能</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.31による</p> <p>種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー</p> <p>・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ</p> <p>タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・ 大形 (開・閉) 押しボタンスイッチ ・ 非接触式スイッチ</p> <p>戸の開閉方式 ※建具表による</p> <p>防錆 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない</p>	区分	①ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③フロアヒンジ	初期閉鎖性能	閉じモメント(N・m) 効率(%)	閉じモメント(N・m) 効率(%)	閉じモメント(N・m) 効率(%)	1	5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上	2	10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上	3	15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上	4	25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上	5	35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上	6	45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上	ストップ入力	60N・m以下	100N・m以下	100N・m以下	ストップ解除力	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上	連続し開閉回数(閉じモメント(N・m))	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	連続し開閉回数(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	連続し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	連続し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—	連続し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	—	—	耐久試験後±6mm以内	<p>14 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>[5. 10. 3]</p>	<p>性能等 ※改修標準仕様書5.10.31による</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制動装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの作動を確認できる試験を行う。</p> <p>耐久試験に用いる試験体は引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制動装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行うものとし、また、その他の制動装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。</p> <p>(2) 衝撃性試験 落下高さ170mmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与え、衝撃性試験に用いる試験体は引戸引閉、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。</p> <p>(3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>	<p>15 重量シャッター</p> <p>[5. 11. 2. 3]</p>	<p>シャッターの種類</p> <p>・ 管理用シャッター</p> <p>・ 外壁用防火シャッター</p> <p>・ 屋内用防火シャッター</p> <p>・ 防塵シャッター</p> <p>外部開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa</p> <p>開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式</p> <p>急降下制御装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※図示 ・</p> <p>適用する危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(4)(a)かつ(b) ※改修標準仕様書5.10.2(4)(b)かつ(b)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※12又は12を満足するもの ・</p>	<p>16 軽量シャッター</p> <p>[5. 11. 2~4]</p>	<p>開閉形式の種類 ※手動式 ・ 電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/㎡</p> <p>安全装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの ・</p> <p>・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※A20を満足するもの ・</p> <p>スラットの種類 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形</p> <p>シャッターケース ※設ける ・ 設けない</p> <p>ガイドレール (中柱共) の材質 ※ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm ・</p> <p>産板の材質 (屋外の場合) ※ステンレス製既製品 ・</p>	<p>17 オーバーヘッドドア</p> <p>[5. 13. 2. 3]</p>	<table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による強さの区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納方式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・ 175(1750)</td> <td>※バンス式</td> <td>・ スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウムタイプ</td> <td>・ 125(1250)</td> <td>・ チェーン式</td> <td>・ ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ ファイバーグラスタイプ</td> <td>・ 100(1000)</td> <td>・ 電動式</td> <td>・ ハリワイト形</td> <td>・ ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 75(750)</td> <td></td> <td>・ パーチカル形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 50(500)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 ・</p>	セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ	・ 175(1750)	※バンス式	・ スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・ アルミニウムタイプ	・ 125(1250)	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板	・ ファイバーグラスタイプ	・ 100(1000)	・ 電動式	・ ハリワイト形	・ ステンレス鋼板		・ 75(750)		・ パーチカル形			・ 50(500)				<p>20 ガラスブロック積み</p> <p>[5. 14. 5]</p>	<table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>自地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整自地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・ 正方形</td> <td>・ 125 × 125</td> <td>80</td> <td>・ クリア</td> <td>※8~15</td> <td>※6mm以下</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 160 × 160</td> <td>95</td> <td>・ 乳白</td> <td>・ 平積み</td> <td>・ 側面積み</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125</td> <td>・ 透明</td> <td></td> <td>※15以下</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 200 × 200</td> <td>95</td> <td>・ 透明</td> <td></td> <td>※6以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※図示 ・) ・ 設けない</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・</p> <p>寸法 径φ5.5mm ・</p> <p>形状 ※はしご形状縦筋及び横筋 ()</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>シーリングの種類 ()</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示</p> <p>形状 ※図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>目地部の弾力性の確保</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示 ・</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	自地幅 (mm)	伸縮調整自地位置 (mm)	防火性能	・ 正方形	・ 125 × 125	80	・ クリア	※8~15	※6mm以下	・ 無し		・ 160 × 160	95	・ 乳白	・ 平積み	・ 側面積み	・ 有り			125	・ 透明		※15以下	・ 図示		・ 200 × 200	95	・ 透明		※6以上				125					<p>21 ガラス用フィルム</p>	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内張り用</th> <th>外張り用</th> </tr> <tr> <td>・ 日射調整フィルム</td> <td>・ SC-1</td> <td>・ SC-2</td> <td>日射遮へい性能による区分</td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>・ LE</td> <td></td> <td>熱貫流率による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ A ・ B ・ C ・ D</td> </tr> <tr> <td>・ 衝撃破壊対応ガラス</td> <td>・ G1-1</td> <td>・ G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 層間剥離破壊対応ガラス</td> <td>・ GD-1</td> <td>・ GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 飛散防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・ SF</td> <td></td> <td>ガラスの貫通防止性能による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ A ・ B</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5799による</p>	種類	記号		その他性能等	内張り用	外張り用	・ 日射調整フィルム	・ SC-1	・ SC-2	日射遮へい性能による区分	・ 低放射フィルム	・ LE		熱貫流率による区分				・ A ・ B ・ C ・ D	・ 衝撃破壊対応ガラス	・ G1-1	・ G1-2		・ 飛散防止フィルム				・ 層間剥離破壊対応ガラス	・ GD-1	・ GD-2		・ 飛散防止フィルム				・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF		ガラスの貫通防止性能による区分				・ A ・ B	<p>6 内装改修工事</p> <p>[6. 1. 1]</p> <p>[6. 2. 2]</p> <p>[6. 3. 2]</p>	<p>他の部位との取り合い等</p> <p>※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ・ 図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <p>※壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ・ 図示</p> <p>既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま ・ 図示</p> <p>2 既存床の撤去及び下地補修</p> <p>・ 天井裏 (・ 下地モルタル共 (・ 図示の範囲) 撤去範囲全て)</p> <p>・ 下地モルタル (・ 図示の範囲) 撤去範囲全て)</p> <p>※撤去作業は、1名以上の技能者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p> <p>3 既存壁の撤去及び下地補修</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修</p> <p>※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は厚さ25mmを超える場合の処理) ※図示 ・)</p>
	区分		①ドアクローザ		②ヒンジクローザ		③フロアヒンジ																																																																																																																																																																																															
	初期閉鎖性能		閉じモメント(N・m) 効率(%)		閉じモメント(N・m) 効率(%)		閉じモメント(N・m) 効率(%)																																																																																																																																																																																															
	1		5以上 30以上		5以上 30以上		5以上 30以上																																																																																																																																																																																															
	2		10以上 30以上		10以上 30以上		10以上 30以上																																																																																																																																																																																															
	3		15以上 35以上		15以上 35以上		15以上 35以上																																																																																																																																																																																															
	4		25以上 40以上		25以上 40以上		25以上 40以上																																																																																																																																																																																															
	5		35以上 45以上		35以上 45以上		35以上 45以上																																																																																																																																																																																															
	6		45以上 45以上		45以上 45以上		45以上 45以上																																																																																																																																																																																															
	ストップ入力		60N・m以下		100N・m以下		100N・m以下																																																																																																																																																																																															
ストップ解除力	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上																																																																																																																																																																																																			
連続し開閉回数(閉じモメント(N・m))	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																																																			
連続し開閉回数(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。																																																																																																																																																																																																			
連続し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—																																																																																																																																																																																																			
連続し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—																																																																																																																																																																																																			
連続し開閉後の戸閉鎖位置(mm)	—	—	耐久試験後±6mm以内																																																																																																																																																																																																			
セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納方式による区分	ガイドレールの材料																																																																																																																																																																																																		
※スチールタイプ	・ 175(1750)	※バンス式	・ スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																		
・ アルミニウムタイプ	・ 125(1250)	・ チェーン式	・ ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																																																																																																																																		
・ ファイバーグラスタイプ	・ 100(1000)	・ 電動式	・ ハリワイト形	・ ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																		
	・ 75(750)		・ パーチカル形																																																																																																																																																																																																			
	・ 50(500)																																																																																																																																																																																																					
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	自地幅 (mm)	伸縮調整自地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																
・ 正方形	・ 125 × 125	80	・ クリア	※8~15	※6mm以下	・ 無し																																																																																																																																																																																																
	・ 160 × 160	95	・ 乳白	・ 平積み	・ 側面積み	・ 有り																																																																																																																																																																																																
		125	・ 透明		※15以下	・ 図示																																																																																																																																																																																																
	・ 200 × 200	95	・ 透明		※6以上																																																																																																																																																																																																	
		125																																																																																																																																																																																																				
種類	記号		その他性能等																																																																																																																																																																																																			
	内張り用	外張り用																																																																																																																																																																																																				
・ 日射調整フィルム	・ SC-1	・ SC-2	日射遮へい性能による区分																																																																																																																																																																																																			
・ 低放射フィルム	・ LE		熱貫流率による区分																																																																																																																																																																																																			
			・ A ・ B ・ C ・ D																																																																																																																																																																																																			
・ 衝撃破壊対応ガラス	・ G1-1	・ G1-2																																																																																																																																																																																																				
・ 飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																						
・ 層間剥離破壊対応ガラス	・ GD-1	・ GD-2																																																																																																																																																																																																				
・ 飛散防止フィルム																																																																																																																																																																																																						
・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF		ガラスの貫通防止性能による区分																																																																																																																																																																																																			
			・ A ・ B																																																																																																																																																																																																			



<p>(有)MIEUX設計工房</p> <p>鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2</p> <p>TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570</p>	<p>1級建築士事務所</p> <p>鳥取県知事登録第02-561号</p> <p>管理建築士</p> <p>1級建築士 大倉登録第168674号</p> <p>1級建築士 大倉登録第168674号</p> <p>讃岐英夫</p>	<p>設計者</p> <p>1級建築士 大倉登録第168674号</p> <p>構造設計1級建築士 第2822号</p> <p>讃岐英夫</p>	NOTE:	SCALE	DATE	DRAW	CHECK	CHIEF	TITLE	栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	DR. NO.
				240300				DR. NAME	改修工事特記仕様 (4)	A-03	



ヒラメ棟 【改修前・改修後】平面図 (A2) S = 1 : 100 (A3) S = 1 : 141

- 《ヒラメ棟改修内容》
- ① 既存AD-1撤去→カー工法にてAD-1新設 既存木製額縁:SOP塗替え
 - ② 既存WD-1扉・金物撤去→WD-1新設 既存木製3方枠:SOP塗替え
同上に伴う既存鉄骨胴縁塗装改修 新設・既存鉄骨胴縁PL取付補強改修する
 - ③ 既存WD-2扉・金物撤去→WD-2新設 既存木製3方枠:SOP塗替え
同上に伴う既存鉄骨胴縁塗装改修 既存鉄骨胴縁PL取付補強改修する
 - 施設内部の工事の仮設について
・ヒラメ棟の工事中には、上記工事範囲ごとにガードフェンス等にて、区画すること

(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

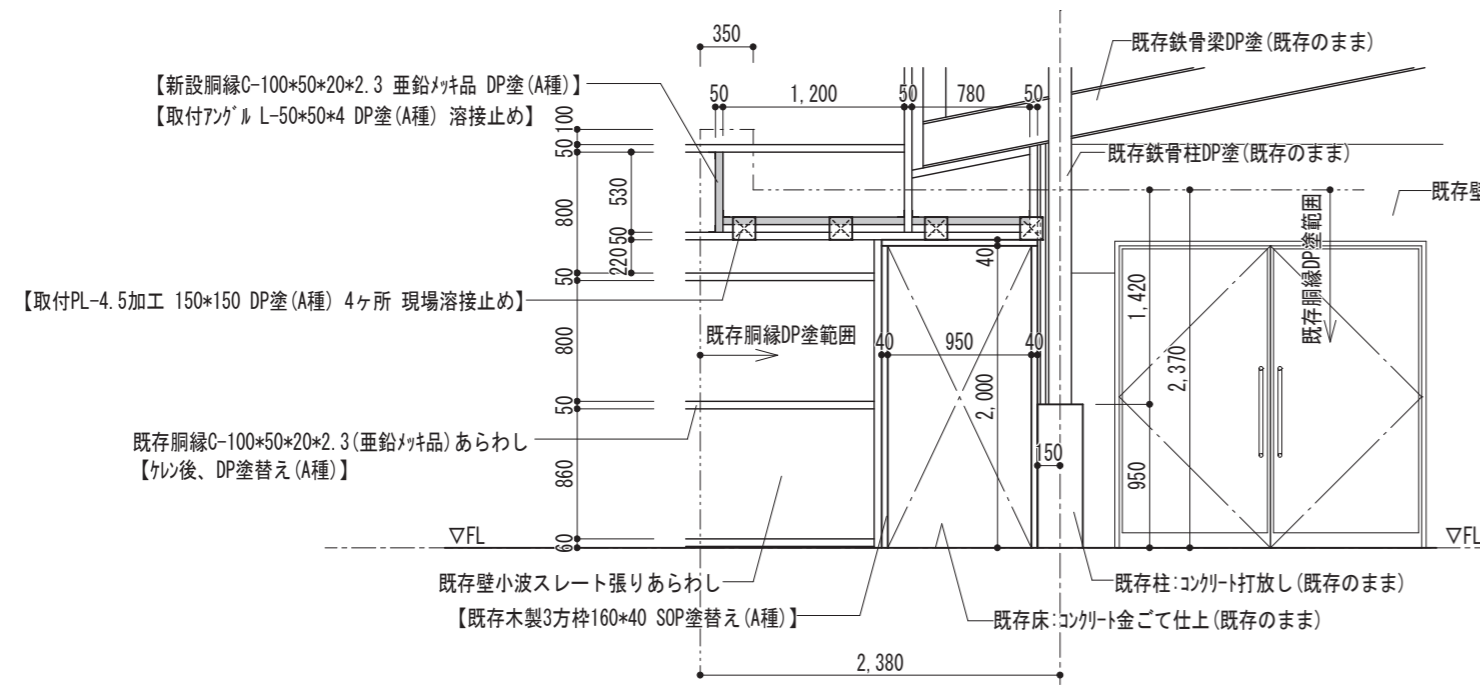
1級建築士事務所
鳥取県知事登録第02-561号
管理建築士
1級建築士 大臣登録第168674号
讃岐英夫

設計者
1級建築士 大臣登録第168674号
構造設計1級建築士 第2822号
讃岐英夫

NOTE:	SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
	(A2) 1:100	240300			栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	A-06
	(A3) 1:141				ヒラメ棟 【改修前・後】平面図	

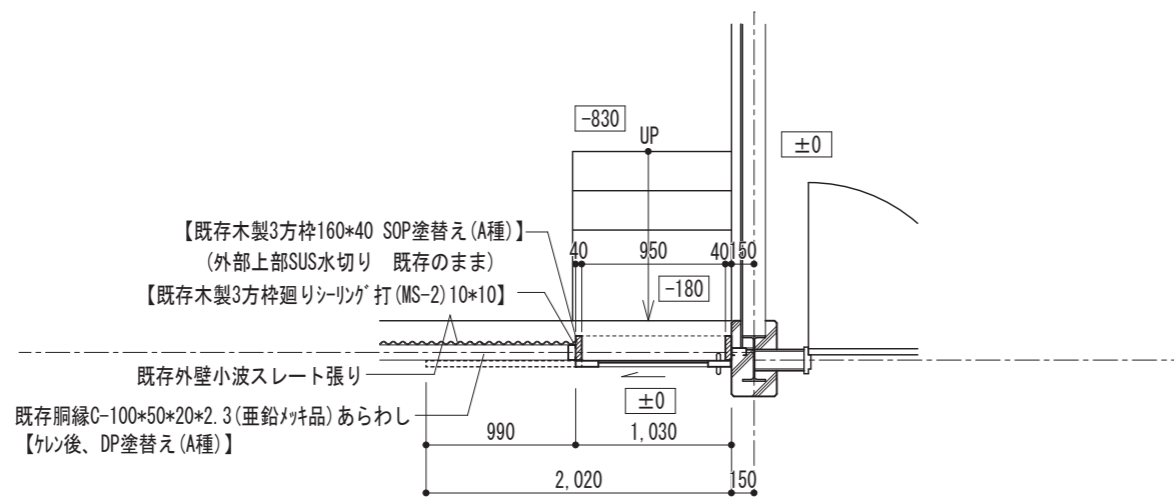


記号・数量	1 AD 【撤去】	1 AD 【新設】	1 WD 【撤去】	1 WD 【新設】	1 WD 【撤去】	1 WD 【新設】
室名	ヒラメ親魚室	ヒラメ親魚室	ヒラメ稚魚飼育室	ヒラメ親魚室	ヒラメ稚魚飼育室	ヒラメ親魚室
形状						
形式	親子ドア 【撤去 既存アルミ枠は既存のまま】	親子ドア 【新設】	木製引きハンガードア 【撤去】	木製引きハンガードア	木製引きハンガードア 【撤去】	木製引きハンガードア
材質	アルミ製シルバー 内部額縁 木製90x25 【既存のまま】	アルミ製シルバー 内部額縁 木製90x25 【SOP塗替え(A種)】	木製	木製 枠・ココ框(スチール) 押縁(桧上小) 桧板(桧上小)	木製	木製 枠・ココ框(スチール) 押縁(桧上小) 桧板(桧上小)
見込	70(RC用)	100~140(カバー工法:メーカー仕様による)	扉:40 【撤去】 外部3方枠:160x40 【既存のまま】	扉:40 扉板:12 外部3方枠:160x40 【既存のまま】	扉:40 【撤去】 外部3方枠:160x40 【既存のまま】	扉:40 扉板:12 外部3方枠:160x40 【既存のまま】
仕上	ドア部 腰壁アルミパネル 【撤去】	ドア部 腰壁アルミパネル 【新設】	扉:合板フラッシュ SOP塗 外部3方枠:SOP塗	扉:木材保護塗料塗(A種) 外部3方枠:SOP塗替え(A種)	扉:合板フラッシュ SOP塗 外部3方枠:SOP塗	扉:木材保護塗料塗(A種) 外部3方枠:SOP塗替え(A種)
ガラス	ドア部 F4.0T ランマ部 FW6.8T 【撤去】	ドア部 FW6.8T ランマ部 FW6.8T 【新設】				
金物	握り玉、シリンドラ錠、ドアクローザ、丁番、フランス落し 沓摺(SUS) 【撤去】	握り玉、シリンドラ錠、ドアクローザ、丁番、フランス落し 沓摺(SUS) 【新設】	木製引手・吊車・ステンレール・ステンスカバー 【撤去】	引手25φ-L450・吊車(複車)・レール・レール受け・ハンガープレート・フランス落し ハンガー・ローラー・ゴム付戸当り・ガイドローラー・ガイドレール (全てSUS製)	木製引手・吊車・ステンレール 【撤去】	引手25φ-L450・吊車(複車)・レール・レール受け・ハンガープレート・フランス落し ハンガー・ローラー・ゴム付戸当り・ガイドローラー・ガイドレール (全てSUS製)

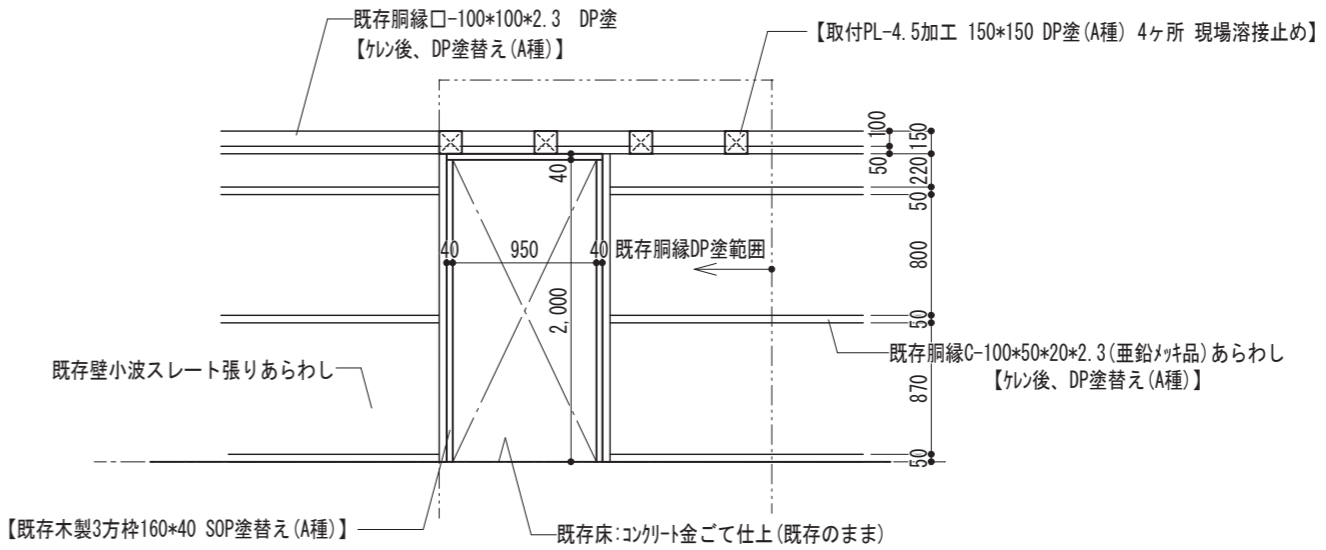


改修WD-1廻り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

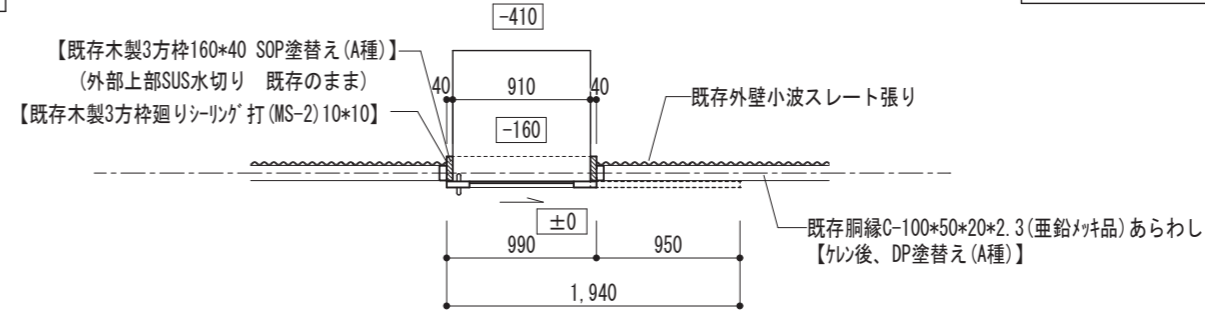
※ 新設鉄骨鋼線を示す。



改修WD-1廻り平面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71



改修WD-2廻り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71



改修WD-2廻り平面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

《改修共通事項》
 ※【 】内は、改修内容を示す。
 ※新設鉄骨鋼線は、溶融亜鉛めっき品とする。(めっき付着量、両面で180g/m)
 ※新設木製建具に係る金物は、全てステンレス製とする。
 ※既存木製枠・木製額縁は、SOP塗替え(A種)とする。
 ※木部塗装下地調整はRB種とする。

《鉄骨部塗装改修特記事項》
 ○鉄骨鋼線塗装面の事前調査…目視による確認、マスキング、計測等を行い、調査結果を基に改修方法等、監督員と協議すること
 ○耐候性塗料DP塗 上塗塗料等級…1級(フッ素系) 内部及び外部は、工程A種を基本とする。
 ○塗装下地調整はRB種とし、赤錆発生部はA種とする。
 ○上記の下塗り:JASS18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー

【プレハブ倉庫棟】

《外部仕上表》	現況 外部仕上表 【撤去内容】	改修後 外部仕上表 【新設・改修内容】
屋根	ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88 (素地、ボルト式) 種: 軒樋 前高折板用120型 堅樋 塩ビ製75φ	現況のまま
全上 裏面	発泡ポリエチレンフォーム t=4貼 (屋内のみ)	全上
全上 鼻隠し	ガルバリウム鋼板t=0.5、H=300	全上
全上 板金金物	水切: カラ鉄板 t=0.35 カラ包み: ガルバリウム鋼板 t=0.5	全上
庇	ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88 (素地) 樋付	現況のまま
全上 鼻隠し	ガルバリウム鋼板t=0.5、H=300	全上
全上 腕木	鋼製FE塗 軒裏あらわし	【既設鉄部見掛け:ケレン後、DP塗替え(A種)】
外壁	3層サトウイチョウ t=40 (イソパントハ 粘) 塗装	外壁材: 現況のまま
全上 内、外側	カラガルバリウム鋼板 t=0.35	既存のまま
全上 心材	ポリウレタンフォーム	全上
土台水切り	カラガルバリウム鋼板 t=0.35	【新設:カラガルバリウム鋼板 t=0.35 カバ-工法】
鉄部	鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗 【一部柱脚PLはつり撤去、処分】	【既設鉄部見掛け: 既存塗装ケレン後、DP塗替え(A種)】 【柱脚部補強PL-6・4.5現場溶接取付後・DP塗(A種)】
基礎根回り	コンクリート打放し仕上	既存のまま
軒樋	カラ塩ビ120φ 吊金物 @450 (亜鉛メッキ)	既存のまま
好樋	カラ塩ビ75φ 掴み金物 @1200 (亜鉛メッキ) 【撤去・処分】	【新設:カラ塩ビ75φ 掴み金物 @1200 (SUS)】
ポーチ	コンクリート金コテ押え	既存のまま

【プレハブ倉庫棟】

《内部仕上表》		床	内壁	天井	備考
1	倉庫	現況	コンクリート金コテ押え	塗装ガルバリウム鋼板 (外壁パネルあらわし)	木製戸棚 (H1960×D550)
		改修後	現況のまま	鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗 【既設鉄部見掛け: 既存塗装ケレン後、DP塗替え(B種)】 【柱脚部補強PL-6現場溶接取付後・DP塗(B種)】	アレース: 内部あらわし 9φ 鉄骨あらわし 木製戸棚 (H2000×D600) 移動 (分解有り)・再設置 【既設アレース部見掛け: 既存塗装ケレン後、DP塗替え(B種)】

《既設特記事項》

プレハブ本体: (材質: プレハブ II 又は ガイラス製: サイクリートタイプ-1又は同等品)
 コンクリート打放し仕上げの種別はB種とする
 軽量鉄骨ブレース構造
 鉄筋コンクリート造布基礎 (根廻り: コンクリート打放し補修仕上)
 木製戸棚 (H1960×D550) 3段・5段 段高は600・400程度
 骨組み部分は、ヒノキ (柱: □70、梁: □60、根太: □50)
 棚の部分は、ラワン合板 (t=12) 棚板一段目は、床から100上げる。

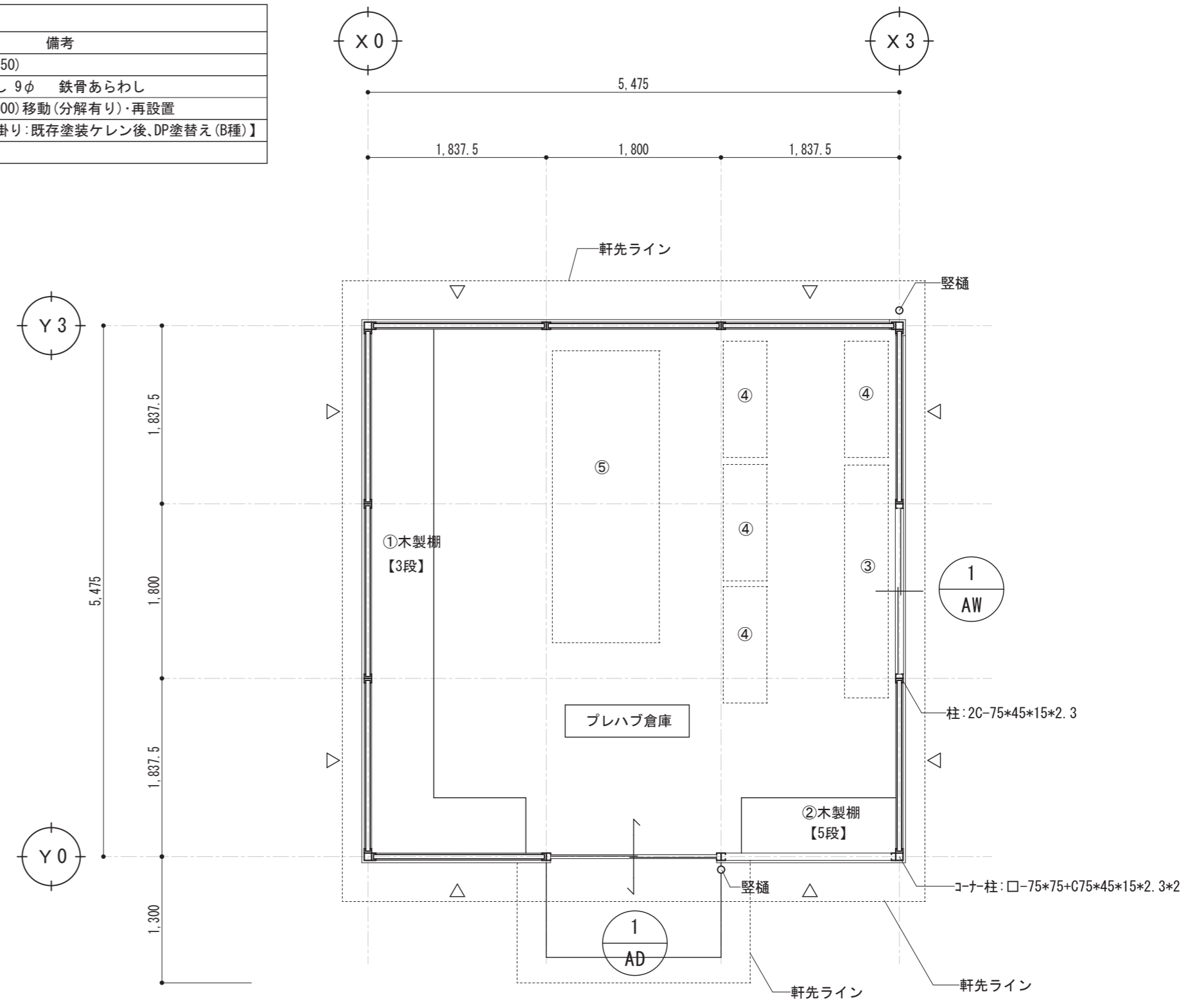
【鉄骨部塗装改修特記事項】

- 鉄骨塗装面の事前調査……目視による確認、マスキング、計測等を行い、調査結果を基に改修方法等、監督員と協議すること
- 塗装下地調整はRB種とし、赤錆発生部はRA種とする。
- 耐水性塗料DP塗 上塗塗料等級…1級 (フッ素系) 内部及び外部は、工程A種を基本とする。
- 上記の下塗り: JASS18 M-109 変性EP 樹脂アライマー

【その他 特記事項】

- プレハブ倉庫施設内部の備品・木製棚等の取扱い
 - ① 木製棚①は、分解・造作の上、プレハブ倉庫内の工事に支障がない場所に移動・再設置とする
 - ② 木製棚②・備品棚③・④は、栽培漁業センター内施設の指定場所に移動・再設置とする
 - ③ ⑤及び倉庫内備品は、栽培漁業センターの方で移動・再設置とする
 - ④ 全上について、施工業者にて、移動・再設置するものは適切に養生すること
工事作業終了時には、再移動・元の位置に設置すること
- 既存建具について
既存建具AD-1は、建付調整及び戸車の取替えをすること

建具表 【改修内容】		S=1:100	
符号・名称	① AD 引違い戸 1ヶ所	① AW 引違い窓 1ヶ所	
姿 図			
仕上・見込	アルミシルバー・70 【既存のまま】	アルミシルバー・70 【既存のまま】	
硝子等	上部: 4mm カタ 【既存のまま】 下部: アルポリックパネル 【既存のまま】	4mm カタ 【既存のまま】	
金 物	付属金物一式 【戸車取替・建付調整 より出し錠 【既存のまま】	クレセント 【既存のまま】	

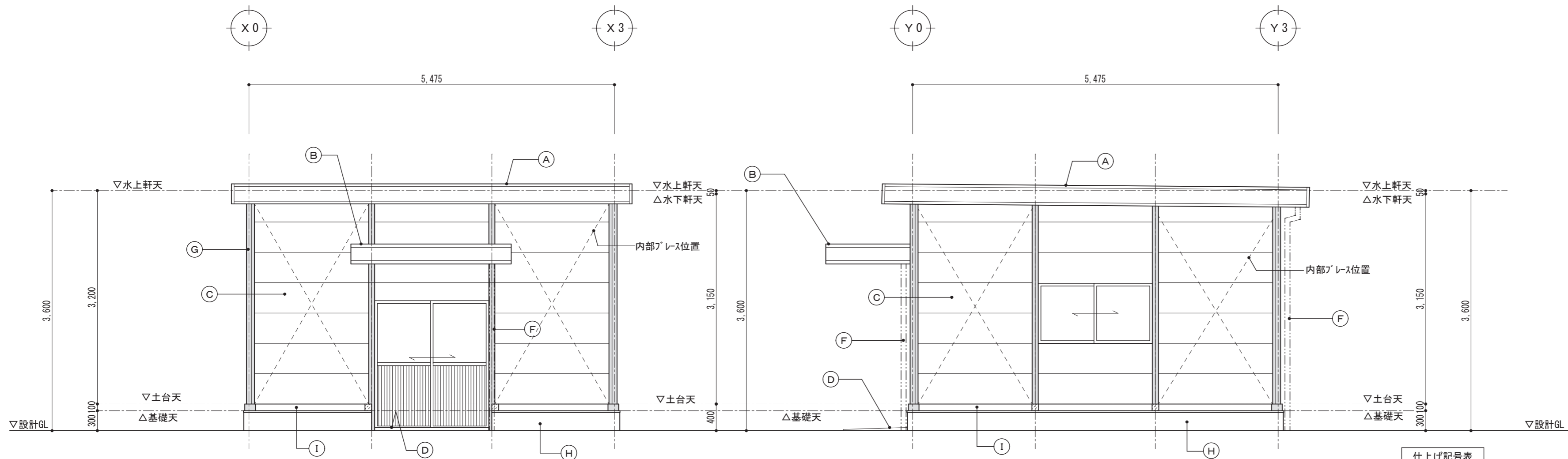


面積表	
①木製棚 H1960×D550×L5110+1600	
②木製棚 H1960×D550×L1600	
③備品 木製棚 H1200×D450×L2400	
④備品 金属製棚 H1800×D450×L1200	
⑤備品 ハレット及び漁具等	

面積表	
建築面積	30.69㎡
1階床面積	30.69㎡
延べ面積	30.69㎡

【現況】平面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※△はブレース位置を示す



【現況】Y0通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 コナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

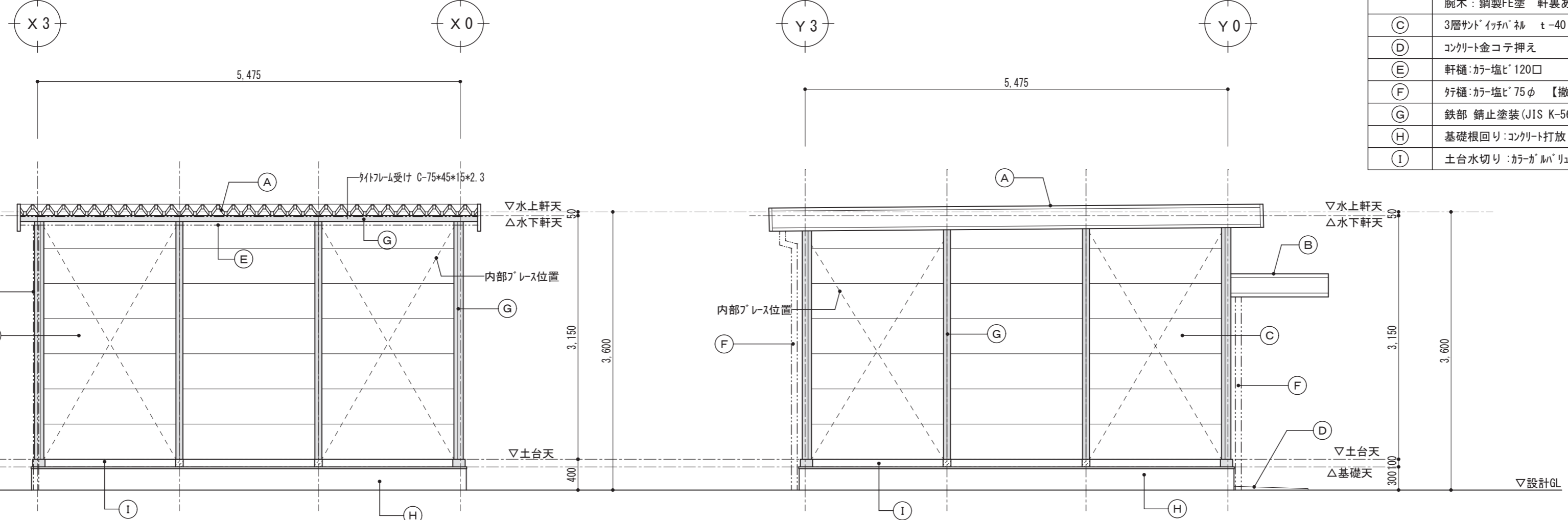
【現況】X3通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 コナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

■ 既存鉄骨腐食部分を示す。既存鉄骨PLはつり撤去(一部サグ-切) M16*ト-ナット再利用
 ■ 既存鉄部 見え掛りFE2回塗 クレ部分を示す。
 ※塗装下地調整はRB種とし、赤錆発生部はRA種とする。

仕上げ記号表

記号	現況仕上げ 【撤去内容】
(A)	屋根:ガ'ル'リュ-ム鋼板折板葺 t-0.5、H=88 (素地、ポルト式) 鼻隠し:ガ'ル'リュ-ム鋼板t-0.5、H=300 水切り:カー鉄板 t-0.35 クラパ'包み:ガ'ル'リュ-ム鋼板 t-0.5
(B)	庇:ガ'ル'リュ-ム鋼板折板葺 t-0.5、H=88 (素地) 樋付 鼻隠し:ガ'ル'リュ-ム鋼板t-0.5、H=300 腕木:鋼製FE塗 軒裏あらわし
(C)	3層サンド'イッチ'ル t-40 (イパ'ント'ハ'ル)
(D)	コンクリ-ト金コテ押え
(E)	軒樋:カー塩ビ'120φ
(F)	タ行樋:カー塩ビ'75φ 【撤去・処分】
(G)	鉄部 錆止塗装(JIS K-5621 II種)1回塗 見え掛りFE2回塗 【一部PL撤去・処分】
(H)	基礎根回り:コンクリ-ト打放し仕上
(I)	土台水切り:カーガ'ル'リュ-ム鋼板 t-0.35



【現況】Y3通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 コナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

【現況】X0通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 コナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

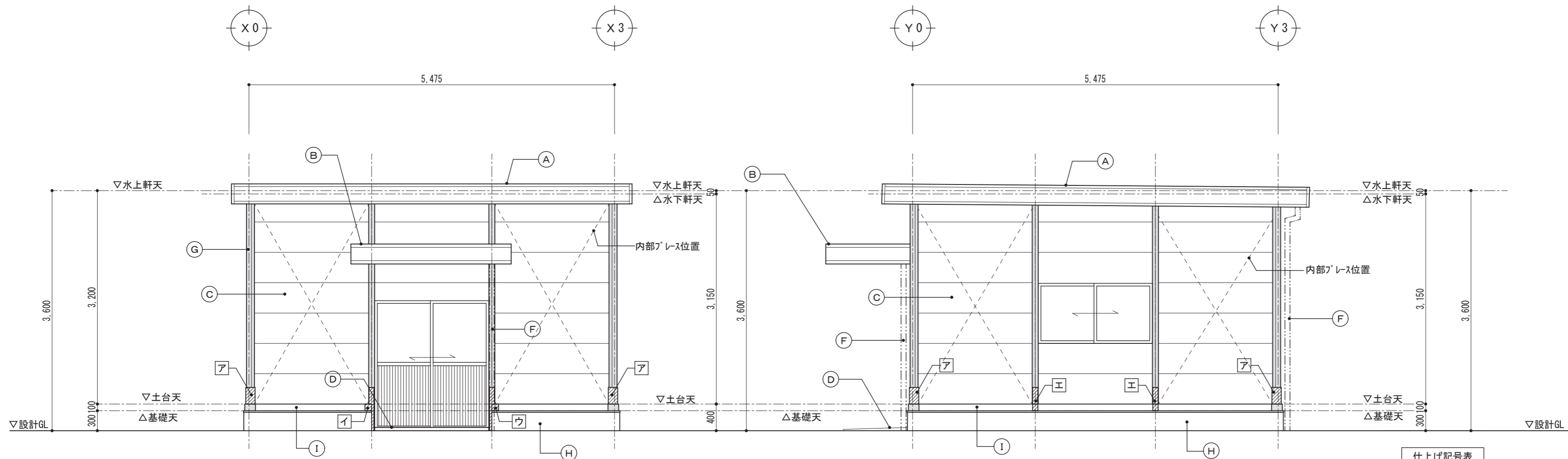
(有)MIEUX設計工房
 鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
 TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
 鳥取県知事登録第02-561号
 管理建築士
 1級建築士 大臣登録第168674号
 讃岐 英夫

設計者
 1級建築士 大臣登録第168674号
 構造設計1級建築士 第2822号
 讃岐 英夫

SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2) 1:50	240300	.	.	栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	DR. NO.
(A3) 1:71				プレハブ倉庫棟 【現況】立面図	A-09





【改修後】Y0通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 ユナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

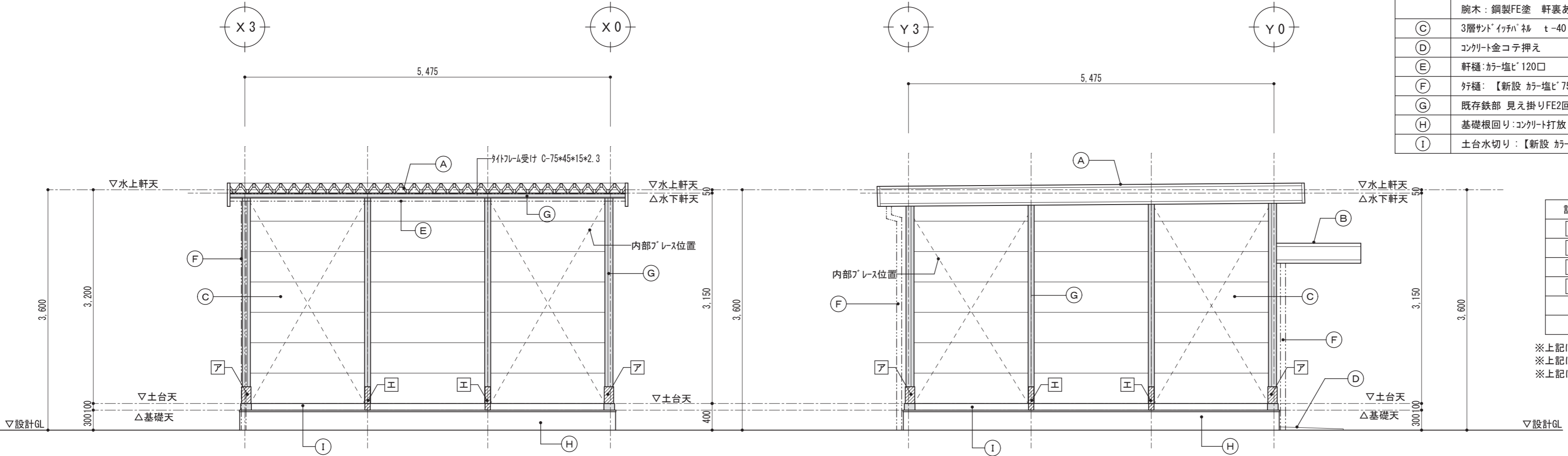
■ 新設:鉄骨PL-6・4.5(現場溶接)部分を示す。(M16*トナリ再利用) PL及びトナリ取付後、PL廻りシーリング(MS-2)、DP塗(A種)
 ■ 既存鉄部ケレン後、DP塗替え(A種)を示す。

【改修後】X3通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 ユナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

仕上げ記号表

記号	現況仕上げ	
A	屋根:ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88(素地、ポルト式)	【現況のまま】
	鼻隠し:ガルバリウム鋼板t=0.5、H=300	【現況のまま】
	水切り:カー鉄板 t=0.35	【現況のまま】
	ケラバ包み:ガルバリウム鋼板 t=0.5	【現況のまま】
B	底:ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88(素地) 樋付	【現況のまま】
	鼻隠し:ガルバリウム鋼板t=0.5、H=300	【現況のまま】
	腕木:鋼製FE塗 軒裏あらわし	【現況のまま】
C	3層サンドイッチパネル t=40 (イソトバ社)	【現況のまま】
D	コンクリート金コテ押え	【現況のまま】
E	軒樋:カー塩ビ120口	【現況のまま】
F	タテ樋:【新設】カー塩ビ75φVU 摺り金物 @1200 (SUS製)	
G	既存鉄部 見え掛りFE2回塗 【ケレン、DP塗替え(A種)】 【一部PL新設、DP塗】	
H	基礎根回り:コンクリート打放し仕上	【現況のまま】
I	土台水切り:【新設】カーガルバリウム鋼板 t=0.35 カギ-工法】	



【改修後】Y3通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 ユナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

【改修後】X0通り立面図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※外部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 柱脚PL-4.5
 ユナ柱 □-75*75*2.3+C-75*45*15*2.3*2 柱脚PL-4.5
 斜トラス受け C-75*45*15*2.3

記号	【改修内容】
ア	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=100以上】
イ	【新設 PL-4.5加工 隅肉溶接止め 上下 L=100以上】
ウ	【新設 PL-4.5加工 隅肉溶接止め 上下 L=100以上】
エ	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=100以上】

※上記に係わる既設M16は、再利用
 ※上記に係わるPLは、DP塗仕上(A種)の上、取付とし、溶接後ケッチャップ
 ※上記に係わる溶接時には、外壁パネルに支障がないよう養生をすること

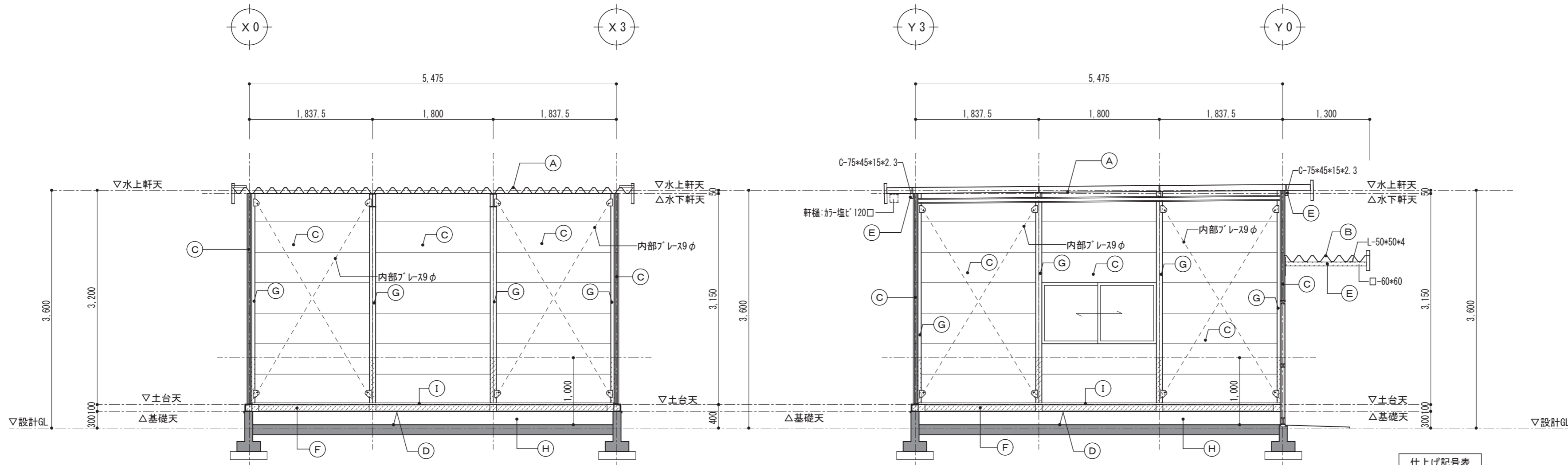
(有)MIEUX設計工房
 鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
 TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
 鳥取県知事登録第02-561号
 管理建築士
 1級建築士 大臣登録第168674号
 設計者 讃岐英夫

NOTE:
 1級建築士 大臣登録第168674号
 構造設計1級建築士 第2822号
 設計者 讃岐英夫

SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2) 1:50 (A3) 1:71	240300	.	.	栽培漁業センターヒラメ棟 棟具ほか改修工事 プレハブ倉庫棟 【改修後】立面図	A-10





【現況】Y3通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨: 柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレースφ 取付PL-4.5

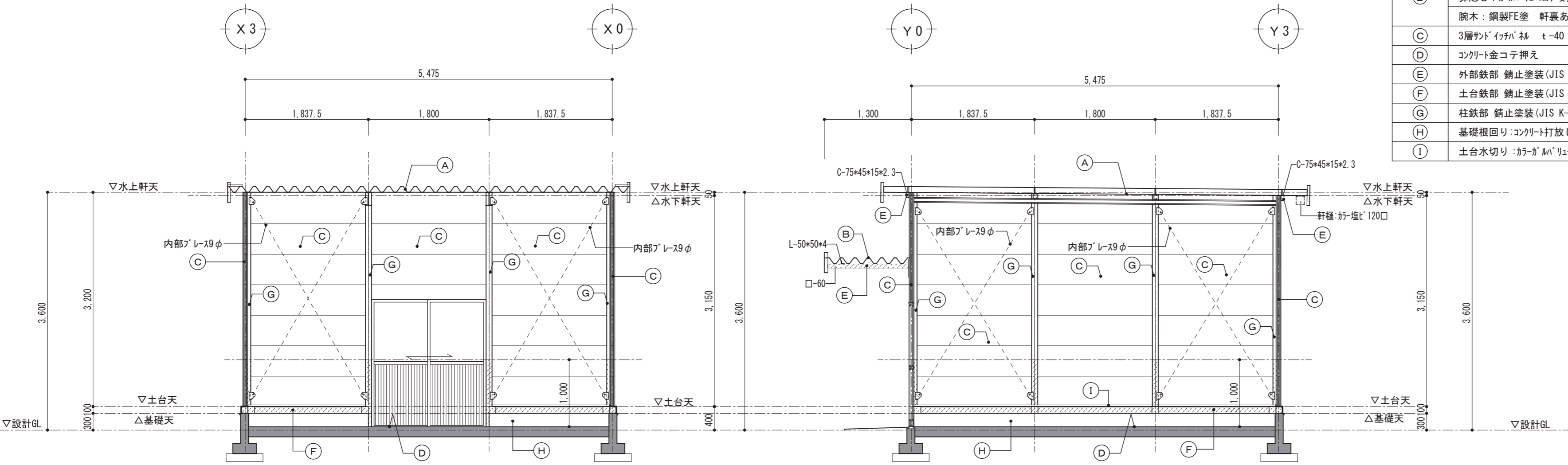
【現況】X3通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨: 柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレースφ 取付PL-4.5

既存鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗 ケレン部分を示す。
※塗装下地調整はRB種とし、赤錆発生部はRA種とする。(内部FL+1000まで)

仕上げ記号表

記号	現況仕上げ	【ケレン(撤去)内容】
A	屋根: ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88 (素地、ボルト式)	
	鼻隠し: ガルバリウム鋼板 t=0.5、H=300	
	水切り: 杉鉄板 t=0.35	
B	ケレン包み: ガルバリウム鋼板 t=0.5	
	庇: ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88 (素地) 樋付	
	鼻隠し: ガルバリウム鋼板 t=0.5、H=300	
	腕木: 鋼製FE塗 軒裏あらわし	
C	3層サトウイチョバネ t=40 (イチョバネ)	
D	コンクリート金コテ押え	
E	外部鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗	【ケレン】
F	土台鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗	【ケレン】
G	柱鉄部 錆止塗装 (JIS K-5621 II種) 1回塗 見え掛りFE2回塗	【ケレン】
H	基礎根回り: コンクリート打放し仕上	
I	土台水切り: 杉鉄板 t=0.35	【内部のみ撤去・処分】



【現況】Y0通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨: 柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレースφ 取付PL-4.5

【現況】X0通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨: 柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレースφ 取付PL-4.5

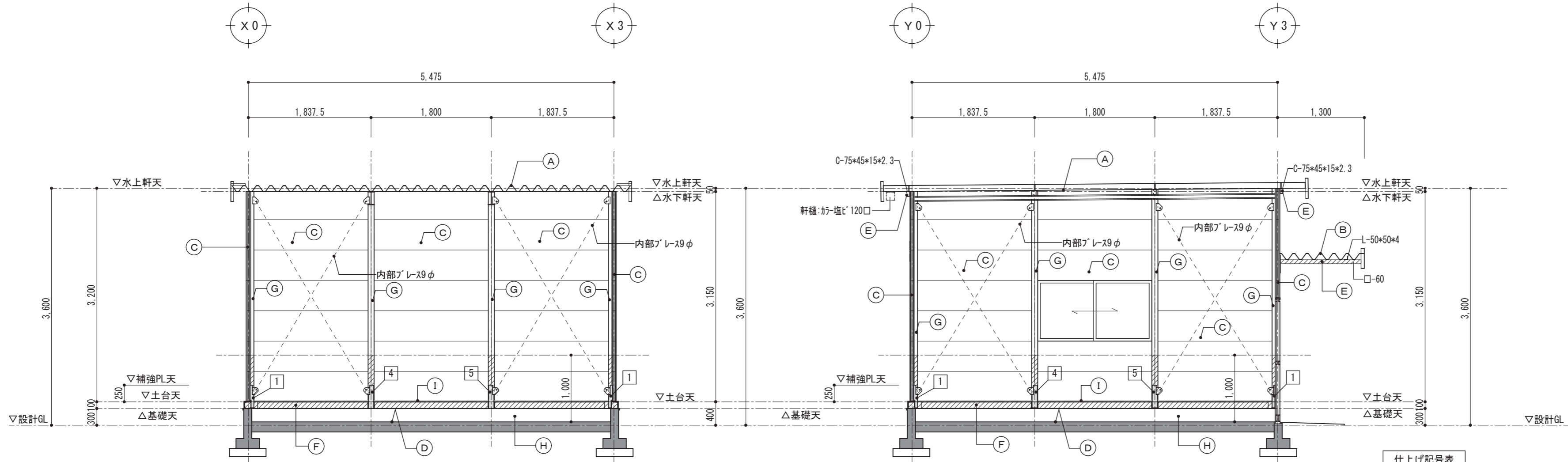
(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
TEL: 0858-48-1003 FAX: 0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第02-561号
管理建築士
1級建築士 大臣登録第168674号
讃岐 英夫

設計者
1級建築士 大臣登録第168674号
構造設計1級建築士 第2822号
讃岐 英夫

SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2) 1:50	240300			栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	DR. NO.
(A3) 1:71				プレハブ倉庫棟 【現況】展開図	A-11

鳥取県
令和5年度
J2302041
中部環境建築局



【改修後】Y3通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレース 9φ 取付PL-4.5

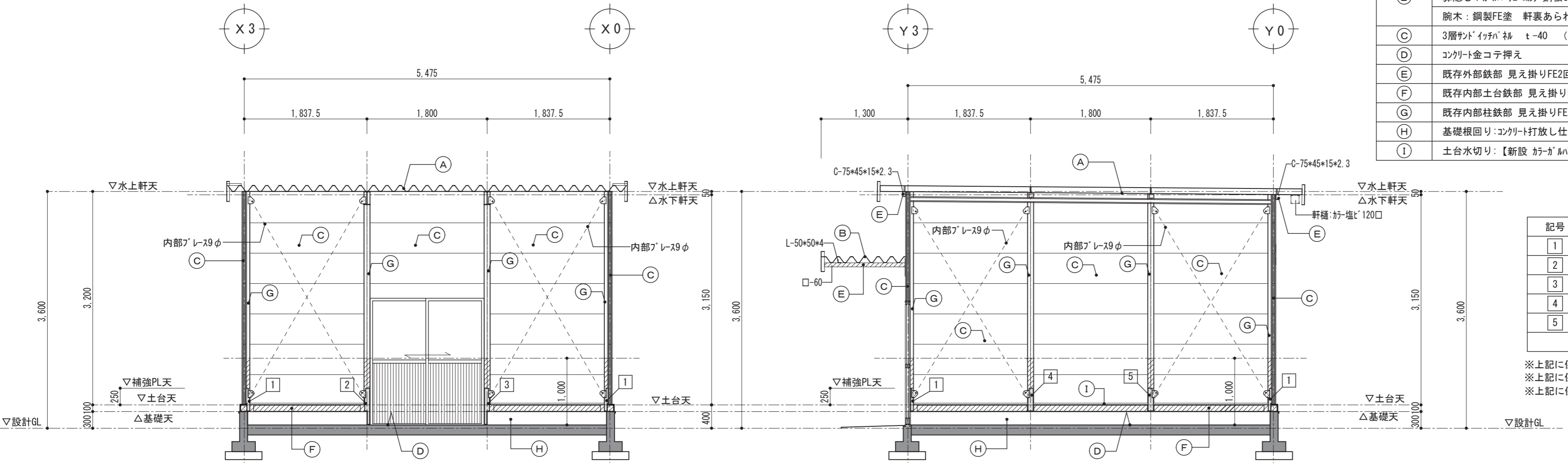
既存鉄骨の塗り後、内部DP塗替え(B種) 外部DP塗替え(A種)を示す。
塗替え範囲は、FL+1000まで(塗替え後、PL取付)
新設:鉄骨PL-6(現場溶接)部分を示す。(M16ボルトナット再利用)
PL及びボルト取付後、PL廻りシーリング(MS-2)、DP塗
溶接長さは、上下共L=150mm以上、隅肉溶接とする。

【改修後】X3通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレース 9φ 取付PL-4.5

仕上げ記号表

記号	現況仕上げ	【改修内容】
A	屋根: ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88(素地、ボルト式)	【現況のまま】
	鼻隠し: ガルバリウム鋼板 t=0.5、H=300	【現況のまま】
	水切り: 鋳鉄板 t=0.35	【現況のまま】
B	ケラバ包み: ガルバリウム鋼板 t=0.5	【現況のまま】
	底: ガルバリウム鋼板折板葺 t=0.5、H=88(素地) 樋付	【現況のまま】
C	鼻隠し: ガルバリウム鋼板 t=0.5、H=300	【現況のまま】
	腕木: 鋼製FE塗 軒裏あらかし	【現況のまま】
D	3層サトイワチバネ t=40 (イワチバネ)	【現況のまま】
E	コンクリート金コテ押え	【現況のまま】
F	既存外部鉄部 見え掛りFE2回塗 【ケラ、DP塗替え(A種)】	【一部PL新設、DP塗(A種)】
G	既存内部土台鉄部 見え掛りFE2回塗 【ケラ、DP塗替え(B種)】	【一部PL新設、DP塗(A種)】
H	既存内部柱鉄部 見え掛りFE2回塗 【ケラ、DP塗替え(B種)】	【一部PL新設、DP塗(A種)】
I	基礎回り: コンクリート打放し仕上	
	土台水切り: 【新設 ガルバリウム鋼板 t=0.35】 【新設:バネ取合用シーリング 10*10】	



【改修後】Y0通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレース 9φ 取付PL-4.5

【改修後】X0通り展開図 A2:S=1/50 A3:S=1/71

※内部鉄骨:柱 20-75*45*15*2.3 土台 [-100*50*5]
ブレース 9φ 取付PL-4.5

記号	【改修内容】
1	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=150以上】
2	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=150以上】
3	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=150以上】
4	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=150以上】
5	【新設 PL-6加工 隅肉溶接止め 上下 L=150以上】

※上記に係わる既設M16は、再利用
※上記に係わるPLは、DP塗仕上(A種)の上、取付とし、溶接後カチアップ
※上記に係わる溶接時には、外壁バネに支障がないよう養生をすること

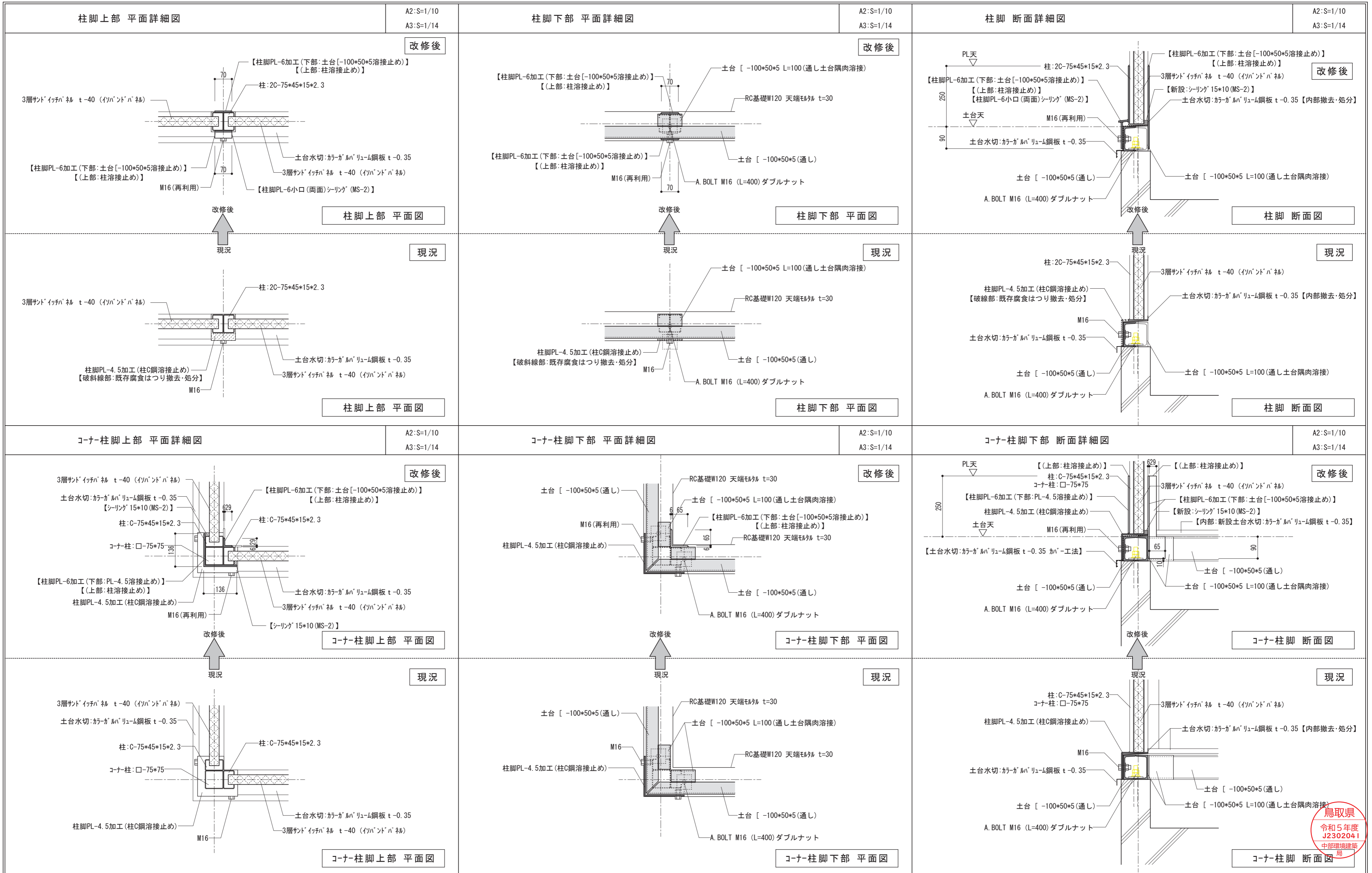
(有)MIEUX設計工房
鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第02-561号
管理建築士
1級建築士 大臣登録第168674号
讃岐 英夫

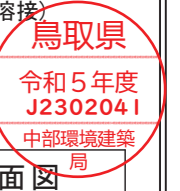
設計者
1級建築士 大臣登録第168674号
構造設計1級建築士 第2822号
讃岐 英夫

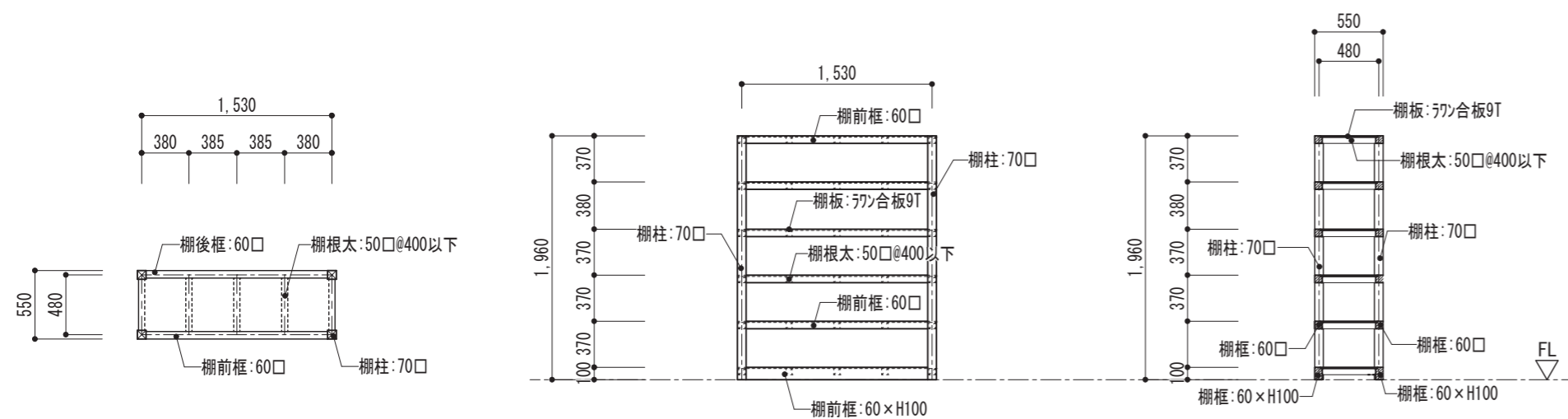
SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
(A2) 1:50 (A3) 1:71	240300			栽培漁業センターヒラメ棟 棟具ほか改修工事 プレハブ倉庫棟 【改修後】展開図	A-12





(有)MIEUX設計工房 鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2 TEL: 0858-48-1003 FAX: 0858-26-7570	1級建築士事務所 鳥取県知事登録第02-561号 管理建築士 1級建築士 大臣登録第168674号 讃岐英夫	設計者 1級建築士 大臣登録第168674号 構造設計1級建築士 第2822号 讃岐英夫	NOTE:	SCALE	DATE	CHECK	CHIEF	TITLE	DR. NO.
				(A2) 1:10	240300			栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	DR. NAME
				(A3) 1:14				プレハブ倉庫棟 【現況・改修後】柱脚部 平面・断面詳細図	A-13





②木製柵 平面図 (5段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

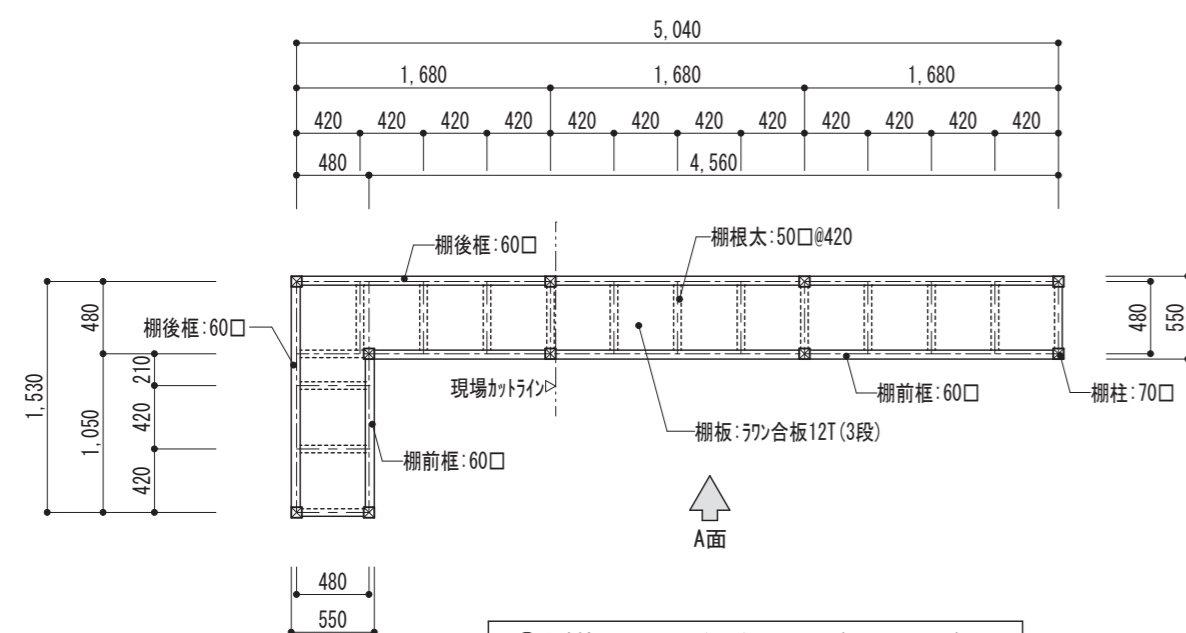
②木製柵 姿図 (5段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

②木製柵 断面図 (5段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

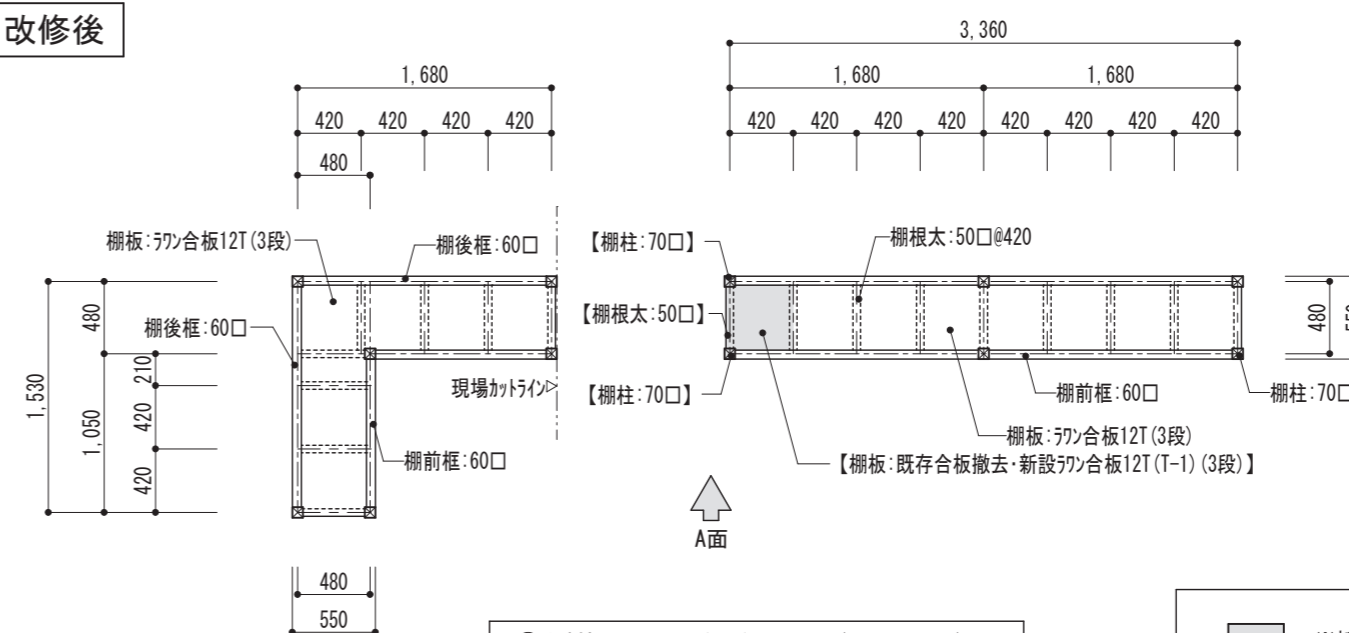
← ②木製柵 は現況のまま

現況

改修後



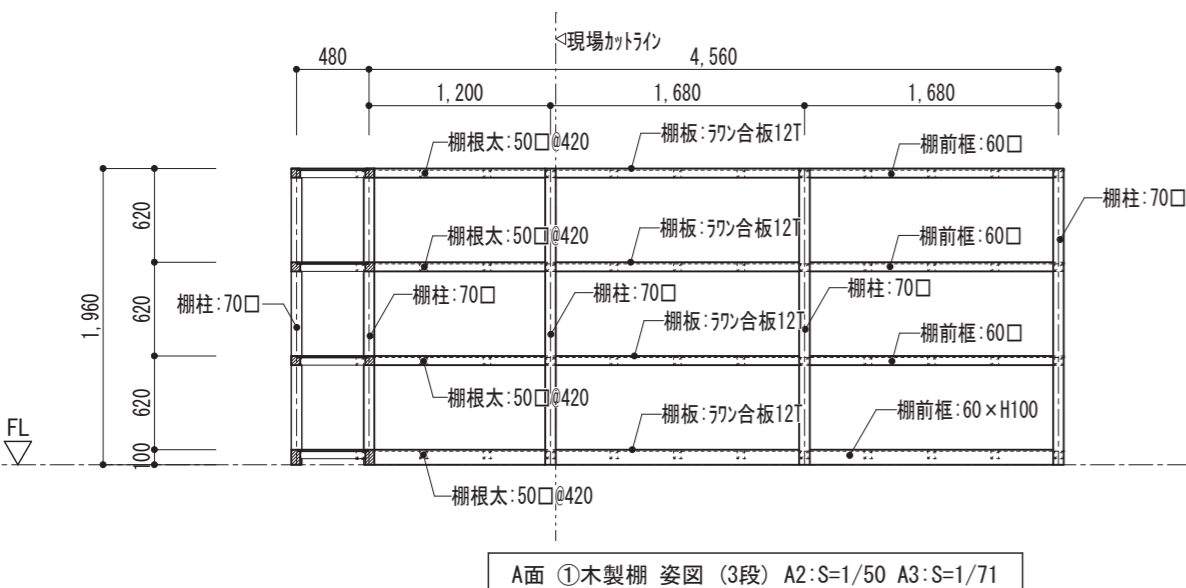
①木製柵 平面図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71



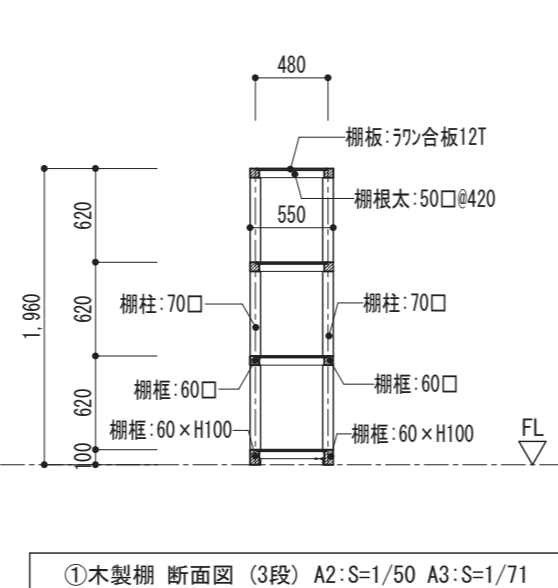
①木製柵 平面図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

※造作材樹種は、ヒノキ特1等品とする。

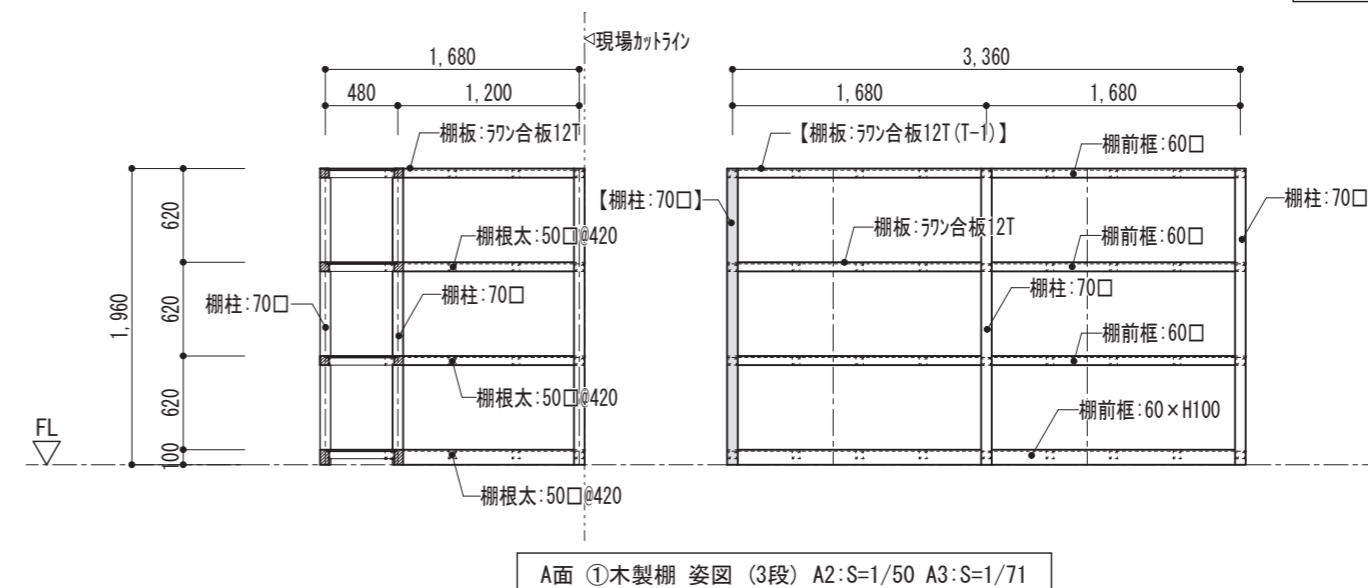
※新設改修部分を示す。
【 】 内表記は、新設改修部分を示す。



A面 ①木製柵 姿図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71



①木製柵 断面図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71



A面 ①木製柵 姿図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

※造作材樹種は、ヒノキ特1等品とする。

①木製柵 断面図 (3段) A2:S=1/50 A3:S=1/71

※造作材樹種は、ヒノキ特1等品とする。

(有)MIEUX設計工房

鳥取県倉吉市清谷町1丁目8番地2
TEL:0858-48-1003 FAX:0858-26-7570

1級建築士事務所
鳥取県知事登録第02-561号
管理建築士
1級建築士 大臣登録第168674号
讃岐 英夫

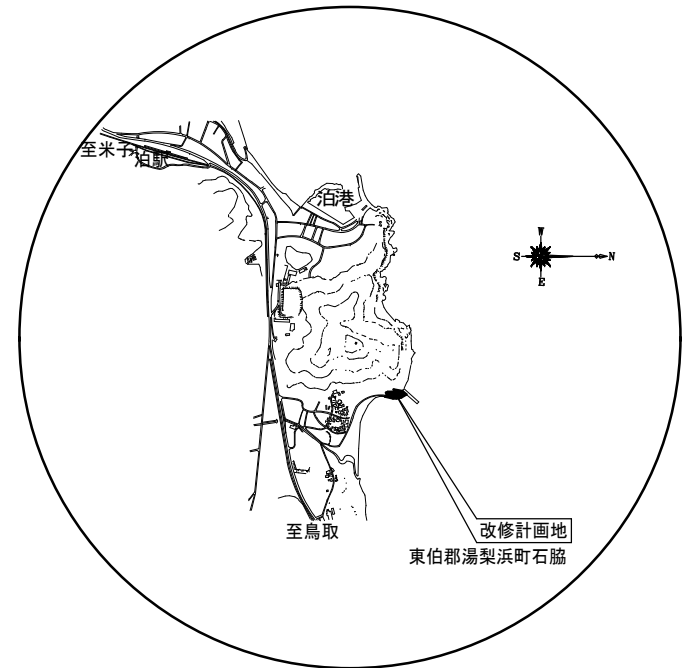
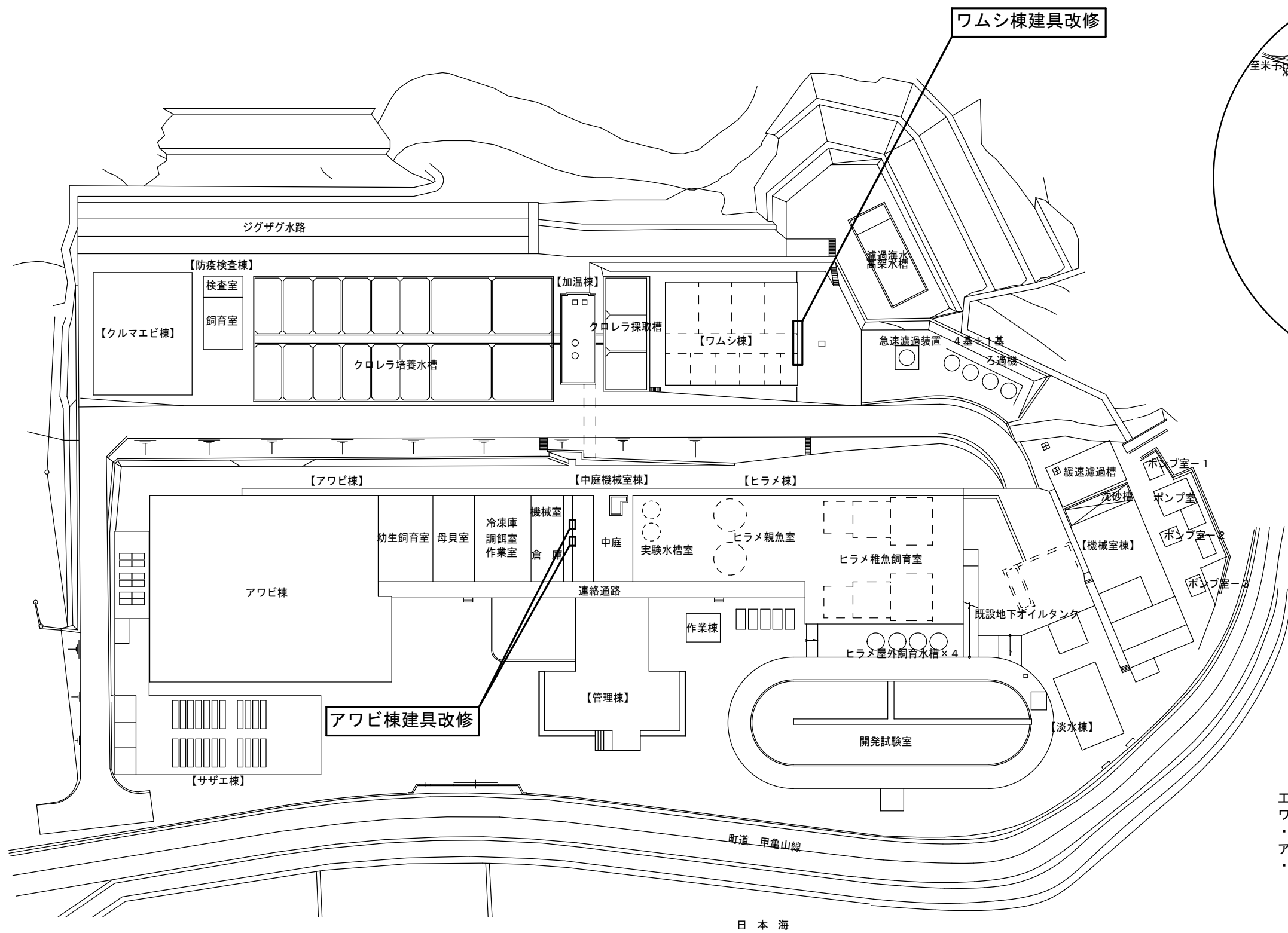
設計者
1級建築士 大臣登録第168674号
構造設計1級建築士 第2822号
讃岐 英夫

NOTE:

SCALE	DATE	CHECK	CHIEF
(A2) 1:50	240300	.	.
(A3) 1:71			

TITLE	DR. NO.
栽培漁業センターヒラメ棟建具ほか改修工事	DR. NO.
プレハブ倉庫棟	A-14
【現況・改修後】木製柵平面図・姿図・断面図	

鳥取県
令和5年度
J2302041
中部環境建築局



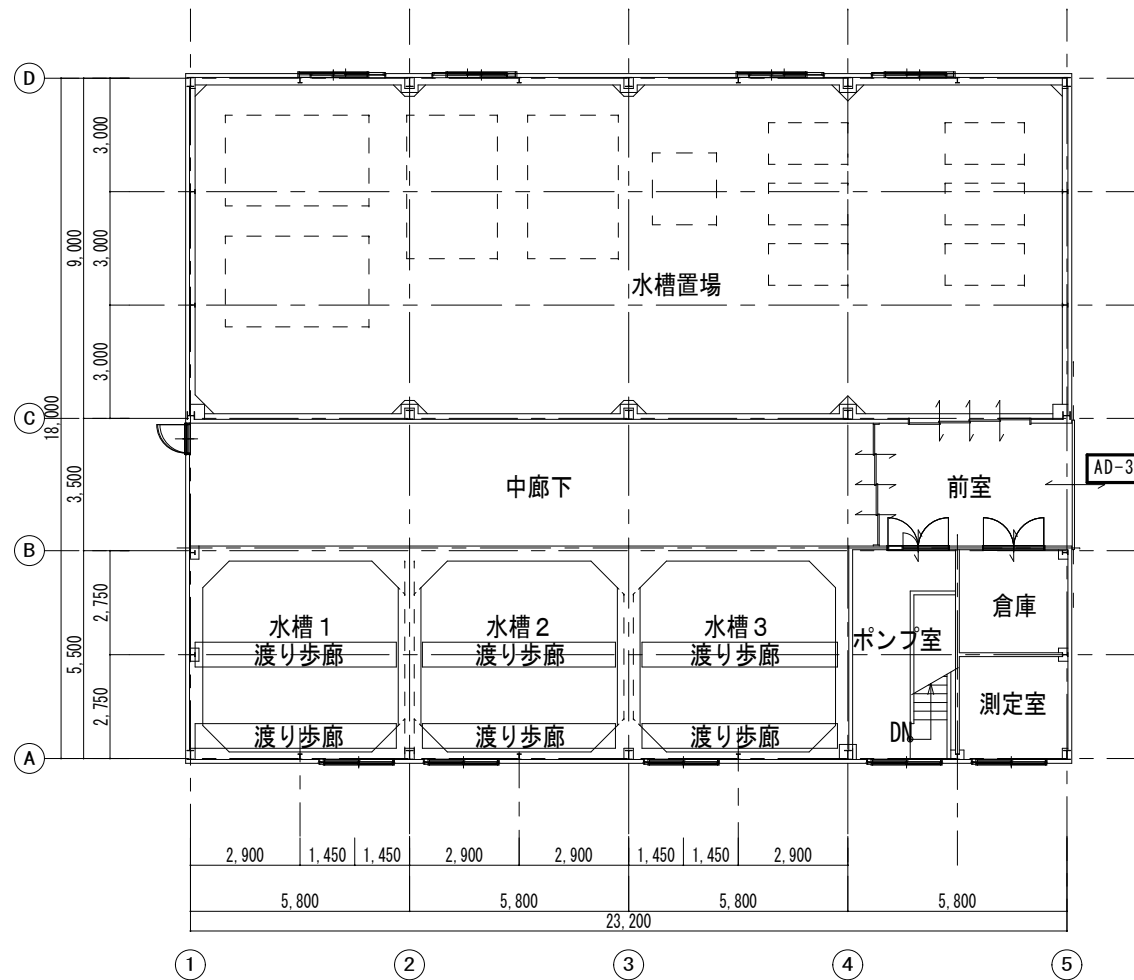
附近見取図

配置図 S=1:800

工事概要
 ワムシ棟
 ・建具改修 ハンガー戸取替え
 アワビ棟
 ・建具改修 片開き戸取替え 2か所

工事名	栽培漁業センターワムシ棟建具ほか改修工事
図面名	配置図

局長	参事	課長補佐	係長	合議	設計者	縮尺	年度	図面番号
						S=1/800	R05	1

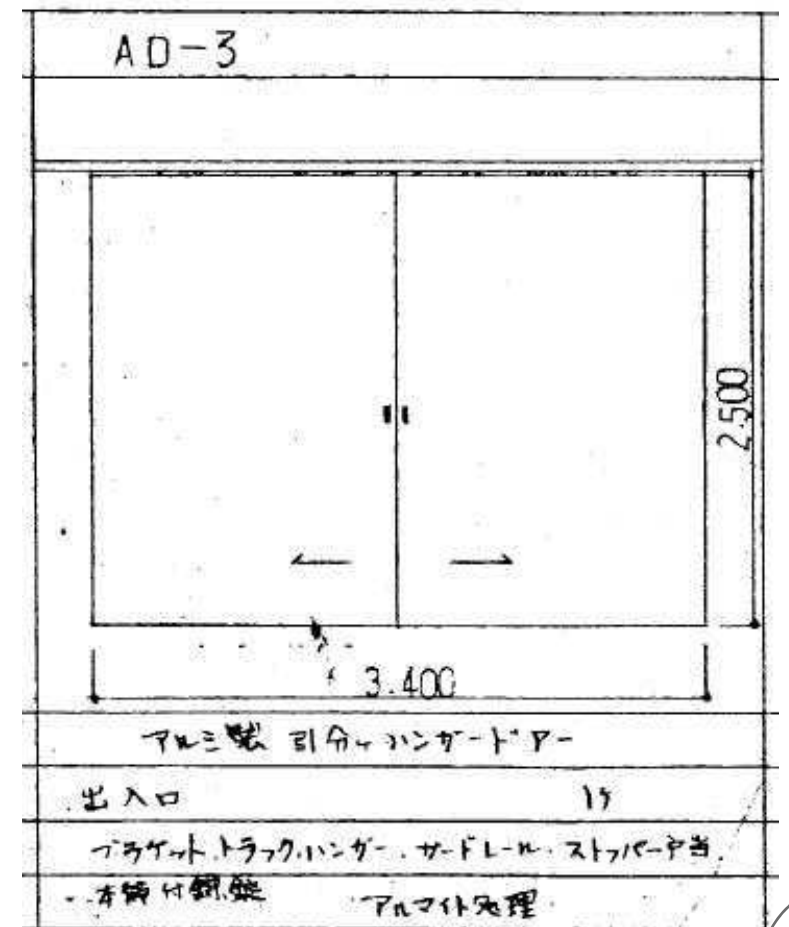


平面図 S=1:200

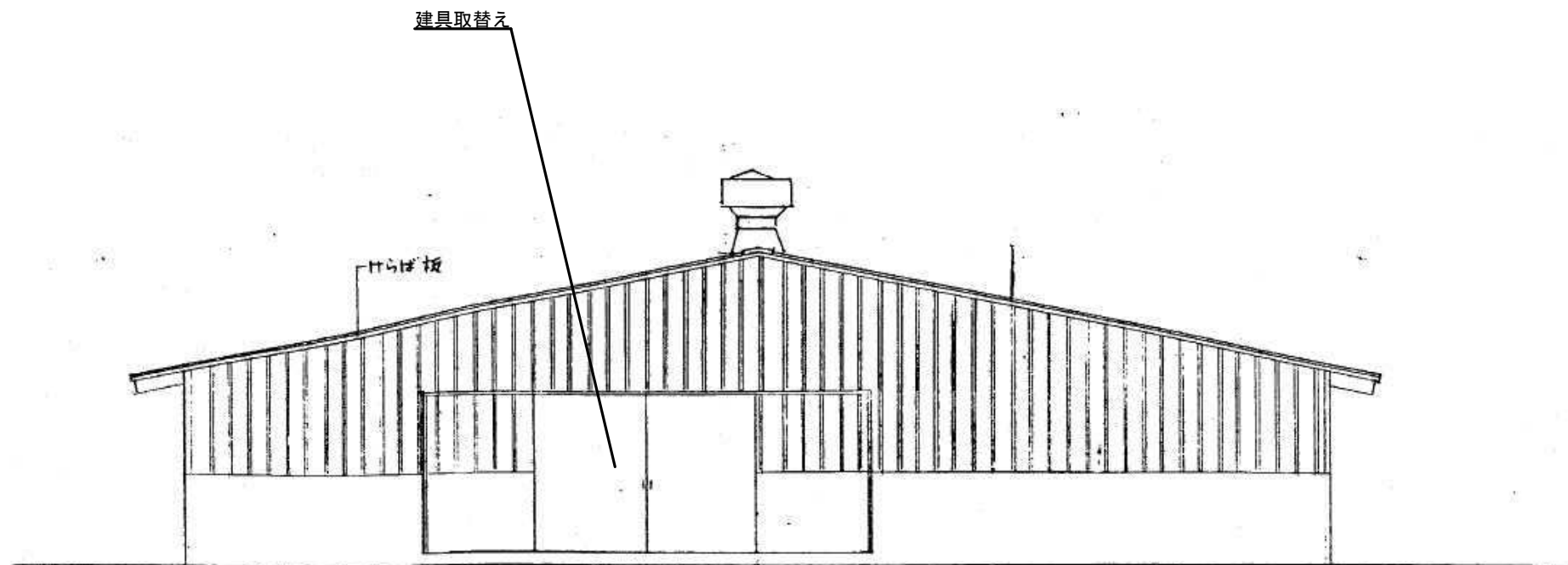
ワムシ棟建具改修内容
 出入口アルミ製ハンガー戸の取替え
 レール再利用

新設建具仕様

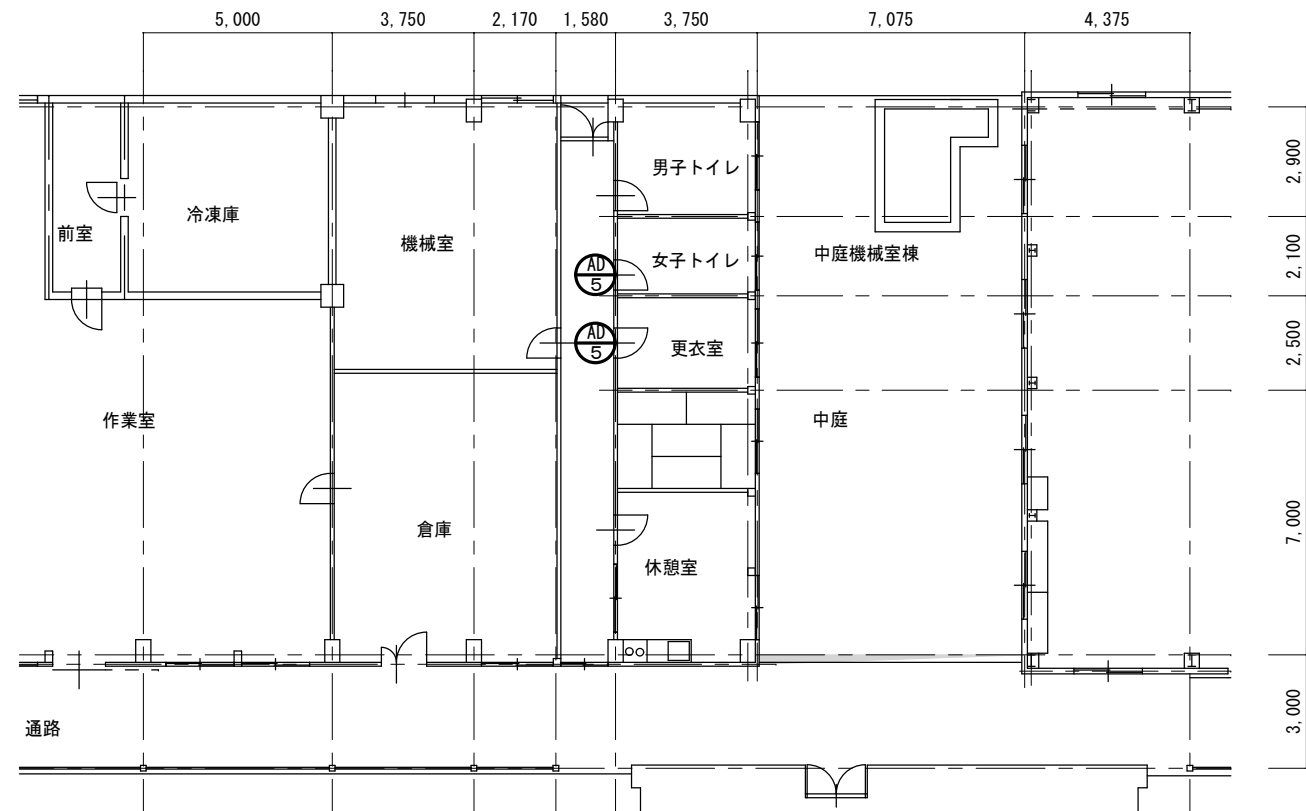
型式：アルミ製 ハンガー内動引分け戸 W3244×H2530
使用箇所：ワムシ棟 北側出入口
断熱パネルアルミ板2mm+アルミ板 枠見込：70
標準色（艶消） 戸先鍵 額縁取付 シーリング



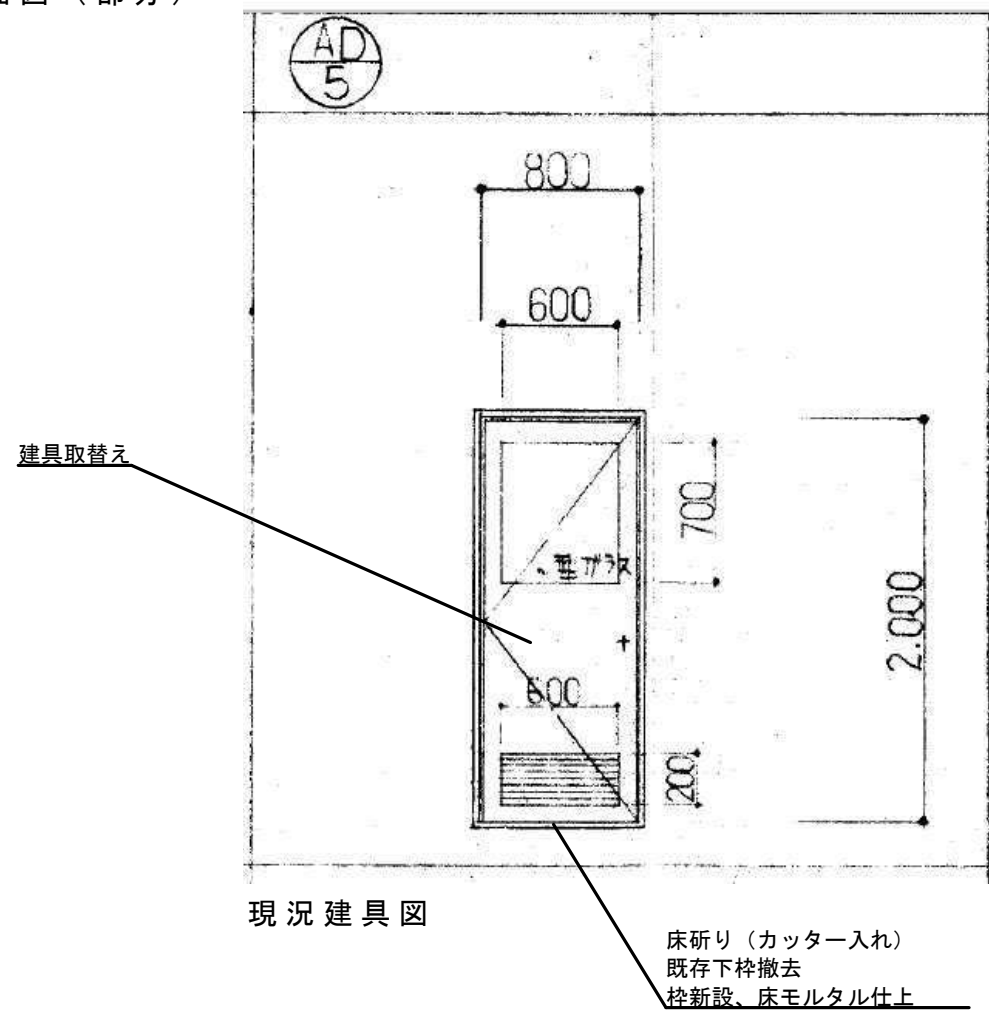
現況建具図



北立面図



アワビ棟平面図（部分）



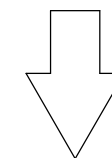
現況建具図

アワビ棟建具改修内容

女子トイレ、更衣室の出入口アルミ製片開き戸の取替え
建具及び下枠撤去の上建具新設、床モルタル補修

現況建具仕様

型式：アルミ製 片開きフラッシュドア
使用箇所：更衣室、女子便所
ガラス：型ガラス4mm 枠見込：70 ガラリ付き
丁番2枚吊り ドアチェック
女子トイレ：鍵無し 更衣室：本締付シリンダー錠、内側サムターン



新設建具仕様

型式：アルミ製 片開きかまちドア W800×H2003
使用箇所：更衣室、女子便所
ガラス：型ガラス4mm 枠見込：70 ガラリ付き
丁番2枚吊り ドアチェック
女子トイレ：鍵無し 更衣室：本締付シリンダー錠、内側サムターン
スチール補助金物1.6mm アルミ曲げ物 額縁 2.0mm
内外部シーリング